



Catalyst 3750/3560/3550/2975/2970/2960/2960-S

スイッチ システム メッセージ ガイド

Cisco IOS Release 15.0(1)SE

2012 年 1 月

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Catalyst 3750/3560/3550/2975/2970/2960/2960-S スイッチ システム メッセージガイド
Copyright © 2007–2012 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2007–2012, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	vii
目的	vii
表記法	vii
関連資料	viii
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	x

CHAPTER 1

システム メッセージの概要	1-1
システム メッセージの読み方	1-1
エラー メッセージのトレースバック レポート	1-8
アウトプット インタープリタ	1-8
Bug Toolkit	1-8
TAC への連絡	1-8

CHAPTER 2

メッセージおよび回復手順	2-1
ACLMGR メッセージ	2-4
AUTHMGR メッセージ	2-8
AUTOQOS メッセージ	2-10
BACKUP_INTERFACE メッセージ	2-10
BADTRANSCEIVER メッセージ	2-11
BSPATCH メッセージ	2-11
CFGMGR メッセージ	2-12
CMP メッセージ	2-15
DHCP_SNOOPING メッセージ	2-16
DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ	2-19
DOT1Q_TUNNELLING メッセージ	2-20
DOT1X メッセージ	2-21
DOT1X_SWITCH メッセージ	2-22
DTP メッセージ	2-26
DWL メッセージ	2-27
EC メッセージ	2-27
ENVIRONMENT メッセージ	2-32
EPM メッセージ	2-33

ETHCNTR メッセージ	2-33
EXPRESS_SETUP メッセージ	2-37
EOU メッセージ	2-38
FM メッセージ	2-40
FRNTEND_CTRLR メッセージ	2-49
GBIC メッセージ	2-50
GBIC_SECURITY メッセージ	2-53
GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ	2-57
GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ	2-58
GIGASTACK メッセージ	2-59
HARDWARE メッセージ	2-60
HLFM メッセージ	2-63
HPSECURE メッセージ	2-64
HULC メッセージ	2-65
IDBMAN メッセージ	2-65
IFMGR メッセージ	2-68
IGMP_QUERIER メッセージ	2-69
ILET メッセージ	2-70
ILPOWER メッセージ	2-71
IMAGEMGR メッセージ	2-77
IP メッセージ	2-78
IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ	2-79
L2TM メッセージ	2-79
L3TCAM メッセージ	2-80
MAB メッセージ	2-81
MAC_LIMIT メッセージ	2-81
MAC_MOVE メッセージ	2-82
NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ	2-82
PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ	2-83
PBR メッセージ	2-83
PHY メッセージ	2-85
PIMSN メッセージ	2-88
PLATFORM メッセージ	2-88
PLATFORM_FBM メッセージ	2-90
PLATFORM_HCEF メッセージ	2-91

PLATFORM_HPLM メッセージ	2-91
PLATFORM_IPC メッセージ	2-92
PLATFORM_IPv6 メッセージ	2-94
PLATFORM_PBR メッセージ	2-94
PLATFORM_PM メッセージ	2-96
PLATFORM_RPC メッセージ	2-97
PLATFORM_SPAN メッセージ	2-100
PLATFORM_UCAST メッセージ	2-100
PLATFORM_VLAN メッセージ	2-103
PLATFORM_WCCP メッセージ	2-104
PM メッセージ	2-104
PORT_SECURITY メッセージ	2-112
POWERNET メッセージ	2-114
QATM メッセージ	2-114
QM メッセージ	2-116
QOSMGR メッセージ	2-118
RMON メッセージ	2-125
SCHED メッセージ	2-125
SDM メッセージ	2-126
SPAN メッセージ	2-126
SPANTREE メッセージ	2-127
SPANTREE_FAST メッセージ	2-135
SPANTREE_VLAN_SW メッセージ	2-135
STACKMGR メッセージ	2-135
STORM_CONTROL メッセージ	2-138
SUPERVISOR メッセージ	2-139
SUPQ メッセージ	2-139
SW_DAI メッセージ	2-141
SW_MACAUTH メッセージ	2-144
SW_MATM メッセージ	2-145
SW_VLAN メッセージ	2-145
SWITCH_QOS_TB メッセージ	2-152
TCAMMGR メッセージ	2-152
UDLD メッセージ	2-155
UFAST_MCAST_SW メッセージ	2-156

VLMAPLOG メッセージ 2-157
VQPCLIENT メッセージ 2-158
WCCP メッセージ 2-159
WRLSCNTR メッセージ 2-160

INDEX



はじめに

目的

このマニュアルで説明するのは、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S スイッチ固有のシステム メッセージです。すべての Cisco IOS システム エラー メッセージについては、『Cisco IOS Software System Error Messages, Cisco IOS Release 12.2』を参照してください。

このマニュアルでは、スイッチの設置手順またはスイッチ上でソフトウェア機能を設定する方法については説明しません。スイッチで使用するために作成または変更されたコマンドの詳細についても扱いません。ハードウェアの設置については、スイッチに付属しているハードウェア インストレーション ガイドを参照してください。ソフトウェアについては、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドおよびコマンド リファレンスを参照してください。

資料の更新については、このリリースに対応するリリース ノートを参照してください。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用して説明および情報を表示しています。

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

- コマンドおよびキーワードは、**太字**で示しています。
- ユーザが値を指定する引数は、*イタリック体*で示しています。
- 角カッコ ([]) の中の要素は、省略可能です。
- 必ずいずれか 1 つを選択しなければならない要素は、波カッコ ({ }) で囲み、縦棒 (|) で区切って示しています。
- 任意で選択する要素の中で、必ずどれか 1 つを選択しなければならない要素は、角カッコと波カッコで囲み、縦棒で区切って ([{|}) 示しています。

対話形式の例では、次の表記法を使用しています。

- 端末セッションおよびシステムの表示は、screen フォントで示しています。
- ユーザが入力する情報は、**太字の screen** フォントで示しています。
- パスワードやタブのように、出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) には次の表記および記号を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

関連資料

次に挙げる、スイッチに関する詳細情報が記載されているマニュアルは、次の Cisco.com サイトから入手できます。

Catalyst 3750 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps5023/tsd_products_support_series_home.html

Catalyst 3560 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps5528/tsd_products_support_series_home.html

Catalyst 3550 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps646/tsd_products_support_series_home.html

Catalyst 2975 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10081/tsd_products_support_series_home.html

Catalyst 2970 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps5206/tsd_products_support_eol_series_home.html

Catalyst 2960 および 2960-S スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6406/tsd_products_support_series_home.html



(注)

スイッチの取り付け、設定、アップグレードを行う前に、次のマニュアルを参照してください。

- 初期設定については、クイック スタート ガイドの「Using Express Setup」の章、またはハードウェア インストールガイドの付録の「Configuring the Switch with the CLI-Based Setup Program」を参照してください。
- デバイス マネージャの要件については、リリース ノートの「System Requirements」を参照してください。
- Network Assistant の要件については、『Getting Started with Cisco Network Assistant』を参照してください。
- クラスタの要件については、『Release Notes for Cisco Network Assistant』を参照してください。
- アップグレード情報については、リリース ノートの「Downloading Software」を参照してください。

次のドキュメントは、各スイッチを対象として組み合わされています。

- 『*Release Notes for the Catalyst 3750, 3560, 3550, 2970, 2960, and 2960-S Switches*』

Catalyst 3750 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 3750 Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 3750 Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 3750 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 3750 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 3750 Switch*』

Catalyst 3560 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 3560 Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 3560 Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 3560 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 3560 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 3560 Switch*』

Catalyst 3550 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 3550 Multilayer Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 3550 Multilayer Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 3550 Multilayer Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 3550 Multilayer Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 3550 Multilayer Switch*』

Catalyst 2975 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 2975 Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 2975 Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 2975 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 2975 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2975 Switch*』
- 『*Release Notes for the Catalyst 2975 Switches*』

Catalyst 2970 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 2970 Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 2970 Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 2970 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 2970 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2970 Switch*』

Catalyst 2960 および 2960-S スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Release Notes for the Catalyst 2960-S Switches*』
- 『*Catalyst 2960 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Catalyst 2960-S Switch Getting Started Guide*』
- 『*Catalyst 2960 and 2960-S Switch Software Configuration Guide*』

- 『*Catalyst 2960 and 2960-S Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 2960-S Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2960 and 2960-S Switch*』

スイッチに関するその他の情報については、次のマニュアルを参照してください。

- 『*Release Notes for Cisco Network Assistant*』
- 『*Getting Started with Cisco Network Assistant*』
- 『*Cisco RPS 300 Redundant Power System Hardware Installation Guide*』
- 『*Cisco RPS 675 Redundant Power System Hardware Installation Guide*』
- Network Admission Control (NAC) の詳細については、『*Network Admission Control Software Configuration Guide*』を参照してください。
- Cisco SFP、SFP+、および GBIC モジュールに関する情報は、Cisco.com の次のページで入手可能です。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/prod_installation_guides_list.html

SFP の互換性マトリクスに関するマニュアルは、次の Cisco.com サイトにあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/products_device_support_tables_list.html

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



CHAPTER 1

システム メッセージの概要

このマニュアルでは、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S 固有のシステム メッセージについて説明します。これらのメッセージは稼動中、システム ソフトウェアからコンソール（および任意で別のシステムのロギング サーバ）に送信されます。すべてのシステム メッセージがシステムの問題を示すわけではありません。通知目的のメッセージもあれば、通信回線、内蔵ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。



(注)

Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、または 2960-S プラットフォーム固有ではないシステム メッセージについては、www.cisco.com で、Cisco IOS Release 12.2S に対応する『Cisco IOS Software System Messages』を参照してください。

- 「システム メッセージの読み方」(P.1-1)
- 「エラー メッセージのトレースバック レポート」(P.1-8)

システム メッセージの読み方

システム ログ メッセージは最大 80 文字と 1 つのパーセント記号 (%) で構成され、設定されている場合にはその前に、オプションとしてシーケンス番号またはタイムスタンプ情報が付加されます。メッセージは、次のフォーマットで表示されます。

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述 (ホスト名-n)
(Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述 (Catalyst 3750、2975、および 2960-S 以外のスイッチ)

システム メッセージ出力はデフォルトで、ロギング プロセスに送信されます。スイッチ スタックでは、スタック メンバがシステム メッセージ出力に各自のホスト名を追加し、スタック マスター上のロギング プロセスに出力を転送します。

各システム メッセージはパーセント記号 (%) から始まります。構成は次のとおりです。

%FACILITY-SEVERITY-MNEMONIC: Message-text

- FACILITY は、メッセージが参照するファシリティを示す 2 文字以上の大文字です。ファシリティは、ハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェアのモジュールなどです。表 1-1 に、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S 固有のファシリティコードを示します。

第 2 章「メッセージおよび回復手順」で、ファシリティ コードのアルファベット順、重大度の高い（数字が小さい）エラーから先に、各メッセージについて説明します。

表 1-1 ファシリティ コード

ファシリティ コード	説明	参照先
ACLMGR	ACL マネージャ	「ACLMGR メッセージ」 (P.2-4)
AUTHMGR	認証マネージャ	「AUTHMGR メッセージ」 (P.2-8)
AUTOQOS	Automatic Quality of Service (auto-QoS) (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「AUTOQOS メッセージ」 (P.2-10)
BACKUP_INTERFACE	Flex Link	「BACKUP_INTERFACE メッセージ」 (P.2-10)
BADTRANSCEIVER	障害トランシーバ メッセージ (3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「BADTRANSCEIVER メッセージ」 (P.2-11)
BSPATCH	ブート ローダー パッチ	「BSPATCH メッセージ」 (P.2-11)
CFGMGR	コンフィギュレーション マネージャ (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)	「CFGMGR メッセージ」 (P.2-12)
CMP	クラスタ メンバシップ プロトコル	「CMP メッセージ」 (P.2-15)
DHCP_SNOOPING	DHCP スヌーピング	「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (P.2-16)
DHCP_SNOOPING_CAT3550	DHCP スヌーピング (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ」 (P.2-19)
DOT1Q_TUNNELING	802.1Q トンネリング (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「DOT1Q_TUNNELING メッセージ」 (P.2-20)
DOT1X	802.1x	「DOT1X メッセージ」 (P.2-21)
DOT1X_SWITCH	スイッチ用 802.1x	「DOT1X_SWITCH メッセージ」 (P.2-22)
DTP	ダイナミック トランキンング プロトコル	「DTP メッセージ」 (P.2-26)
DWL	Down-When-Looped	「DWL メッセージ」 (P.2-27)
EC	EtherChannel	「EC メッセージ」 (P.2-27)
ENVIRONMENT	環境 (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「ENVIRONMENT メッセージ」 (P.2-32)
EPM	ポリシー実行モジュール	「EPM メッセージ」 (P.2-33)
ETHCNTR	イーサネット コントローラ	「ETHCNTR メッセージ」 (P.2-33)
EXPRESS_SETUP	エクスプレス セットアップ	「EXPRESS_SETUP メッセージ」 (P.2-37)
EOU	EAP over UDP	「EOU メッセージ」 (P.2-38)
FM	機能マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「FM メッセージ」 (P.2-40)

表 1-1 ファシリティコード (続き)

ファシリティコード	説明	参照先
FRNTEND_CTRLR	フロントエンドコントローラ (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「FRNTEND_CTRLR メッセージ」 (P.2-49)
GBIC	ギガビットインターフェイスコンバータ (GBIC) モジュールの識別および有効性チェック (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「GBIC メッセージ」 (P.2-50)
GBIC_SECURITY	GBIC モジュールおよび Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュールセキュリティ	「GBIC_SECURITY メッセージ」 (P.2-53)
GBIC_SECURITY_CRYPT	GBIC および SFP モジュールセキュリティ	「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (P.2-57)
GBIC_SECURITY_UNIQUE	GBIC および SFP モジュールセキュリティ	「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (P.2-58)
GIGASTACK	GigaStack GBIC モジュール (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「GIGASTACK メッセージ」 (P.2-59)
HARDWARE	ハードウェア	「HARDWARE メッセージ」 (P.2-60)
HLFM	ローカルフォワーディングマネージャ	「HLFM メッセージ」 (P.2-63)
HPSECURE	HP セキュア	「HPSECURE メッセージ」 (P.2-64)
HULC	HULC	「HULC メッセージ」 (P.2-65)
IDBMAN	インターフェイス記述ブロックマネージャ	「IDBMAN メッセージ」 (P.2-65)
IFMGR	インターフェイスマネージャ	「IFMGR メッセージ」 (P.2-68)
ILET	IOS ライセンス強制テスト	「ILET メッセージ」 (P.2-70)
IGMP_QUERIER	Internet Group Management Protocol (IGMP) クエリア	「IGMP_QUERIER メッセージ」 (P.2-69)
ILPOWER	Power over Ethernet (PoE)	「ILPOWER メッセージ」 (P.2-71)
IMAGEMGR	イメージマネージャ (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)	「IMAGEMGR メッセージ」 (P.2-77)
IP	インターネットプロトコル	「IP メッセージ」 (P.2-78)
IP_DEVICE_TRACKING_HA	ハイアベイラビリティのための IP デバイストラッキング	「IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ」 (P.2-79)
L2TM	レイヤ 2 フォワーディングマネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「L2TM メッセージ」 (P.2-79)
L3TCAM	レイヤ 3 ユニキャストルーティングマネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「L3TCAM メッセージ」 (P.2-80)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
MAB	MAC 認証バイパス	「MAB メッセージ」 (P.2-81)
MAC_LIMIT	MAC アドレス テーブル エントリ	「MAC_LIMIT メッセージ」 (P.2-81)
MAC_MOVE	ホスト アクティビティ	「MAC_MOVE メッセージ」 (P.2-82)
NETWORK_PORT_SATELLITE	ネットワーク ポート サテライト (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ」 (P.2-82)
PAGP_DUAL_ACTIVE	Port Aggregation Protocol (PAgP) デュアルアクティブ検出	「PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ」 (P.2-83)
PBR	ポリシーベース ルーティング (PBR) (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「PBR メッセージ」 (P.2-83)
PHY	PHY	「PHY メッセージ」 (P.2-85)
PIMSN	Protocol Independent Multicast (PIM) スヌーピング	「PIMSN メッセージ」 (P.2-88)
PLATFORM	下位レベル プラットフォーム固有	「PLATFORM メッセージ」 (P.2-88)
PLATFORM_FBM	フォールバック ブリッジング マネージャ	「PLATFORM_FBM メッセージ」 (P.2-90)
PLATFORM_HCEF	Cisco Express Forwarding (CEF) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)	「PLATFORM_HCEF メッセージ」 (P.2-91)
PLATFORM_HPLM	プラットフォームの疑似ラベル マネージャ	「PLATFORM_HPLM メッセージ」 (P.2-91)
PLATFORM_IPC	プラットフォームのプロセス間通信プロトコル (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「PLATFORM_IPC メッセージ」 (P.2-92)
PLATFORM_IPv6	IP Version 6	「PLATFORM_IPv6 メッセージ」 (P.2-94)
PLATFORM_PBR	プラットフォームのポリシーベース ルーティング	「PLATFORM_PBR メッセージ」 (P.2-94)
PLATFORM_PM	プラットフォームのポート マネージャ	「PLATFORM_PM メッセージ」 (P.2-96)
PLATFORM_RPC	プラットフォームのリモート プロシージャ コール (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「PLATFORM_RPC メッセージ」 (P.2-97)
PLATFORM_SPAN	プラットフォームのスイッチド ポート アナライザ	「PLATFORM_SPAN メッセージ」 (P.2-100)
PLATFORM_UCAST	プラットフォームのユニキャスト ルーティング	「PLATFORM_UCAST メッセージ」 (P.2-100)
PLATFORM_VLAN	プラットフォームの VLAN (仮想 LAN)	「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (P.2-103)

表 1-1 ファシリティコード (続き)

ファシリティコード	説明	参照先
PLATFORM_WCCP	プラットフォームの WCCP	「PLATFORM_WCCP メッセージ」 (P.2-104)
PM	ポート マネージャ	「PM メッセージ」 (P.2-104)
PORT SECURITY	ポート セキュリティ	「PORT_SECURITY メッセージ」 (P.2-112)
POWERNET	Powernet	「POWERNET メッセージ」 (P.2-114)
QATM	QoS および ACL TCAM マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「QATM メッセージ」 (P.2-114)
QM	QoS マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「QM メッセージ」 (P.2-116)
QOSMGR	QoS マネージャ	「QOSMGR メッセージ」 (P.2-118)
RMON	リモート ネットワーク モニタリング	「RMON メッセージ」 (P.2-125)
SCHED	スケジュール	「SCHED メッセージ」 (P.2-125)
SDM	スイッチング データベース マネージャ (Catalyst 3750 スイッチのみ)	「SDM メッセージ」 (P.2-126)
SPAN	スイッチド ポート アナライザ	「SPAN メッセージ」 (P.2-126)
SPANTREE	スパニング ツリー	「SPANTREE メッセージ」 (P.2-127)
SPANTREE_FAST	スパニングツリー高速コンバージェンス	「SPANTREE_FAST メッセージ」 (P.2-135)
SPANTREE_VLAN_SW	スパニングツリー VLAN スイッチ	「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (P.2-135)
STACKMGR	スタック マネージャ (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「STACKMGR メッセージ」 (P.2-135)
STORM_CONTROL	ストーム制御	「STORM_CONTROL メッセージ」 (P.2-138)
SUPERVISOR	スーパーバイザ ASIC	「SUPERVISOR メッセージ」 (P.2-139)
SUPQ	スーパーバイザ キュー	「SUPQ メッセージ」 (P.2-139)
SW_DAI	ダイナミック ARP インспекション	「SW_DAI メッセージ」 (P.2-141)
SW_MACAUTH	MAC アドレス認証 (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)	「SW_MACAUTH メッセージ」 (P.2-144)
SW_MATM	MAC アドレス テーブル マネージャ (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)	「SW_MATM メッセージ」 (P.2-145)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
SW_VLAN	VLAN マネージャ	「SW_VLAN メッセージ」 (P.2-145)
SWITCH_QOS_TB	QoS 信頼境界	「SWITCH_QOS_TB メッセージ」 (P.2-152)
TCAMMGR	Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャ	「TCAMMGR メッセージ」 (P.2-152)
UDLD	単一方向リンク検出	「UDLD メッセージ」 (P.2-155)
UFAST_MCAST_SW	UplinkFast パケット転送	「UFAST_MCAST_SW メッセージ」 (P.2-156)
VQPCIENT	VLAN Query Protocol (VQP) クライアント	「VQPCIENT メッセージ」 (P.2-158)
VLMAPLOG	VLAN アクセス マップ ログ	「VLMAPLOG メッセージ」 (P.2-157)
WCCP	Web Cache Communication Protocol (WCCP)	「WCCP メッセージ」 (P.2-159)
WRLSCNTR	Catalyst 3750 Integrated Wireless LAN Controller スイッチ	「WRLSCNTR メッセージ」 (P.2-160)

- 重大度は 0 ~ 7 の 1 桁のコードで、状態の重大度を表します。この値が小さいほど、重大な状況を意味します。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0 : 緊急	システムを使用できません。
1 : アラート	ただちに対応が必要な状態。
2 : クリティカル	危険な状態です。
3 : エラー	エラー状態です。
4 : 警告	警告状態です。
5 : 通知	正常だが注意を要する状態です。
6 : 情報	情報メッセージ。
7 : デバッグ	デバッグ時に限り表示されるメッセージ。

- ニーモニックは、メッセージを一意に識別するコードです。
- メッセージテキストは、状態を説明したテキスト文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワーク アドレス、またはシステム メモリ アドレス スペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは角カッコ ([]) で囲んだ短い文字列で示します。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージ内の変数フィールドを示します。

表 1-3 変数フィールド

表記	情報のタイプ
[dec]	10 進整数
[char]	1 文字
[chars]	文字列
[enet]	イーサネット アドレス (たとえば 0000.FEED.00C0)
[hex]	16 進整数
[inet]	インターネット アドレス

マスター スイッチ以外の Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチが生成した Syslog メッセージは、必ず (*Switch-x*) で終わります。*Switch-x* は、メッセージを生成したスタック メンバの番号です。マスター スイッチが生成した Syslog メッセージは、ホスト名の文字列なしで表示されます。

次の例は、Catalyst 3750、2975、および 2960-S 以外のスイッチのスイッチ システム メッセージの一部分です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet0/1, changed
state to down 2 *Mar 1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar 1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
```

次の例は、Catalyst 3750 スイッチ スタック、Catalyst 2975 スイッチ スタック、または Catalyst 2960-S スイッチ スタック内のスタック マスターおよびスタック メンバ スイッチ (ホスト名は *Switch-2*) に対応するスイッチ システム メッセージの一部分です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1, changed
state to down 2
*Mar 1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar 1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)

00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up (Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up (Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up (Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
(Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1, changed
state to down 2 (Switch-2)
```

エラー メッセージのトレースバック レポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときは、この情報を提出してください。

次のメッセージ例にはトレースバック情報が含まれています。

```
-Process= "Exec", level= 0, pid= 17  
-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860
```

システム メッセージによっては、エラー メッセージをコピーしたうえでさらに対応を要求される場合があります。次のオンライン ツールからシステム エラー メッセージの詳細を得ることもできます。

アウトプット インタープリタ

アウトプット インタープリタは、**show tech-support** 特権 EXEC コマンドなど、さまざまな CLI コマンドの出力に基づいて、詳細情報および推奨する対応策を提供します。

<https://www.cisco.com/pcgi-bin/Support/OutputInterpreter/home.pl>

Bug Toolkit

Bug Toolkit は、解決済みまたは未解決の問題点に関する情報を提供します。特定の Cisco IOS Release で既知のバグをすべて検索できます。

<http://tools.cisco.com/Support/BugToolkit/>

TAC への連絡

エラーの種類を特定することができない場合は、「[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)」(P.x) を参照してください。



CHAPTER 2

メッセージおよび回復手順

この章では、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S スイッチのシステムメッセージを、ファシリティごとにアルファベット順で説明します。各ファシリティのメッセージは、重大度 0 ～ 7 の順に示します。重大度は 0 が最も高く、7 が最も軽微です。各メッセージに続いて、説明と推奨される対処方法を示します。



(注)

この章のメッセージには、ソフトウェアでシステム ログ メッセージング対応の設定を行った場合にだけ表示される、ホスト名または日時スタンプは含まれていません。

- 「ACLMGR メッセージ」 (P.2-4)
- 「AUTHMGR メッセージ」 (P.2-8)
- 「AUTOQOS メッセージ」 (P.2-10) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「BACKUP_INTERFACE メッセージ」 (P.2-10)
- 「BADTRANSCEIVER メッセージ」 (P.2-11) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「BSPATCH メッセージ」 (P.2-11)
- 「CFGMGR メッセージ」 (P.2-12) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「CMP メッセージ」 (P.2-15)
- 「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (P.2-16)
- 「DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ」 (P.2-19) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「DOT1Q_TUNNELING メッセージ」 (P.2-20) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「DOT1X メッセージ」 (P.2-21)
- 「DOT1X_SWITCH メッセージ」 (P.2-22)
- 「DTP メッセージ」 (P.2-26)
- 「DWL メッセージ」 (P.2-27)
- 「EC メッセージ」 (P.2-27)
- 「ENVIRONMENT メッセージ」 (P.2-32) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「EPM メッセージ」 (P.2-33)
- 「ETHCNTR メッセージ」 (P.2-33)
- 「EXPRESS_SETUP メッセージ」 (P.2-37)
- 「EOU メッセージ」 (P.2-38)

- 「FM メッセージ」 (P.2-40) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「FRNTEND_CTRLR メッセージ」 (P.2-49) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「GBIC メッセージ」 (P.2-50) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「GBIC_SECURITY メッセージ」 (P.2-53)
- 「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (P.2-57)
- 「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (P.2-58)
- 「GIGASTACK メッセージ」 (P.2-59) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「HARDWARE メッセージ」 (P.2-60)
- 「HLFM メッセージ」 (P.2-63)
- 「HPSECURE メッセージ」 (P.2-64) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「HULC メッセージ」 (P.2-65)
- 「IDBMAN メッセージ」 (P.2-65)
- 「IFMGR メッセージ」 (P.2-68)
- 「IGMP_QUERIER メッセージ」 (P.2-69)
- 「ILET メッセージ」 (P.2-70)
- 「ILPOWER メッセージ」 (P.2-71)
- 「IMAGEMGR メッセージ」 (P.2-77) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「IP メッセージ」 (P.2-78)
- 「IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ」 (P.2-79)
- 「L2TM メッセージ」 (P.2-79) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「L3TCAM メッセージ」 (P.2-80) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「MAB メッセージ」 (P.2-81)
- 「MAC_LIMIT メッセージ」 (P.2-81)
- 「MAC_MOVE メッセージ」 (P.2-82)
- 「NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ」 (P.2-82) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ」 (P.2-83)
- 「PBR メッセージ」 (P.2-83) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「PHY メッセージ」 (P.2-85)
- 「PIMSN メッセージ」 (P.2-88) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM メッセージ」 (P.2-88)
- 「PLATFORM_HCEF メッセージ」 (P.2-91) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM_HPLM メッセージ」 (P.2-91) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM_IPC メッセージ」 (P.2-92) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「PLATFORM_IPv6 メッセージ」 (P.2-94)
- 「PLATFORM_PBR メッセージ」 (P.2-94) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM_PM メッセージ」 (P.2-96)
- 「PLATFORM_RPC メッセージ」 (P.2-97) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「PLATFORM_SPAN メッセージ」 (P.2-100) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)

- 「PLATFORM_UCAST メッセージ」 (P.2-100) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (P.2-103)
- 「PLATFORM_WCCP メッセージ」 (P.2-104) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PM メッセージ」 (P.2-104)
- 「PORT_SECURITY メッセージ」 (P.2-112)
- 「POWERNET メッセージ」 (P.2-114)
- 「QATM メッセージ」 (P.2-114) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「QM メッセージ」 (P.2-116) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「QOSMGR メッセージ」 (P.2-118)
- 「RMON メッセージ」 (P.2-125)
- 「SCHED メッセージ」 (P.2-125)
- 「SDM メッセージ」 (P.2-126) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「SPAN メッセージ」 (P.2-126)
- 「SPANTREE メッセージ」 (P.2-127)
- 「SPANTREE_FAST メッセージ」 (P.2-135)
- 「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (P.2-135)
- 「STACKMGR メッセージ」 (P.2-135) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「STORM_CONTROL メッセージ」 (P.2-138)
- 「SUPERVISOR メッセージ」 (P.2-139)
- 「SUPQ メッセージ」 (P.2-139)
- 「SW_DAI メッセージ」 (P.2-141) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「SW_MACAUTH メッセージ」 (P.2-144)
- 「SW_MATM メッセージ」 (P.2-145) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「SW_VLAN メッセージ」 (P.2-145)
- 「SWITCH_QOS_TB メッセージ」 (P.2-152)
- 「TCAMMGR メッセージ」 (P.2-152)
- 「UDLD メッセージ」 (P.2-155)
- 「UFAST_MCAST_SW メッセージ」 (P.2-156)
- 「VLMAPLOG メッセージ」 (P.2-157)
- 「WCCP メッセージ」 (P.2-159) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「WRLSCNTR メッセージ」 (P.2-160) (Catalyst 3750 スイッチのみ)

ACLMGR メッセージ

エラーメッセージ ACLMGR-2-NOMAP: Cannot create ACL Manager data structures for VLAN Map [chars].

説明 ACL マネージャは、ハードウェアに読み込める形式で VLAN マップの記述に必要なデータ構造を割り当てることができませんでした。このエラーは通常、空きメモリ不足が原因で発生します。[chars] は VLAN マップ名です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラーメッセージ ACLMGR-2-NOVLB: Cannot create memory block for VLAN [dec].

説明 ACL マネージャは、正常な動作に必要な VLAN 単位の情報を保存できませんでした。アクセスグループ、VLAN マップなど、一部のインターフェイス単位の機能は正しく設定されません。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラーメッセージ ACLMGR-2-NOVMR: Cannot generate hardware representation of access list [chars]

説明 使用可能なリソースが ACL のハードウェア表現を作成するのに十分ではありません。この問題は、使用可能な論理演算ユニットまたは専用のハードウェアリソースの不足が原因と考えられます。論理演算ユニットは、TCP フラグの一致、または TCP、UDP、SCTP ポート番号での **eq** 以外 (**ne**、**gt**、**lt**、**range**) のテストが必要です。

推奨処置 ACL 設定を変更して使用するリソースを減らすか、他の ACL 名または番号よりも英数字順で先に表示される名前または番号に ACL の名前を変更します。

エラーメッセージ ACLMGR-3-ACLTCAMFULL: Acl Tcam Full. Drop packets on Output Acl label [dec] on [chars] [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチだけに適用されます。

説明 プラットフォーム固有の ACL TCAM が、設定されている ACL の番号をサポートできません。[dec] はラベル番号、[chars] はレイヤを表します。最初の [chars] はレイヤ 3 用で、次はレイヤ 2 用です。TCAM の 1 つのレイヤだけが満杯の場合は、1 つの文字列だけが表示され、他方はヌルになります。

推奨処置 インターフェイスに適用する IP または MAC (メディアアクセスコントロール) アクセスリストの数を減らします。

エラー メッセージ ACLMGR-3-AUGMENTFAIL: Augmenting of access-map [chars] on [chars] label [dec] failed.

説明 システムは、必要な要素と設定済みアクセス マップを内部で結合しようとして、CPU DRAM を使い果たしました。最初の [chars] はアクセス マップ名です。次の [chars] はマップを適用した方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ ACLMGR-3-IECPORTELABELERROR: ACL labels are out-of-sync on interface [chars], label [dec] is not available on asic [dec].

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。[chars] はインターフェイス名です。最初の [dec] は ACL に関連付けるラベル、次の [dec] は Application-Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け集積回路) 番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-INSERTFAIL: Insert of access-map [chars] #[dec] into [chars] label [dec] failed.

説明 システムはアクセス マップのセクションを結合しようとして、CPU メモリを使い果たしました。最初の [chars] はマップ名です。次の [chars] はマップを適用した方向です。最初の [dec] はエントリ番号です。次の [dec] はラベル番号です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。たとえば、使用していない定義済みの ACL を削除します。Access Control Entry (ACE; アクセス コントロール エントリ) の少ない単純な ACL を使用します。使用する VLAN を減らし、VLAN データベースから不要な VLAN を削除します。

エラー メッセージ ACLMGR-3-INTTABLE: Not in truth table: VLMAP [dec] RACL [dec] Mcb [dec] Feat [dec].

説明 設定された入力機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェア エラーが発生しました。[dec] は内部処理コードです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-INVALIDPARAM: Invalid [chars] [int] encountered

説明 アクセスコントロールリスト (ACL) マネージャで無効なパラメータ値が発生しました。[chars] はパラメータ名です。[int] はパラメータ値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-MAXRECURSION: Too many ([dec]) levels of recursion while merging ACLs (code [dec]).

説明 プラットフォーム固有の ACL マージ コードをサポートするには、コンフィギュレーションが複雑すぎます。最も考えられる原因は、1 つの VLAN マップまたはポリシー マップに含まれる、個別のアクセスリストの数が多すぎることです。最初の [dec] は循環レベル数です。2 番目の [dec] は問題が発生したときのマージ ステージの内部コード番号です。

推奨処置 1 つの VLAN マップまたはポリシー マップに含まれる (独立していると見なされる) IP または MAC アクセスリストの数を減らし、このログ メッセージで報告されるレベル数が少なくなるようにします。

エラー メッセージ ACLMGR-3-MERGEFAIL: [chars] ACL merge error [dec] ([chars]) on [chars] label [dec].

説明 ACL マネージャは、設定済みの機能を、ハードウェアに読み込める形式にマージすることができませんでした。この機能の影響を受ける可能性のあるパケットは、CPU に送られて処理されます。システムに対して大きすぎるかまたは複雑すぎる ACL を指定していることが、一般的な原因です。最初の [chars] は ACL タイプ エラー (*ip* または *mac*) です。最初の [dec] はエラーコードです。2 番目の [chars] は前のエラー コードに対応するメッセージテキストです。2 番目の [dec] はラベル番号です。3 番目の [chars] は *input* または *output* のいずれかです。

推奨処置 小規模で、複雑ではないコンフィギュレーションを指定します。

エラー メッセージ ACLMGR-3-NOLABEL: Cannot allocate [chars] label for interface [chars].

説明 ACL マネージャは、このインターフェイス上の機能にラベルを割り当てることができませんでした。したがって、ハードウェアをプログラミングして機能を実装することができないので、このインターフェイスへのパケットはソフトウェアでフィルタリングされます。ラベルは一方につき 256 が限度です。最初の [chars] は方向 (*input* または *output*)、2 番目の [chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 単純なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じ ACL を使用します。

エラー メッセージ ACLMGR-3-OUTTABLE: Not in truth table: RACL [dec] VLMAP [dec].

説明 設定済みの出力機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェア エラーが発生しました。[dec] は内部処理コードです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-PACLTABLE: Not in truth table: IPSrcGrd [dec] PACL [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 設定されたポート ACL 機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェア エラーが発生しました。最初の [dec] は IP ソース ガードで指定されたアクションです。次の [dec] はポート ACL で指定されたアクションです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-QOSTTABLE: Not in truth table: ACL [dec] in map, action [dec].

説明 Quality of Service (QoS) ポリシー マップをマージする際に、ソフトウェア エラーが発生しました。最初の [dec] は ACL 番号です。2 番めの [dec] は指定された ACL 番号に対応する処置です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-RELOADED: Reloading [chars] label [dec] feature.

説明 ACL マネージャは、このラベルに設定されている機能をハードウェアに追加ロードできるようになりました。スペース不足が原因で、1 つまたは複数の機能がアンロードされていました。[chars] は方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ ACLMGR-3-UNKNOWNACTION: Unknown VMR access group action [hex].

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。[hex] は内部処理コードです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-UNLOADING: Unloading [chars] label [dec] feature.

説明 ACL マネージャが、ハードウェアにコンフィギュレーション全体をロードできなかったため、一部の機能はソフトウェアで適用されます。VLAN の一部または全部のパケットが、CPU によって転送されます。マルチキャスト パケットは転送されずに、すべて廃棄される可能性があります。[chars] は方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 単純なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じ ACL を使用します。

AUTHMGR メッセージ

エラー メッセージ AUTHMGR-5-MACMOVE: MAC address ([enet]) moved from Interface [chars] to Interface [chars]

説明 クライアントが新しいインターフェイスに移動しましたが、最初のインターフェイスからログオフしていません。[enet] はクライアントの MAC アドレスです。1 番めの [chars] は以前のインターフェイス、2 番めの [chars] は新しいインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ AUTHMGR-5-MACREPLACE: MAC address ([enet]) on Interface [chars] is replaced by MAC ([enet])

説明 新しいクライアントが、既存のクライアントが置き換わる原因となった違反をトリガーしました。1 番めの [enet] は最初のクライアントです。[chars] はインターフェイスです。2 番めの [enet] は新しいクライアントです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ AUTHMGR-5-SECURITY_VIOLATION: Security violation on the interface [chars], new MAC address ([enet] is seen. AuditSessionID [chars]

説明 インターフェイスのホスト モードでは、インターフェイスに対応付けできるホスト数が制限されています。この制限を超えたため、セキュリティ違反が発生しました。このインターフェイスはエラー ディセーブル状態になります。1 番めの [chars] はインターフェイス、[enet] はホストの MAC アドレスです。2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 接続されているホストの数に対応するインターフェイスを再設定してください。
shutdown インターフェイス コンフィギュレーション コマンドおよび **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力し、インターフェイスを再度イネーブルにします。

エラー メッセージ AUTHMGR-5-VLANASSIGN: VLAN [dec] assigned to Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 VLAN が割り当てられます。[dec] は VLAN ID です。1 番めの [chars] はインターフェイスです。2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ AUTHMGR-7-FAILOVER: Failing over from [chars] for client ([chars]) on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証マネージャが、現在の認証方式から別の方式にフェールオーバーしています。1 番めの [chars] は現在の認証方式です。2 番めの [chars] はクライアント ID、3 番めの [chars] はインターフェイス、4 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ AUTHMGR-7-STOPPING: Stopping '[chars]' for client [enet] on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証プロセスが停止しました。1 番めの [chars] は認証方式、[enet] はホストのイーサネットアドレスです。2 番めの [chars] はホストのインターフェイス、3 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ AUTHMGR-7-NOMOREMETHODS: Exhausted all authentication methods for client ([chars]) on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 すべての使用可能な認証方式が試行されました。1 番めの [chars] はクライアント ID、2 番めの [chars] はクライアントのインターフェイス、3 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ AUTHMGR-7-RESULT: Authentication result [chars] from [chars] for client [chars] on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証結果:1番めの [chars] は認証ステータス、2番めの [chars] は認証方式、3番めの [chars] はクライアント ID、4番めの [chars] はインターフェイス、5番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

AUTOQOS メッセージ

エラーメッセージ AUTOQOS-3-FEATURE_UNINITIALIZED: Feature not initialized in the platform, [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 この機能は初期化されておらず、インターフェイス上でイネーブルになっていません。[chars] は機能名で、この場合は auto-QoS です。

推奨処置 この機能が動作していない場合は、**reload** 特権 EXEC コマンドを使用してシステムを再起動します。このソフトウェア リリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドを参照して、使用するスイッチ上でこの機能がサポートされているかどうかを確認してください。

BACKUP_INTERFACE メッセージ

エラーメッセージ BACKUP_INTERFACE-5-PREEMPT: Preempting interface [chars] in backup pair ([chars], [chars]), preemption mode is [chars]

説明 スイッチは、バックアップ インターフェイス ペアの現在の転送インターフェイスを先取します。最初の [chars] は現在の転送インターフェイスの番号です。2番めおよび3番めの [chars] はバックアップ ペアのインターフェイス名、4番めの [chars] は先取モードです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ BACKUP_INTERFACE-5-VLB_NON_TRUNK: Warning: Flexlink VLB is not allowed on non-trunk ports. Please configure [chars] to be a trunk port.

説明 Flex Link の VLAN ロード バランシング (VLB) が、非トランク ポートを検出しました。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 インターフェイスをトランッキング モードに変更します。

BADTRANSCEIVER メッセージ

エラーメッセージ BADTRANSCEIVER, PHY, LOG_WARNING: An innapropriate transceiver has been inserted in interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 指定のインターフェイスに故障したモジュールが取り付けられています。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 トランシーバを取り外します。シスコから購入した場合は、シスコの代理店に連絡して、トランシーバを交換してください。

BSPATCH メッセージ

エラーメッセージ BSPATCH-1-RELOAD: System will reboot to activate newly patched Boot Loader.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 ブートローダーのパッチ後に、スイッチは自動的に再起動します。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合は、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ BSPATCH-1-PATCHED: Boot Loader patch ([chars]) installed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 ブートローダーパッチが正常にインストールされました。[chars] は SDRAM リフレッシュタイマーレジスタの設定です。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合は、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ BSPATCH-3-FAILED: Failed to install Boot Loader patch ([chars]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチが、ブートローダーパッチを適用しませんでした。[chars] は SDRAM リフレッシュタイマーレジスタの設定です。

推奨処置 コンソールまたはシステムログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

CFGMGR メッセージ

エラーメッセージ CFGMGR-1-UNABLE_TO_SEND_RUN_CFG: unable to send running-cfg, bits: [hex], retrying...



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 システムは実行コンフィギュレーションをスタックメンバスイッチに配布しようとしたが、正常に処理できませんでした。[hex] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステムログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ CFGMGR-1-UNABLE_TO_SEND_STARTUP_CFG: unable to send startup-cfg, bits: [hex], retrying...



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 システムはスタートアップコンフィギュレーションファイルをスタックメンバスイッチに配布しようとしたが、正常に処理できませんでした。[hex] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステムログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシス

このテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ CFGMR-3-ERROR_APPLYING_STARTUP_CFG: Error Applying Startup Config to Running Config.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタートアップコンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションに自動的に適用していたときに、システム エラーが発生しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ CFGMR-4-MEMBER_WRITING_STARTUP_CFG: only master can do that.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック メンバスイッチがスタートアップ コンフィギュレーションファイルに書き込もうとしました。スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに書き込むことができるのは、スタック マスターだけです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ CFGMR-5-UNABLE_TO_USE_PROVISIONED_CFG: Switch [dec] will receive the default configuration.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 指定されたスイッチのスイッチタイプが、そのスイッチ番号に指定されたコンフィギュレーションと一致しません。このスイッチには、デフォルトのコンフィギュレーションが適用されません。[dec] はスタック メンバ番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ CFGMR-6-APPLYING_RUNNING_CFG: as new master.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 新しいスタック マスターがバックアップ実行コンフィギュレーションを適用しています。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ CFGMGR-6-SPURIOUS_MEMBER_ADD: CFG MGR Recvd Spurious New Member Notification: [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 コンフィギュレーション マネージャは、スタックにすでに存在しているスタック メンバ スイッチの追加について通知を受けました。[int] はスイッチ番号です。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ CFGMGR-6-UNABLE_TO_NVGEN_BUSY_RUNNING_CFG: config file busy, retrying...



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 別のプロセスがコンフィギュレーション ファイルを生成しているため、スタック マスターは一時的にスタックの実行コンフィギュレーションを生成できません。

推奨処置 特に対処の必要はありません。動作が再試行されます。

エラー メッセージ CFGMGR-6-UNABLE_TO_NVGEN_RUNNING_CFG: config file too large...



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 コンフィギュレーション ファイルが大きすぎるため、スタック マスターがスタックの実行コンフィギュレーションを生成できません。

推奨処置 コンフィギュレーション コマンドの一部を削除します。

CMP メッセージ

エラー メッセージ CMP-4-MEM_CMPIP_ADDR_CONFLICT: Conflict with CMP IP address [IP_address], Reissuing a new CMP IP address to member [dec]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 クラスタ コマンドが、メンバに割り当てられた CMP IP アドレスとの競合を検出しました。新しい一意の CMP IP アドレスがメンバに割り当てられました。[dec] はメンバ番号です。

推奨処置 これは警告専用メッセージです。コマンドは、新しい一意のアドレスをすでにクラスタメンバに割り当てています。**clear tcp** 特権 EXEC コマンドを使用して、メンバの開いている TCP 接続を解除してください。

エラー メッセージ CMP-5-ADD: The Device is added to the cluster (Cluster Name: [chars], CMDR IP Address [IP_address]).

説明 クラスタにデバイスが追加されました。[chars] はクラスタ名です。[IP_address] はコマンドスイッチのインターネット アドレスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ CMP-5-MEMBER_CONFIG_UPDATE: Received member configuration from member [dec].

説明 アクティブまたはスタンバイ コマンド スイッチがメンバのコンフィギュレーションを受信しました。[dec] は送信側のメンバ番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ CMP-5-MGMT_VLAN_CHNG: The management vlan has been changed to [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 管理 VLAN (仮想 LAN) が変更されました。[dec] は新しい管理 VLAN の番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ CMP-5-NBR_UPD_SIZE_TOO_BIG: Number of neighbors in neighbor update is [int], maximum number of neighbors allowed in neighbor update is [int].

説明 クラスタリング ネイバー アップデート パケットのクラスタ ネイバー数が、クラスタリング モジュールでサポートされるネイバー数を超過しています。最初の [int] は新しいネイバー数です。次の [int] はネイバーの最大数です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ CMP-5-REMOVE: The Device is removed from the cluster (Cluster Name: [chars]).

説明 クラスタからデバイスが削除されました。[chars] はクラスタ名です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

DHCP_SNOOPING メッセージ

エラーメッセージ DHCP_SNOOPING-3-DHCP_SNOOPING_INTERNAL_ERROR: DHCP Snooping internal error, [chars].

説明 DHCP スヌーピング プロセスでソフトウェア健全性チェックに失敗しました。[chars] はエラーです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ DHCP_SNOOPING-4-AGENT_OPERATION_FAILED: DHCP snooping binding transfer failed. [chars].

説明 DHCP スヌーピングのバインディング転送プロセスが失敗しました。[char] は、プロセスに失敗した理由です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ DHCP_SNOOPING-4-AGENT_OPERATION_FAILED_N: DHCP snooping binding transfer failed ([dec]). [chars].

説明 DHCP スヌーピングのバインディング転送プロセスが失敗しました。[dec] はプロセスに失敗した回数で、[chars] はプロセスに失敗した理由です。このメッセージの頻度は制限されます。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-DHCP_SNOOPING_ERRDISABLE_WARNING: DHCP Snooping received [dec] DHCP packets on interface [chars].

説明 スイッチが、指定されたインターフェイス上で DHCP パケットのレート制限違反を検出し、そのインターフェイスを errdisable ステートに設定しました。[dec] は DHCP パケットの数です。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-DHCP_SNOOPING_PVLAN_WARNING: DHCP Snooping configuration may not take effect on secondary vlan [dec]. [chars]

説明 プライベート VLAN (仮想 LAN) 機能が設定されている場合、プライマリ VLAN 上の DHCP スヌーピング設定は、すべてのセカンダリ VLAN に自動的に伝播されます。[dec] はセカンダリ VLAN の VLAN ID です。[chars] は警告です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-IP_SOURCE_BINDING_NON_EXISTING_VLAN_WARNING: IP source binding is configured on non existing vlan [dec].

説明 まだ設定されていない VLAN に IP 送信元バインディングが設定されました。[dec] は VLAN です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-IP_SOURCE_BINDING_PVLAN_WARNING: IP source filter may not take effect on secondary vlan [dec] where IP source binding is configured. [chars].

説明 プライベート VLAN が設定されている場合、プライマリ VLAN 上の IP ソースガードフィルタは、すべてのセカンダリ VLAN に自動的に伝播されます。[dec] はセカンダリ VLAN です。[chars] は警告です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-NTP_NOT_RUNNING: NTP is not running; reloaded binding lease expiration times are incorrect.

説明 DHCP スヌーピング データベース エージェントが DHCP スヌーピング バインディングをロードするときに、ネットワーク タイム プロトコル (NTP) が実行されていなかった場合、バインディングに対して算出されたリース時間は正しくありません。

推奨処置 スイッチの NTP を設定して、システム クロックに正確な日時を提供します。次に DHCP スヌーピングをディセーブルにしてから再度イネーブルにして、DHCP スヌーピング バインディング データベースを消去します。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-QUEUE_FULL: Fail to enqueue DHCP packet into processing queue: [chars], the queue is most likely full and the packet will be dropped.

説明 DHCP スヌーピングの処理能力を上回る速度で CPU が DHCP を受信しています。Denial of Service (DoS; サービス拒絶) 攻撃を防ぐために、これらの DHCP パケットは廃棄されます。[chars] は警告です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-STANDBY_AGENT_OPERATION_FAILED: DHCP snooping binding transfer failed on the Standby Supervisor. [chars].

説明 スタンバイ状態のスーパーバイザ エンジンで、DHCP スヌーピング バインディング転送処理エラーが発生しました。[chars] はスタンバイ状態のスーパーバイザ エンジンです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-5-DHCP_SNOOPING_UNTRUSTED_PORT: DHCP_SNOOPING drop message on untrusted port, message type: [chars], MAC sa: [enet]

説明 信頼できないポートで、DHCP メッセージが廃棄されました。ホストが、DHCP サーバとして機能している可能性があります。[chars] はメッセージタイプ (DHCP OFFER、DHCP ACK、DHCP NAK、または DHCP REQUEST) です。[enet] は、送信ホストの MAC アドレスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-AGENT_OPERATION_SUCCEEDED: DHCP snooping database [chars] succeeded.

説明 DHCP バインディング転送処理が成功しました。[chars] は DHCP スヌーピング データベースです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-BINDING_COLLISION: Binding collision. [dec] bindings ignored.

説明 スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングを無視しました。データベース ファイルからのバインディングには、設定済みの DHCP スヌーピング バインディングですでに使用されている MAC アドレスと VLAN 情報が含まれています。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-INTERFACE_NOT_VALID: Interface not valid. [dec] bindings ignored.

説明 スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングを無視しました。これは、バインディング データベースのインターフェイスが利用できないか、インターフェイスがルーテッドポートであるか、またはインターフェイスが DHCP スヌーピングの信頼レイヤ 2 インターフェイスであることが原因です。[dec] はスイッチに無視されたバインディングの数です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-LEASE_EXPIRED: Lease Expired. [dec] bindings ignored.

説明 スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングを無視しました。DHCP のリース時間が期限切れになったことが原因です。[dec] はバインディングの数です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-PARSE_FAILURE: Parsing failed for [dec] bindings.

説明 スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングを無視しました。データベースの読み込みに失敗したことが原因です。[dec] はバインディングの数です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-VLAN_NOT_SUPPORTED: Vlan not supported. [dec] bindings ignored.

説明 スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングを無視しました。スイッチの VLAN 設定が解除されたことが原因です。[dec] はスイッチに無視されたバインディングの数です。

推奨処置 対処不要です。

DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING_CAT3550-3-MVR_INSTALL: Cannot install [chars] ACLs for DHCP Snooping, probably no TCAM space.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 DHCP スヌーピングをイネーブルに設定する場合は、TCAM にアクセス コントロール リスト (ACL) を置く必要があります。TCAM のスペースが不足していると、DHCP スヌーピングを正しく実行できません。

推奨処置 入力ポート ACL または出力ポート ACL (PACL) および VLAN マップの数を減らして、TCAM の空きスペースを増やします。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING_CAT3550-3-UNEXPECTED_EVENT: Process received unknown event (major [hex], minor [hex]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 プロセスが処理不能なイベントを受信しました。

推奨処置 `show tech-support` 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

DOT1Q_TUNNELING メッセージ

エラー メッセージ DOT1Q_TUNNELING-4-MTU_WARNING: System MTU of [dec] might be insufficient for 802.1Q tunnelling. 802.1Q tunnelling requires system MTU size of [dec] to handle maximum size ethernet frames.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチの MTU の設定値が、802.1Q トンネリング用としては不十分な可能性があります。MTU には、追加される 802.1Q タグ用に 4 バイト分のオーバーヘッドを含める必要があります。最初の [dec] はシステム MTU の現在の設定値 (バイト)、2 番めの [dec] は必要な MTU サイズ (バイト) です。

推奨処置 `system mtu` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して、追加される 802.1Q タグに対応するようにシステム MTU を調整したあと、`reload` 特権 EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードします。

DOT1X メッセージ

エラー メッセージ DOT1X-4-MEM_UNAVAIL: Memory was not available to perform the 802.1X action. AuditSessionID [chars]

説明 スイッチに 802.1x 認証を実行するための十分なメモリがありません。[chars] はセッション ID です。

推奨処置 メモリの使用量を減らすようにスイッチを再設定します。

エラー メッセージ DOT1X-4-PROC_START_ERR: Dot1x unable to start.

説明 システムが 802.1x プロセスを開始しませんでした。

推奨処置 802.1x プロセスを再起動するグローバル コンフィギュレーション コマンド **dot1x system-auth-control** を入力します。このメッセージが繰り返し表示される場合は、デバイスをリロードしてください。

エラー メッセージ DOT1X-4-UNKN_ERR: An unknown operational error occurred.

説明 内部システム エラーにより、802.1x プロセスが動作しません。

推奨処置 デバイスをリロードしてください。

エラー メッセージ DOT1X-5-RESULT_OVERRIDE: Authentication result overridden for client ([chars]) on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証結果は無効になります。最初の [chars] はクライアント ID、2 番めの [chars] はインターフェイス、3 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DOT1X-5-FAIL: Authentication failed for client ([chars]) on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証に失敗しました。最初の [chars] はクライアント ID、2 番めの [chars] はインターフェイス、3 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ DOT1X-5-INVALID_INPUT: Dot1x Interface parameter is Invalid on interface [chars].

説明 802.1x インターフェイス パラメータが指定範囲外であるか、無効です。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 CLI (コマンドライン インターフェイス) のヘルプを参照して、正しい 802.1x パラメータを設定します。

エラー メッセージ DOT1X-5-SECURITY_VIOLATION: Security violation on interface [chars], New MAC address [enet] is seen.

説明 指定したインターフェイスのホストは、ネットワークにアクセスしようとしたか、インターフェイスに接続されているホストの数に対応できないホストモードで認証しようとした。これはセキュリティ違反であり、ポートはエラー ディセーブルになります。

推奨処置 接続されているホストの数に対応できるように、インターフェイスを設定してください。**shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力し、さらに **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力してポートを再起動します。

エラー メッセージ DOT1X-5-SUCCESS: Authentication successful for client ([chars]) on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証に成功しました。最初の [chars] はクライアント ID、2 番めの [chars] はインターフェイス、3 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

DOT1X_SWITCH メッセージ

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_ADDING_ADDRESS: Unable to add address [enet] on [chars] AuditSessionID [chars]

説明 ハードウェア メモリが満杯、またはアドレスが別のポート上のセキュア アドレスであるために、クライアント MAC アドレスを MAC アドレス テーブルに追加できませんでした。このメッセージは、802.1x がイネーブルになっている場合に表示される可能性があります。[enet] はクライアントの MAC アドレスです。最初の [chars] はインターフェイスで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 ハードウェア メモリが満杯の場合、動的 MAC アドレスの一部を削除してください。クライアント アドレスが別のポート上にある場合は、そのポートからアドレスを削除します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_INVALID_PRIMARY_VLAN: Attempt to assign primary VLAN [dec] to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]



(注)

このメッセージは、IP ベース イメージを実行しているスイッチに適用されます。

説明 802.1x ポートにプライマリ VLAN を割り当てようとした。これは許可されていません。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 別の VLAN を割り当てます。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_INVALID_SEC_VLAN: Attempt to assign invalid secondary VLAN [dec] to PVLAN host 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]



(注)

このメッセージは、IP ベース イメージを実行しているスイッチに適用されます。

説明 プライベート VLAN ホスト 802.1x ポートに非セカンダリ VLAN を割り当てようとした。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 ポート モードを変更してプライベート VLAN ホスト ポートを解除するか、有効なセカンダリ VLAN を使用します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_PRIMARY_VLAN_NOT_FOUND: Attempt to assign VLAN [dec], whose primary VLAN does not exist or is shutdown, to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]



(注) このメッセージは、IP ベース イメージを実行しているスイッチに適用されます。

説明 プライマリ VLAN が存在しない、またはシャットダウンしているプライベート VLAN を割り当てようとした。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 プライマリ VLAN が存在し、シャットダウンしていないことを確認します。プライベート VLAN がプライマリ VLAN に関連付けられていることを確認します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_RADIUS_VLAN_NOT_FOUND: Attempt to assign non-existent VLAN [chars] to dot1x port [chars]

説明 RADIUS が、特定の名前または ID を持つ VLAN をポートのサブリカントに割り当てようとしたが、スイッチ名または ID が検出できませんでした。[dec] は VLAN です。[chars] はポートです。

推奨処置 スwitch の VLAN に指定した名前または ID が存在することを確認します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_SEC_VLAN_INVALID: Attempt to assign secondary VLAN [dec] to non-PVLAN host 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]



(注) このメッセージは、IP ベース イメージを実行しているスイッチに適用されます。

説明 プライベート VLAN ホスト ポート以外のポートにセカンダリ VLAN を割り当てようとした。これは許可されていません。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 ポート モードを変更してプライベート VLAN ホスト ポートに設定するか、セカンダリ VLAN に設定されていない VLAN を使用します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_SPAN_DST_PORT: Attempt to assign VLAN [dec] to 802.1x port [chars], which is configured as a SPAN destination AuditSessionID [chars]

説明 スイッチドポートアナライザ (SPAN) 宛先ポートとして設定されている 802.1x ポートに VLAN を割り当てようとした。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 SPAN 設定を変更して SPAN 宛先ポートを解除するか、VLAN が割り当てられないように設定を変更します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_EQ_MDA_INACTIVE: Multi-Domain Authentication cannot activate because Data and Voice VLANs are the same on port AuditSessionID [chars]

説明 ポートに設定されたデータ VLAN と音声 VLAN が同一の場合、マルチドメイン認証 (MDA) ホスト モードが開始できません。[chars] はポートセッション ID です。

推奨処置 インターフェイスの音声 VLAN とアクセス VLAN が同じにならないように、どちらか一方を変更します。次に、MDA を開始します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_EQ_VVLAN: Data VLAN [dec] on port [chars] cannot be equivalent to the Voice VLAN AuditSessionID [chars]

説明 802.1x ポートにデータ VLAN を割り当てようとした。これは音声 VLAN と同じです。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 インターフェイスの音声 VLAN と 802.1x 割り当て VLAN が同じにならないように、どちらか一方を変更します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_INTERNAL: Attempt to assign internal VLAN [dec] to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 802.1x ポートに無効な VLAN を割り当てようとした。指定した VLAN は内部で使用されており、このポートに割り当てることはできません。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

説明 別の VLAN を割り当てます。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_INVALID: Attempt to assign invalid VLAN [dec] to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 802.1x ポートに無効な VLAN を割り当てようとした。指定された VLAN が範囲外です。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 有効な VLAN を使用するよう、設定を変更します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_NOT_FOUND: Attempt to assign non-existent or shutdown VLAN [chars] to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 802.1x ポートに VLAN を割り当てようとしたましたが、VLAN トランッキング プロトコル (VTP) データベースで検出できませんでした。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 VLAN が存在し、シャット ダウンしていないことを確認します。または別の VLAN を使用します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_ON_ROUTED_PORT: Attempt to assign VLAN [dec] to routed 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 ルーテッドポートでサブリカントに VLAN を割り当てようとした。これは許可されていません。[dec] は VLAN ID です。1 番めの [chars] はポートです。2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 VLAN 割り当てをディセーブルにするか、またはポート タイプを非ルーテッドポートに変更します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_PROMISC_PORT: Attempt to assign VLAN [dec] to promiscuous 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 混合モード 802.1x ポートに VLAN を割り当てようとした。これは許可されていません。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 ポート モードを変更して混合モード ポートを解除するか、VLAN が割り当てられないように設定を変更します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_RESERVED: Attempt to assign reserved VLAN [dec] to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 802.1x ポートに無効な VLAN を割り当てようとした。指定した予約 VLAN であり、このポートに割り当てることはできません。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 別の VLAN を割り当てます。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_RSPAN: Attempt to assign RSPAN VLAN [dec] to 802.1x port [chars]. 802.1x is incompatible with RSPAN AuditSessionID [chars]

説明 リモート SPAN は、802.1x が有効な VLAN でイネーブルにしないでください。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 VLAN のリモート SPAN 設定をディセーブルにするか、この VLAN の全ポートで 802.1x をディセーブルにします。

DTP メッセージ

エラー メッセージ DTP-4-MEM_UNAVAIL: Memory was not available to perform the trunk negotiation action.

説明 メモリ不足が原因で、システムはトランクのネゴシエーションができません。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ DTP-4-TMRERR: An internal timer error occurred when trunking on interface [chars].

説明 トランキング プロトコルで使用されるタイマーが、なんらかの理由で期限切れになりました。[chars] はトランクが設定されたインターフェイスです。

推奨処置 この問題は内部で解消され、長期的な問題にはなりません。ただし、トランキングで他にも問題が発生した場合は、**reload** 特権 EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードしてください。

エラー メッセージ DTP-4-UNKN_ERR: An unknown operational error occurred.

説明 内部動作で予想外のエラーが発生したため、システムはトランクのネゴシエーションができません。

推奨処置 **reload** 特権 EXEC コマンドを使用して、スイッチをリロードします。

エラー メッセージ DTP-5-DOMAINMISMATCH: Unable to perform trunk negotiation on port [chars] because of VTP domain mismatch.

説明 トランクのネゴシエーションを行う 2 つのポートが、異なる VTP ドメインに属しています。トランキングは、ポートが同じ VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランキング プロトコル) ドメインに属しているときにだけ設定できます。[chars] はポート番号です。

推奨処置 トランクのネゴシエーションを行うポートが同じ VTP ドメインに属していることを確認します。

エラー メッセージ DTP-5-ILGLCFG: Illegal config (on, isl--on,dot1q) on [chars].

説明 トランク リンクの片側で ISL (スイッチ間リンク) カプセル化が *on* に、反対側では 802.1Q カプセル化が *on* に設定されています。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 この設定は無効です。2 つのスイッチ間にトランクは設定されません。トランクの両側が一致するように、カプセル化タイプを変更する必要があります。

エラー メッセージ DTP-5-NONTRUNKPORTON: Port [chars] has become non-trunk.

説明 インターフェイスがトランク ポートからアクセス ポートに変わりました。[chars] は変更されたインターフェイスです。

推奨処置 これは、単なる情報メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-TRUNKPORTCHG: Port [chars] has changed from [chars] trunk to [chars] trunk.

説明 トランク ポートのカプセル化タイプが変わりました。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] は元のカプセル化タイプです。3 番目の [chars] は新しいカプセル化タイプです。

推奨処置 これは、単なる情報メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-TRUNKPORTON: Port [chars] has become [chars] trunk.

説明 インターフェイスがアクセス ポートからトランク ポートに変わりました。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はカプセル化タイプです。

推奨処置 これは、単なる情報メッセージです。

DWL メッセージ

エラー メッセージ DWL-3-LOOP_BACK_DETECTED: Loop-back detected on [chars].

説明 指定されたポートにループバックがあります。原因は、ポートに接続されたトークンリング タイプ 1 のケーブルか、またはネットワークの設定ミスが考えられます。[chars] はポートです。

推奨処置 ループバック状態を引き起こしている問題を解決します。次に、**shutdown** および **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力します。

EC メッセージ

エラー メッセージ EC-4-NOMEM: Not enough memory available for [chars].

説明 LACP または PAgP EtherChannel は、必須データ構造を初期化するために必要なメモリを確保できませんでした。[chars] はデータ構造名です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ EC-5-BUNDLE: Interface [chars] joined port-channel [chars].

説明 表示されたインターフェイスが指定の EtherChannel に加入しました。最初の [chars] は物理インターフェイスです。次の [chars] は EtherChannel インターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ EC-5-CANNOT_ALLOCATE_AGGREGATOR: Aggregator limit reached, cannot allocate aggregator for group [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 グループに新しいアグリゲータを割り当てることができません。[dec] は影響を受けるグループです。

推奨処置 グループに含まれるポートの属性を変更し、同じアグリゲータと一致して追加されるようにします。

エラー メッセージ EC-5-CANNOT_BUNDLE1: Port-channel [chars] is down, port [chars] will remain stand-alone.

説明 アグリゲート ポートがダウンします。アグリゲート ポートがアップするまで、ポートはスタンドアロンになります。最初の [chars] は EtherChannel です。次の [chars] はポート番号です。

推奨処置 バンドル内の他のポートが同じ設定になっているかどうかを確認してください。

エラー メッセージ EC-5-CANNOT_BUNDLE2: [chars] is not compatible with [chars] and will be suspended ([chars]).

説明 インターフェイスに EtherChannel の他のポートと異なるインターフェイス属性が設定されています。バンドル (EtherChannel) に追加するインターフェイスの場合は、EtherChannel の属性と一致するようにインターフェイスの属性を変更します。最初の [chars] はバンドルするインターフェイスです。2 番目の [chars] はバンドルにすでに組み込まれている物理インターフェイス (スイッチ ポートまたはルーテッド ポート) です。3 番目の [chars] は矛盾している理由です。

推奨処置 EtherChannel の属性に合わせてインターフェイスの属性を変更します。

エラー メッセージ EC-5-CANNOT_BUNDLE_LACP: [chars] is not compatible with aggregators in channel [dec] and cannot attach to them ([chars]).

説明 ポート チャネルまたはポート チャネル内のポートと異なるポート属性がポートに設定されています。[chars] は矛盾するポートで、[dec] はチャネル グループ番号です。最後の [chars] は理由です。

推奨処置 ポートをバンドルに追加する場合は、ポートと一致するようにポート属性を変更します。

エラー メッセージ EC-5-COMPATIBLE: [chars] is compatible with port-channel members.

説明 ポート属性がポート チャネルまたはポート チャネル内のポートの属性と異なるために、ポートが動作しませんでした。ポートの属性とポートチャネルの属性が、現在は一致していることが検出されました。[chars] は影響を受けたポートです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ EC-5-DONTBNDL: [chars] suspended: incompatible remote port with [chars]

説明 リモート ポートの設定がバンドル内の他のリモート ポートの設定と異なります。ポートをバンドルに追加できるのは、ローカル ポートの設定とリモート ポートの設定が、バンドル内の他のポートと同じ場合に限られます。最初の [chars] は中断されているローカル インターフェイス名、次の [chars] はすでにバンドルされているローカル インターフェイス名です。

推奨処置 リモート ポートの設定が、バンドル内のすべてのポートと一致しているかどうかを確認してください。

エラー メッセージ EC-5-ERRPROT: Channel protocol mismatch for interface [chars] in group [dec]: the interface can not be added to the channel group.

説明 指定のモードでは、インターフェイスをチャンネル グループに追加できません。[chars] はインターフェイスです。[dec] はチャンネル グループです。

推奨処置 チャンネル グループまたはインターフェイスのモードを変更します。

エラー メッセージ EC-5-ERRPROT2: Command rejected: the interface [chars] is already part of a channel with a different type of protocol enabled.

説明 このインターフェイスは、別のプロトコルがチャンネルにすでに組み込まれているので、指定のプロトコル用としては選択できません。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 チャンネル グループからインターフェイスを削除します。

エラー メッセージ EC-5-ERRPROT3: Command rejected: the interface [chars] is already part of a channel.

説明 チャンネル グループにすでに組み込まれているので、指定のプロトコルでインターフェイスの選択を解除できません。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 チャンネル グループからインターフェイスを削除します。

エラー メッセージ EC-5-L3DONTBNDL1: [chars] suspended: PAgP not enabled on the remote port.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 レイヤ 3 インターフェイスで PAgP がイネーブルになっていますが、相手ポートが PAgP 対応ではありません。このモードでは、ポートはサスペンド ステートになります。[chars] はレイヤ 3 インターフェイスです。

推奨処置 `channel-group` インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、リモート側で PAgP をイネーブルにします。

エラー メッセージ EC-5-L3DONTBNDL2: [chars] suspended: LACP currently not enabled on the remote port.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 レイヤ 3 インターフェイスで LACP がイネーブルになっていますが、相手ポートではイネーブルになっていません。このモードでは、ポートはサスペンド ステートになります。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 リモート側で LACP をイネーブルにします。

エラー メッセージ EC-5-L3DONTBNDL3: [chars] suspended: LACP not enabled on the remote port.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 レイヤ 3 インターフェイスで LACP がイネーブルになっていますが、リモートポートでは LACP がイネーブルになっていません。このモードでは、ローカルポートはサスペンド ステートになります。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 リモートポートで LACP をイネーブルにします。

エラー メッセージ EC-5-L3STAYDOWN: [chars] will remain down as its port-channel [chars] is admin-down.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 レイヤ 3 インターフェイスおよびアグリゲート インターフェイス上で、アグリゲート インターフェイスの管理ステートにより、レイヤ 3 インターフェイスの管理ステータスが上書きされます。アグリゲート インターフェイスが管理上のダウンである場合、そのアグリゲート インターフェイス上のすべてのインターフェイスが強制的にダウンになります。[chars] はレイヤ 3 インターフェイスです。

推奨処置 アグリゲート インターフェイス上で `no shutdown` インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力します。

エラー メッセージ EC-5-NOLACP: Invalid EC mode, LACP not enabled.

説明 ソフトウェア イメージに LACP が組み込まれていないので、EtherChannel モードを設定できません。

推奨処置 LACP が組み込まれたソフトウェア イメージをインストールし、EC モードを *on* に設定します。

エラー メッセージ EC-5-NOPAGP: Invalid EC mode, PAgP not enabled.

説明 Cisco IOS イメージに PAgP が組み込まれていません。EtherChannel モードを **desirable** または **auto** に設定することができません。

推奨処置 PAgP が組み込まれたイメージを取得するか、または **channel-group channel-group-number mode on** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、モードを *on* に設定します。

エラー メッセージ EC-5-PORTDOWN: Shutting down [chars] as its port-channel is admin-down.

説明 ポートの管理ステートは、集約ポートの管理ステートによって制御されます。アグリゲートポートの管理ステートがダウンの場合、ポートの管理ステートも強制的にダウンになります。[chars] は物理インターフェイスです。

推奨処置 アグリゲートポートに **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力して、アグリゲートポートをアクティブにします。

エラー メッセージ EC-5-STAYDOWN: [chars] will remain down as its port-channel [chars] is admin-down.

説明 アグリゲートポートの管理ステートによって、影響を受けるポートの管理ステートが上書きされます。アグリゲートポートが管理上のダウンになると、アグリゲートポートの全ポートが強制的に管理上のダウンになります。最初の [chars] は物理インターフェイスです。次の [chars] は EtherChannel です。

推奨処置 アグリゲートポートに **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力して、アグリゲートポートをアクティブにします。

エラー メッセージ EC-5-STAYDOWN: no-shut not allowed on [chars]. Module [dec] not online.

説明 **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して EtherChannel が設定されたインターフェイスをイネーブルにできません。インターフェイスは EtherChannel グループのメンバであり、EtherChannel グループが管理上のシャットダウンになっているからです。インターフェイスに EtherChannel が設定されていますが、そのポートチャネルに関する情報はまだありません。[chars] はインターフェイスです。[dec] はモジュールです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。モジュールがオンラインになったあと、EtherChannel のポートチャネル設定を調べます。

エラー メッセージ EC-5-UNBUNDLE: Interface [chars] left the port-channel [chars].

説明 表示されたインターフェイスが指定の EtherChannel を脱退しました。最初の [chars] は物理インターフェイスで、スイッチ ポートまたはルーテッド ポートの場合があります。次の [chars] は EtherChannel です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ EC-5-UNSUITABLE: [chars] will not join any port-channel, [chars].

説明 インターフェイスの 1 つを EtherChannel に追加できませんでした。そのインターフェイスが PortFast に関しては VLAN メンバーシップ ポリシー サーバ (VMPS) として、802.1x に関しては音声 VLAN (仮想 LAN) または SPAN 宛先ポートとして設定されているからです。いずれも EtherChannel に対して不正な設定です。最初の [chars] はインターフェイス名です。次の [chars] は不正な設定の詳細です。

推奨処置 ポートの設定を変更して、不正な設定を削除します。

ENVIRONMENT メッセージ

エラー メッセージ ENVIRONMENT-2-FAN_FAULT: System Fault: FAN FAULT is detected.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 内蔵ファンの故障が検出されました。

推奨処置 スイッチのファンが故障していないかどうかを調べるか、または **show env** 特権 EXEC コマンドを使用して、スイッチ内のいずれかのファンが故障していないかどうかを確認します。適宜、スイッチを交換します。

エラー メッセージ ENVIRONMENT-2-OVER_TEMP: System Fault: OVER TEMPERATURE condition is detected.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 過熱状態が検出されました。

推奨処置 **show env** 特権 EXEC コマンドを使用して、過熱状態になっていないかどうかを確認します。過熱状態の場合は、スイッチを 32 ~ 113°F (0 ~ 45°C) の環境に置き、ファンの吸気口および排気口をふさがないようにします。



(注) 複数のファンが故障してスイッチが過熱状態になっている場合は、スイッチを交換します。

EPM メッセージ

エラー メッセージ EPM-6-AUTH_ACL: POLICY [chars]| EVENT [chars]

説明 スイッチは、ダウンロード可能 ACL (dACL) のダウンロード要求を送信または受信しました。1 番めの [chars] は dACL ポリシーです。2 番めの [chars] はイベントです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

ETHCNTR メッセージ

エラー メッセージ ETHCNTR-2-MOLSENDDTIMEOUT: Molecule send timeout, queue [dec], molecule [hex] [hex].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 1 つまたは複数のハードウェア設定の読み込み、または書き込みに失敗しました。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-FLOWCONTROL_DUPLEX_ERROR: Flowcontrol will not take effect until duplex is set to auto.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 この設定では、スイッチにフロー制御が設定できません。

推奨処置 デュプレックス モードを auto に設定します。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-HALF_DUX_COLLISION_EXCEED_THRESHOLD: Collision at [chars] exceed threshold. Consider as loop-back.

説明 半二重ポートのコリジョンがしきい値を超え、ポートはループバックとして扱われました。Power over Ethernet (PoE) をサポートするスイッチでこのメッセージが表示された場合、PoE スイッチポートまたは AC 電源から給電できるデバイスが、外部 AC 電源から給電されず、**power inline never** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで設定されたポートに接続されています。[chars] はしきい値を超えたポートです。

推奨処置 PoE をサポートするスイッチでは、デバイスを取り外すか、**power inline auto**、**shutdown**、および **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力してポートを設定します。PoE スイッチ以外では、対処不要です。問題が解消されるまで、ポートは errdisable モードになります。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-INTERNAL_ERROR: Internal Error [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ソフトウェアでハードウェアのプログラミングを行おうとしたときに内部エラーが発生しました。その結果、スイッチの動作に矛盾が生じ、予測された機能を提供できなくなる可能性があります。[chars] は失敗した内部動作を表します。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート \(P.1-8\)](#)」を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-INVALIDMAP: Invalid map [dec] for address [enet].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ソフトウェアでパケットをブリッジしようとしてエラーが発生しました。[dec] はマップ番号、[enet] はイーサネット アドレスです。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート \(P.1-8\)](#)」を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-LOOP_BACK_DETECTED: Loop-back detected on [chars]. The port is forced to linkdown.

説明 キープアライブ パケットが送信元ポートにループバックされています。ループバック状態はバラン ケーブルを間違ってポートに接続した場合に発生します。またはネットワークにループが存在する場合も発生します。[chars] はポートです。

推奨処置 ケーブルを確認します。バラン ケーブルが接続されていて、ループバック状態が必要な場合は、対処不要です。それ以外の場合は正しいケーブルを接続し、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力してポートを再起動させます。**no keepalive** インターフェイス コマンドを使用してキープアライブをディセーブルにすることはお勧めしません。このネットワーク ループの原因を特定して訂正する必要があります。キープアライブをディセーブルにするとポートの **errdisable** ステートを回避できますが、問題の原因を解決することにはならず、ネットワークの安定性に影響を与えます。詳細については CSCea46385 を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-MOLSENDINT: Molecule send from interrupt handler



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 割り込みハンドラが、許可されていない方法でハードウェアにアクセスしています。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-NETWORK_ERROR: Frame received on queue [dec] contained network error. Source thread [dec], source interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチに格納されているフレームにエラーがあります。最初の [dec] は入力キューです。次の [dec] はソース スレッドです。[chars] は入力インターフェイスです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-NO_HARDWARE_RESOURCES: Not enough hardware resources. Shutting down [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 設定されている VLAN (仮想 LAN) およびルーテッドポート (スイッチがルーテッドポートをサポートしている場合) の数が多すぎます。[chars] は Catalyst 3750 スイッチの Gi1/0/1 などの短いインターフェイス名、または VLAN0002 などの VLAN 名です。

推奨処置 VLAN およびルーテッドポートの総数が 1023 未満になるように減らします。再起動後も設定および接続を維持する場合は、コンフィギュレーションを保存します。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-RA_ALLOC_ERROR:RAM Access [chars] [chars] memory allocation failure.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 RAM への読み書きアクセス要求で、メモリの割り当てに失敗しました。最初の [chars] は失敗した RAM アクセス コマンドです。2 番目の [chars] は割り当てに失敗したのがプロセッサメモリであるか、それとも I/O メモリであるかを表します。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-RA_REPLY_ERROR: Invalid reply to RAM Access [chars] request ([hex]) from satellite [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 サテライト RAM への読み書き要求に対して、予期せぬ応答がありました。[chars] は要求タイプ (*read* または *write*) です。[hex] はアドレスです。[dec] はサテライト番号です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ ETHCNTR-3-SNAP_FORWARDING_UNSUPPORTED: IPv4/IPv6 SNAP forwarding will be disabled because switch [dec] does not support this feature.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 スイッチにのみ適用されます。

説明 スタックに追加されるスイッチは、Subnetwork Access Protocol (SNAP; サブネットワークアクセス プロトコル) カプセル化による IP Version 4 (IPv4) および IP Version 6 (IPv6) フレームの転送をサポートしていません。これが発生した場合、IPv4 および IPv6 フレームの転送はスイッチ スタックでディセーブルになります。[dec] はスタック メンバ番号です。

推奨処置 スタック メンバを、SNAP カプセル化による IPv4 および IPv6 フレームの転送をサポートするスイッチに交換してください。

エラーメッセージ ETHCNTR-3-UNEXPECTED_EVENT: Request [hex] encountered event [dec] in state [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 RAM アクセス要求中に予期せぬイベントが発生しました。[hex] は要求 ID です。最初の [dec] はイベント番号、2 番めの [dec] はステート番号です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

EXPRESS_SETUP メッセージ

エラーメッセージ EXPRESS_SETUP-3-UNABLE_TO_RESET_CONFIG: [chars].

説明 システムがコンフィギュレーションをリセットできません。[chars] はリセットできなかった理由を示す文字列です。たとえば、error renaming config file (コンフィギュレーション ファイルの名前変更エラー)、error removing config file (コンフィギュレーション ファイルの削除エラー)、error removing private config file (プライベート コンフィギュレーション ファイルの削除エラー) などがそのような理由に該当します。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ EXPRESS_SETUP-6-CONFIG_IS_RESET: [chars].

説明 コンフィギュレーションがリセットされます。[chars] は The configuration is reset and the system will now reboot (コンフィギュレーションがリセットされ、システムは現在再起動中) のように、リセット イベントを説明する文字列です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ EXPRESS_SETUP-6-MODE_ENTERED.

説明 Express Setup モードがアクティブです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ EXPRESS_SETUP-6-MODE_EXITED.

説明 Express Setup モードがアクティブでなくなりました。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

EOU メッセージ

エラー メッセージ EOU-4-UNKN_EVENT_ERR: UNKNOWN Event for HOST=[inet] | Event=[dec] | AUDITSESSID=[chars]

説明 EAPoUDP プロセスの不明なメッセージです。[inet] はホスト ID です。[dec] はイベント ID です。[chars] はセッション ID です。

推奨処置 Cisco の DDTS を保管します。

エラー メッセージ EOU-4-VERSION_MISMATCH: HOST=[inet] | Version=[dec] | AUDITSESSID=[chars]

説明 EAPoUDP のバージョンの不一致がホストから検出されました。[inet] はホスト ID です。[dec] は EAPoUDP のバージョンです。[chars] はセッション ID です。

推奨処置 ピアで EAPoUDP のバージョンを確認します。

エラー メッセージ EOU-5-AAA_DOWN: AAA unreachable. METHODLIST=[chars]| HOST=[inet]| POLICY=[chars].| AUDITSESSID=[chars]

説明 方式リストで定義されている AAA サーバが、ホストおよびアプリケーション ポリシーによって到達できません。1 番目の [chars] は方式リストの ID、[inet] はホスト ID、2 番目の [chars] はポリシー、3 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 到達不能な AAA サーバの原因を確認します。

エラー メッセージ EOU-5-RESPONSE_FAILS: Received an EAP failure response from AAA for host=[inet]| AUDITSESSID=[chars]

説明 ルータが、認証、認可、アカウントिंग (AAA) から EAP 障害応答を受信しました。ホストのクレデンシャルが検証されていません。[inet] はホストです。[chars] はセッション ID です。

推奨処置 ホストの証明書の AAA 検証に失敗した原因を確認します。

エラー メッセージ EOU-6-AUTHTYPE: IP=[inet]| AuthType=[chars]| AUDITSESSID=[chars]

説明 ホストの認証タイプを示します。[inet] はホストの IP アドレスです。1 番目の [chars] は認証タイプです。2 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ EOU-6-IDENTITY_MATCH: IP=[inet]| PROFILE=EAPoUDP| POLICYNAME=[chars]| AUDITSESSID=[chars]

説明 ルータが、Extensible Authentication Protocol over User Datagram Protocol (EAPoUDP) アイデンティティ プロファイルで指定されたホストを検出しました。[inet] はホストの IP アドレスです。1 番目の [chars] は適用されているポリシーです。2 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 ホストが認証されないようにするには、EAPoUDP アイデンティティ プロファイルからホストのエントリを削除します。

エラー メッセージ EOU-6-POSTURE: IP=[inet]| HOST=[chars]| Interface=[chars]|AUDITSESSID=[chars]

説明 ホストのポスチャ確認のステータスです。[inet] はホストの IP アドレスです。1 番目の [chars] はホスト ID です。2 番目の [chars] はホスト インターフェイスです。3 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ EOU-6-SESSION: IP=[inet]| HOST=[chars]| Interface=[chars]|
AUDITSESSID=[chars]

説明 指定したインターフェイス上で、ホストのエントリが作成または削除されました。[inet] はホストの IP アドレスです。1 番めの [chars] はホスト ID、2 番めの [chars] はインターフェイス、3 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

FM メッセージ

エラー メッセージ FM-1-INIT: Feature Manager subsystem initialization failure.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 メモリ不足のために、機能マネージャのサブシステムが初期化しませんでした。ハードウェアが故障しているか、またはインストールされた Cisco IOS イメージが不正です。

推奨処置 故障しているハードウェアを交換するか、またはプラットフォーム用の適切な Cisco IOS イメージを入手します。

エラー メッセージ FM-2-NOMAP: Cannot create Feature Manager data structures for VLAN Map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、ハードウェアに読み込める形式で VLAN (仮想 LAN) マップを記述するのに必要なデータ構造を割り当てることができませんでした。このエラーは、メモリの空き容量の不足が原因と考えられます。[chars] は VLAN マップ名です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ FM-2-NOSB: Cannot create subblock for interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、正常な動作に必要なインターフェイス単位の情報を保存できませんでした。インターフェイス単位の一部の機能 (アクセス グループ、VLAN マップなど) が、正しく設定されません。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラー メッセージ FM-2-NOVLB: Cannot create memory block for VLAN [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、正常な動作に必要な VLAN 単位の情報を保存できませんでした。インターフェイス単位の一部の機能（アクセスグループ、VLAN マップなど）が、正しく設定されません。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラー メッセージ FM-2-NOVMR: Cannot create VMR data structures for access list [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、ハードウェアに読み込める形式で ACL を記述するのに必要なデータ構造を割り当てることができませんでした。このエラーは、CPU DRAM の空き容量の不足が原因と考えられます。[chars] はアクセスリスト名です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラー メッセージ FM-3-AUGMENTFAIL: Augmenting of access-map [chars] on [chars] label [dec] failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 システムは、必要な要素と設定済みアクセスマップを内部で結合しようとして、CPU メモリを使い果たしました。最初の [chars] はアクセスマップ名です。次の [chars] はマップを適用した方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ FM-3-CONFLICT: [chars] [chars] conflicts with [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 入力ルータ アクセスリスト、VLAN マップ、または IP マルチキャスト境界が適用されているときには、Port Access List (PACL) は適用できません（また、その逆もできません）。[chars] は矛盾する機能の名前です。

推奨処置 矛盾する機能を削除し、設定をもう一度適用します。

エラー メッセージ FM-3-GOTLABEL: Got label for [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、インターフェイス用のハードウェア ラベルを割り当てることができません。インターフェイスにはラベルが必要だったにもかかわらず、これまで使用できるラベルがありませんでした。[chars] はラベルです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。(このメッセージは FM-3-NOLABEL メッセージと対になっており、以前のエラー条件が自動的に訂正されたことを意味します)。

エラー メッセージ FM-3-GOTVLABEL: Got label for VLAN [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、VLAN 用のハードウェア ラベルを割り当てることができます。VLAN にはラベルが必要だったにもかかわらず、これまで使用できるラベルがありませんでした。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。(このメッセージは FM-3-NOLABELVL メッセージと対になっており、以前のエラー条件が自動的に訂正されたことを意味します)。

エラー メッセージ FM-3-ILLEGALCOPY: Illegal copy of [chars] access group [chars] from [chars] label [dec] to [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。最初の [chars] は *ip* または *mac* のいずれか、2 番目の [chars] はアクセスリスト名、3 番目の [chars] は *port* または *vlan* のいずれかです。2 つの [dec] 値は、ラベル番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-INITLABEL: Special initialization of label [dec] failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 アクセスリストハードウェアの初期化に失敗しました。一部の VLAN またはルーテッドポート上で、ルーティングプロトコルパケットを他の種類のパケットより優先させる処理が行われない可能性があります。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 `show tech-support` 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステムログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ FM-3-INSERTFAIL: Insert of access-map [chars] [dec] into [chars] label [dec] failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 システムはアクセスマップのセクションを結合しようとして、CPU メモリを使い果たしました。最初の [chars] はマップ名です。次の [chars] はマップを適用した方向です。最初の [dec] はエントリ番号です。次の [dec] はラベル番号です。

推奨処置 他のシステムアクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。たとえば、現在使用していない定義済みの ACL を削除します。Access Control Entry (ACE; アクセスコントロールエントリ) の少ない単純な ACL を使用します。使用する VLAN を減らし、VLAN データベースから不要な VLAN を削除します。

エラーメッセージ FM-3-INTTABLE: Not in truth table: VLMAP [dec] RACL [dec] Rtprot [dec] Redir [dec] Mcb [dec] Feat [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 設定済みの入力機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェアエラーが発生しました。最初の 5 つの [dec] 値は、VLAN マップ、ルータ ACL、ルーティングプロトコルセレクタ、IP リダイレクト設定、およびレイヤ 3 インターフェイスに設定されたマルチキャスト境界の結果に関する内部コード番号です。6 番目の [dec] 値は、問題が検出されたときに検証中だった機能です。

推奨処置 コンソールまたはシステムログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ FM-3-LABELERROR: Incorrect label to [chars] vlan label attribute copy callback srclabel [dec], dstlabel [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャのコピー コールバック属性が、不正な送信元または宛先ラベルを使用してコールされました。[chars] は方向 (*input* または *output*)、最初の [dec] は送信元のラベル値、2 番目の [dec] は宛先のラベル値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーし、アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ FM-3-MAXRECURSION: Too many ([dec]) levels of recursion while merging [chars] (code [dec]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 プラットフォーム固有の ACL マージ コードをサポートするには、コンフィギュレーションが複雑すぎます。最も考えられる原因は、1 つの VLAN マップまたはポリシー マップに含まれる、個別のアクセス リストの数が多すぎることです。最初の [dec] は循環レベル数です。[chars] は、VLAN map、Global Input、Global Output、または QoS Map など、問題が発生したときのマージ ステージを示します。2 番目の [dec] は問題が発生したときのマージ ステージの内部コード番号です。

推奨処置 それぞれの VLAN マップまたはポリシー マップ内の IP または MAC (メディア アクセス コントロール) アクセス リスト数 (個別にカウント) を減らし、このログ メッセージで報告されたレベル数よりも少なくなるようにします。

エラーメッセージ FM-3-MERGEFAIL: [chars] ACL merge error [dec] ([chars]) on [chars] label [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、設定済みの機能をハードウェアに読み込み可能な形式でマージすることができませんでした。この機能によって影響されるはずの packets は、CPU に送られて処理されます。オーバーフローした ACL に対処するために CPU 処理が必要になるので、パフォーマンスが大幅に低下します。最初の [chars] は ACL タイプ エラー (*ip* または *mac*) です。最初の [dec] はエラー コードです。2 番目の [chars] は前のエラー コードに対応するメッセージ テキストです。2 番目の [dec] はラベル番号です。3 番目の [chars] は *input* または *output* のいずれかです。

推奨処置 ACL を再構成して、すべてのエントリをハードウェアで処理できるようにします。ACL を簡素にし、数を減らします。

エラー メッセージ FM-3-NOLABEL: Cannot allocate [chars] label for interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、このインターフェイス上の機能にラベルを割り当てることができませんでした。したがって、ハードウェアをプログラミングして機能を実装することができないので、このインターフェイスへのパケットはソフトウェアでフィルタリングされます。ラベルは一方向につき 256 が限度です。最初の [chars] は方向 (*input* または *output*)、2 番めの [chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 `sdm prefer` グローバルコンフィギュレーションコマンドを使用し、関連する TCAM のセクションに割り当てられるスペースを増やし、スイッチを再起動します。または、もっと簡素なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じ ACL を使用します。

エラー メッセージ FM-3-NOLABELVL: Cannot allocate [chars] label for VLAN [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、この VLAN 上の機能にラベルを割り当てることができませんでした。そのため、機能を実装するためにハードウェアをプログラミングすることができず、この VLAN 上のパケットはソフトウェアでフィルタリングされます。ラベルは一方向につき 256 が限度です。[chars] は方向 (*input* または *output*)、[dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 `sdm prefer` グローバルコンフィギュレーションコマンドを使用し、関連する TCAM のセクションに割り当てられるスペースを増やし、スイッチを再起動します。または、もっと簡素なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数の VLAN に同じ VLAN マップを使用します。

エラー メッセージ FM-3-NOEMPTY: Illegal copy of attribute to non empty [chars] vlan label [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャのコピー コールバック属性が、すでに特定の VLAN またはルーテッドポートで使用されている宛先ラベルを使用してコールされました。[chars] は方向 (*input* または *output*)、[dec] はラベル値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-NOTOBJECT: Invalid object (VLAN [dec], IDB [hex]) used in Feature Manager operation.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。無効な組み合わせの VLAN および Interface Description Block (IDB; インターフェイス デスクリプション ブロック) 値が、ソフトウェア ルーチンに渡されました。[dec] は VLAN 番号、[hex] は IDB 値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-NULLCPU: Sending traffic on empty [chars] label [dec] to CPU.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。[chars] は方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-OUTTABLE: Not in truth table: RACL [dec] VLMAP [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 設定済みの出力機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェア エラーが発生しました。2 つの [dec] 値は、特定のレイヤ 3 インターフェイスに設定されたルータ ACL および VLAN マップの結果に関する内部コード番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-QOSTTABLE: Not in truth table: ACL [dec] in map, action [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 Quality of Service (QoS) ポリシー マップをマージする際に、ソフトウェア エラーが発生しました。最初の [dec] は、問題が検出された特定 ACL のポリシー マップの番号 (0 からカウント) です。2 番目の [dec] は、ポリシー マップでその ACL にマッチした場合の結果を表す内部コード番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-RELOADED: Reloading [chars] label [dec] feature in [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャは、このラベルに設定されている機能をハードウェアに追加ロードできるようになりました。以前はスペース不足のため、一部の機能がロードできませんでした。最初の [chars] は方向 (*input* または *output*)、[dec] はラベル番号、2 番目の [chars] は TCAM ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ FM-3-TOSCOST: Minimize monetary cost TOS bit unsupported in hardware, ignored.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ハードウェア プラットフォームが、タイプ オブ サービス (ToS) および優先順位に基づくフィルタリングをサポートしていません。Differentiated Services Code Point (DSCP; DiffServ コードポイント) に基づくフィルタリングはサポートしています。DSCP フィールドに、ToS フィールドからの minimize monetary cost ビットが含まれていません。ハードウェアは ACE とのマッチングを調べるとき、このビットを無視します。その結果、予期せぬフィルタリング処理が行われる可能性があります。

推奨処置 minimize monetary cost ToS に関するテストを行わないように、フィルタを設定します。

エラー メッセージ FM-3-UNKNOWNACTION: Unknown VMR access group action [hex].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。

推奨処置 `show tech-support` 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-UNLOADING: Unloading [chars] label [dec] feature from [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 機能マネージャが、ハードウェアにコンフィギュレーション全体をロードできなかったため、一部の機能はソフトウェアで適用されます。一部または全部のバケットが、CPU によって転送されます。マルチキャスト パケットは、転送されずに廃棄される可能性があります。最初の [chars] は方向 (*input* または *output*)、[dec] はラベル番号、2 番めの [chars] は TCAM ID です。

推奨処置 `sdm prefer` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用し、関連する TCAM のセクションに割り当てるスペースを増やしたあと、スイッチを再起動します。または、もっと簡素なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じ ACL を使用します。

エラー メッセージ FM-3-WRONGLABEL: Inconsistent records of label for [chars]: FM has [dec], LM has [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。[chars] はインターフェイス名です。メッセージの残りの部分 (FM has [dec], LM has [dec]) は、機能マネージャにはインターフェイスが最初の [dec] に属しているという記録があり、ラベル マネージャにはインターフェイスが 2 番めの [dec] に属しているという記録があることを意味します。したがって、ソフトウェアは矛盾した状態です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-4-EXCESSESECONDARY: More than [dec] secondary IP addresses configured on interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 インターフェイス上でセカンダリ IP アドレスが設定され、そのインターフェイスで受信されたパケットに対してインターネット制御メッセージプロトコル (ICMP) リダイレクトをイネーブルにした場合、CPU の ICMP リダイレクト機能には、同じインターフェイス上の 2 つの異なるサブネット間で送信されたパケットに関する通知は通常、送られません。このメッセージが記録されたインターフェイス上で設定されたセカンダリ IP アドレスが多すぎる場合、ICMP リダイレクトが生成される原因になったパケットだけでなく、両方のインターフェイス上の 2 つの異なるサブネット間で送信されたすべてのパケットも、CPU に通知されます。ICMP リダイレクトはエラーでは送信されませんが、通知が増えるため、CPU の使用率が高くなる可能性があります。[dec] はセカンダリ IP アドレスの限度数です。[chars] は指定されたインターフェイスです。

推奨処置 メッセージで指定されたインターフェイス上で **no ip redirects** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、システムの CPU 負荷を減らします。

エラー メッセージ FM-7-TRANSDEF: No augmentation function found for VMR.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーが発生しました。ACL が正しく解釈されませんでした。Value-Mask Result (VMR) が不正です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

FRNTEND_CTRLR メッセージ

エラー メッセージ FRNTEND_CTRLR-1-MGR_TXQ_FULL: The front end controller Tx queue reached watermark level



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 フロントエンドコントローラとスイッチ ソフトウェア間のキューに大量のメッセージがあります。

推奨処置 スイッチをリロードします。これで問題が解決しない場合は、ハードウェアに問題があると考えられます。シスコのテクニカル サポート担当者に問い合わせてください。

エラー メッセージ FRNTEND_CTRLR-2-SUB_INACTIVE: The front end controller [dec] is inactive.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 LED、Power over Ethernet (PoE) 機能、およびファン制御機能を制御するフロントエンドコントローラが、現在フロントエンドコントローラで制御されているポート上で非アクティブです。ポート上のトラフィックには影響ありません。[dec] はコントローラ番号です。

推奨処置 スイッチをリセットします。スイッチをリセットしても問題が解決されない場合は、スイッチに問題があると考えられるので、シスコのテクニカル サポート担当者に問い合わせてください。

GBIC メッセージ

エラー メッセージ GBIC_1000BASE-T-6-GBIC_1000BASE-T_DEFAULT_CONFIG: 1000BASE-T GBIC module is detected in [chars]. Speed and duplex will be autonegotiated.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 スロットに 1000BASE-T GBIC モジュールが検出され、このモジュールの速度およびデュプレックスは自動的にネゴシエートされます。[chars] はモジュールの搭載先スロットです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ GBIC_1000BASE-T-6-GBIC_1000BASE-T_NO_CONFIG_DUPLEX: Configuration ignored. 1000-BaseT GBIC modules only support autonegotiation on duplex.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 自動ネゴシエーションが使用されませんでした。1000BASE-T GBIC モジュールは、デュプレックスの場合のみ自動ネゴシエーションをサポートしています。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ GBIC_1000BASE-T-6-GBIC_1000BASE-T_NO_CONFIG_NEGOTIATE: Configuration ignored. 1000BASE-T GBIC modules only support autonegotiation.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 自動ネゴシエーションのディセーブル化が使用されませんでした。1000BASE-T GBIC モジュールは自動ネゴシエーションをサポートしています。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ GBIC_1000BASE-T-6-GBIC_1000BASE-T_NO_CONFIG_SPEED: Configuration ignored. 1000-BaseT GBIC modules only support autonegotiation on speed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 自動ネゴシエーションが無視されました。1000BASE-T GBIC モジュールは、自動ネゴシエーションされた速度のみをサポートしています。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ GBIC-4-CHECK_SUM_FAILED: GBIC EEPROM data check sum failed for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールはシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、その正確性を確認するためのベンダー データ情報の読み込みに失敗しました。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 GBIC モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障している可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-NOREAD_VNAME: Unable to read vendor name for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールはシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、GBIC ベンダー名の読み込みに失敗しました。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 GBIC モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障している可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-NOREAD_VSDATA: Unable to read vendor-specific data for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールはシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、その信憑性を確認するためのベンダー固有情報の読み込みに失敗しました。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 GBIC モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障している可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-NOREAD_VSERNUM: Unable to read serial number for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールはシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、GBIC モジュールのシリアル番号の読み込みに失敗しました。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 GBIC モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障している可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-UNRECOGNIZED_EXTTTYPE: GBIC interface [chars] has unrecognized extended type.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールはシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、報告された拡張タイプコードをシステムが認識しませんでした。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 このバージョンのシステムソフトウェアでサポートされる GBIC モジュールのリストを確認します。新しい GBIC モジュールの場合、アップグレードが必要な場合があります。モジュールは認識されなくても、正常に動作する場合がありますが、機能が制限される可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-XCVR_INTERR: Internal error occurred in setup for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 表示された、GBIC インターフェイスのセットアップ時にリソースを割り当てることができなかったか、またはその他の問題が発生しました。[chars] は GBIC モジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 reload 特権 EXEC コマンドを使用して、スイッチをリロードします。問題が解消されない場合は、シスコのテクニカル サポート担当者に問い合わせてください。

エラー メッセージ GBIC-6-SERDES_MODULE_UNKNOWN: Unrecognizable GBIC found in [chars] (module mask [hex]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールがシステムに提供したデータによって、GBIC モジュールのタイプが正しく識別できませんでした。スイッチはこのモジュールを一般的な GBIC モジュールとして扱います。[chars] は不明のモジュールが検出されたインターフェイス名、[hex] はモジュールが返したモジュールタイプ値です。

推奨処置 GBIC モジュールが正常に動作しない場合は、モジュールを慎重に取り外し、もう一度スロットに取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障しているか、スイッチとの互換性がない可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-6-SERDES_SERIAL_INV_DATA: Unrecognizable GBIC found in [chars] (serial data [hex]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールがシステムに提供したデータによって、GBIC モジュールのタイプが正しく識別できませんでした。スイッチはこのモジュールを一般的な GBIC モジュールとして扱います。[chars] は認識不可能なモジュールが検出されたインターフェイス名、[hex] はモジュールが返したデータ値です。

推奨処置 GBIC モジュールが正常に動作しない場合は、モジュールを慎重に取り外し、もう一度スロットに取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障しているか、スイッチとの互換性がない可能性があります。

GBIC_SECURITY メッセージ



(注) Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチは、SFP モジュールをサポートしていますが、GBIC モジュールはサポートしていません。エラー メッセージのテキストに GBIC インターフェイスまたはモジュールとあっても、スイッチからのメッセージであれば、実際は SFP モジュールインターフェイスまたはモジュールを意味します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-DUPLICATE_SN: GBIC interface [dec] has the same serial number as another GBIC interface.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールはシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、モジュールのシリアル番号がシステム上の別のインターフェイスのものと同じです。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 シスコの GBIC モジュールには一意のシリアル番号が割り当てられています。シスコまたはサポート対象のベンダーから入手したモジュールであることを確認します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-EEPROM_CRC_ERR: EEPROM checksum error for GBIC in [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 指定したポートの GBIC には、無効な EEPROM データがあります。[chars] は GBIC が挿入されているポートです。

推奨処置 ポートから GBIC を取り外します。

エラーメッセージ GBIC_SECURITY-4-EEPROM_READ_ERR: Error in reading GBIC serial ID in [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチが EEPROM から GBIC タイプを読み込んでいるときにエラーが発生しました。[chars] は GBIC が挿入されているポートです。

推奨処置 ポートから GBIC を取り外します。

エラーメッセージ GBIC_SECURITY-4-EEPROM_SECURITY_ERR: GBIC in [chars] failed security check.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 指定したポートの GBIC には、無効な EEPROM データがあります。[chars] は GBIC が挿入されているポートです。

推奨処置 ポートから GBIC を取り外します。

エラーメッセージ GBIC_SECURITY-4-GBIC_INTERR: Internal error occurred in setup for GBIC interface [chars].

説明 指定された SFP モジュール インターフェイスのセットアップ時に、リソースを割り当てることができなかったか、またはその他の問題が発生しました。[chars] は SFP モジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 **reload** 特権 EXEC コマンドを使用して、スイッチをリロードします。問題が解消されない場合は、**show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ GBIC_SECURITY-4-ID_MISMATCH: Identification check failed for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールはシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、システムはその識別情報を確認できませんでした。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 このバージョンのシステムソフトウェアでサポートされる GBIC モジュールのリストを確認します。新しいモジュールでは、アップグレードが必要な場合があります。または、シスコあるいはサポート対象のベンダーから入手したモジュールであることを確認します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-UNRECOGNIZED_VENDOR: GBIC interface [chars] manufactured by an unrecognized vendor.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールはシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、その製造元はシスコの GBIC ベンダーのリストに含まれていません。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 このバージョンのシステムソフトウェアでサポートされる GBIC モジュールのリストを確認します。新しいモジュールでは、アップグレードが必要な場合があります。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-VN_DATA_CRC_ERROR: GBIC interface [chars] has bad crc.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GBIC モジュールはシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、モジュールの EEPROM データに有効な CRC が含まれていません。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 このバージョンのシステムソフトウェアでサポートされる GBIC モジュールのリストを確認します。新しいモジュールでは、アップグレードが必要な場合があります。認識されないモジュールでも正常に動作する場合がありますが、機能が制限される可能性があります。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-6-SFP_INSERTED: Transceiver SFP [chars] module inserted in [chars]

説明 Online Insertion and Remova (OIR; 活性挿抜) ファシリティにより、メッセージに表示されたインターフェイスに対して新しく挿入されたトランシーバ モジュールが検出されました。最初の [chars] はモジュールです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-6-SFP_REMOVED: Transceiver SFP [chars] module removed from [chars]

説明 OIR ファシリティにより、メッセージに表示されたインターフェイスからトランシーバ モジュールが削除されたことが検出されました。最初の [chars] はモジュールです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ



(注)

Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチは、SFP モジュールをサポートしていますが、GBIC モジュールはサポートしていません。エラー メッセージのテキストに GBIC インターフェイスまたはモジュールとあっても、スイッチからのメッセージであれば、実際は SFP モジュール インターフェイスまたはモジュールを意味します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY_CRYPT-4-ID_MISMATCH: Identification check failed for GBIC interface [chars].

説明 SFP モジュールはシスコ製 SFP モジュールであると識別されましたが、システムはその識別情報を確認できませんでした。[chars] はポートです。

推奨処置 スイッチで稼動している Cisco IOS ソフトウェアが SFP モジュールをサポートしていることを確認してください。ソフトウェアのアップグレードが必要になることがあります。または、シスコあるいはサポート対象のベンダーから入手した SFP モジュールであることを確認します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY_CRYPT-4-UNRECOGNIZED_VENDOR: GBIC interface [chars] manufactured by an unrecognized vendor.

説明 SFP モジュールがシスコ製 SFP モジュールであると識別されましたが、その製造元がシスコの SFP モジュール ベンダーのリストに含まれていません。[chars] はポートです。

推奨処置 スイッチで稼動している Cisco IOS ソフトウェアが SFP モジュールをサポートしていることを確認してください。ソフトウェアのアップグレードが必要になることがあります。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY_CRYPT-4-VN_DATA_CRC_ERROR: GBIC interface [chars] has bad crc.

説明 SFP モジュールがシスコ製 SFP モジュールであると識別されましたが、モジュールの EEPROM データに有効な巡回冗長検査 (CRC) が含まれていません。[chars] はポートです。

推奨処置 スイッチで稼動している Cisco IOS ソフトウェアが SFP モジュールをサポートしていることを確認してください。ソフトウェアのアップグレードが必要になることがあります。認識されない SFP モジュールでも、正常に動作する場合がありますが、機能が制限される可能性があります。

GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ



(注)

Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチは、SPF モジュールをサポートしていますが、GBIC モジュールはサポートしていません。エラーメッセージのテキストに GBIC インターフェイスまたはモジュールとあっても、スイッチからのメッセージであれば、実際は SFP モジュール インターフェイスまたはモジュールを意味します。

エラーメッセージ GBIC_SECURITY_UNIQUE-3-DUPLICATE_GBIC: GBIC interface [dec]/[dec] is a duplicate of GBIC interface [dec]/[dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 SFP モジュールはシスコ製の GBIC または SFP モジュールであると識別されましたが、ベンダー ID とシリアル番号はシステム上の別のインターフェイスのものと同じです。最初の [dec]/[dec] は、重複する GBIC または SFP モジュールのインターフェイスです。次の [dec]/[dec] は、既存モジュールのインターフェイスです。

推奨処置 シスコの GBIC または SFP モジュールには一意のシリアル番号が割り当てられています。シスコまたはサポート対象のベンダーから入手したモジュールであることを確認します。

エラーメッセージ GBIC_SECURITY_UNIQUE-4-DUPLICATE_SN: GBIC interface [dec]/[dec] has the same serial number as another GBIC interface.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 SFP モジュールはシスコ製 SFP モジュールであると識別されましたが、モジュールのシリアル番号がシステム上の別のインターフェイスのものと同じです。[dec]/[dec] は、重複するモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 シスコの SFP には一意のシリアル番号が割り当てられています。シスコまたはサポート対象のベンダーから入手したモジュールであることを確認します。

GIGASTACK メッセージ

エラー メッセージ GIGASTACK-1-NO_LOOP_DETECT: The link neighbor of link [dec] of GigaStack GBIC in [chars] did not respond to the loop detection request. If loop topology is deployed, make sure all switches in the stack are running the latest software.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GigaStack GBIC モジュール上のリンクから、ループ検出要求への確認応答が得られませんでした。近接スイッチが GigaStack GBIC ループブレイキングアルゴリズムをサポートしていないか、または2つの GigaStack GBIC モジュール間のリンクに障害が発生しています。この状況では、GigaStack ループトポロジが自動的に検出されることはなく、スタック内のスイッチ間の接続が切断される可能性があります。[dec] はリンク番号、[chars] はスロット番号です。

推奨処置 GigaStack GBIC モジュールでループトポロジを使用する場合、スタック内の全スイッチで最新のソフトウェアが動作していることを確認します。関係する GigaStack GBIC モジュールをチェックし、各モジュールが正常に機能しているかどうかを確認します。

エラー メッセージ GIGASTACK-3-INIT_FAILURE: GigaStack GBIC in [chars] initialization failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GigaStack GBIC モジュールが Power-on Self-Test (POST; 電源投入時セルフテスト) に失敗しました。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 GigaStack GBIC モジュールを取り外し、もう一度 GBIC モジュール スロットに取り付けます。

エラー メッセージ GIGASTACK-6-LOOP_BROKEN: Link loss is detected in the GigaStack loop. Link 2 of the GigaStack GBIC in [chars] is re-enabled.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 GigaStack GBIC モジュールによって形成されたループが、リンク損失によって切断されました。損失したリンクの代わりに、マスターループブレイカーのリンク2が再びイネーブルになります。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ GIGASTACK-6-LOOP_DETECTED: GigaStack GBIC in [chars] is selected as Master Loop Breaker. Link 2 of the GigaStack GBIC is disabled to break the loop.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック内にループが検出され、この GigaStack GBIC モジュールがマスター ループ ブレーカーとして選出されました。GigaStack GBIC モジュールのリンク 2 がディセーブルになり、ループを切断します。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

HARDWARE メッセージ

エラーメッセージ HARDWARE-1-PSU_THERMAL_CRITICAL: PSU [chars] temperature has reached critical threshold

説明 PSU スイッチの温度センサーの値が重大レベルに到達したため、スイッチが正常に機能できません。外部温度が非常に高くなっています。[chars] は電源です。

推奨処置 すぐに室温を下げてください。

エラーメッセージ HARDWARE-1-TCAM_ERROR: [traceback] Found error in [chars] TCAM Space and not able to recover the error



(注) このメッセージは、Catalyst 2960-S スイッチには適用されません。

説明 スイッチは、Ternary Content Addressable Memory (TCAM) の整合性エラーを修正できません。[chars] はエラーがあるメモリの場所で、未指定 TCAM スペース、HFTM TCAM スペース (TCAM マネージャ スペースを転送する ASIC)、または HQATM TCAM スペース (TCAM ASIC の Quality of Service (QoS) およびアクセス コントロール リスト (ACL) の TCAM マネージャ スペース) です。

推奨処置 スイッチを再起動します。

エラーメッセージ HARDWARE-2-FAN_ERROR: Fan [chars] Failure

説明 スイッチ ファンが動作していません。[chars] はファン名です。

推奨処置 ハードウェアが故障したときに発生します。ファンは自動的に復旧することがあります。スイッチのファンが復旧しない場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりにメッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ `HARDWARE-2-PSU_THERMAL_WARNING: PSU [chars] temperature has reached warning threshold`

説明 スイッチの電源モジュールの (PSU) 温度センサーの値が警告レベルに達しました。外部温度が高くなっています。[chars] は電源です。

推奨処置 室温を下げてください。(温度が重大レベルに到達するまで、スイッチは正常に機能します)。

エラー メッセージ `HARDWARE-2-THERMAL_WARNING: Temperature has reached warning threshold.`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチの温度センサーの値が警告レベルに達しました。外部温度が高くなっています。

推奨処置 室温を下げてください。(温度が重大レベルに到達するまで、スイッチは正常に機能します)。

エラー メッセージ `HARDWARE-3-ASICNUM_ERROR: [traceback] Port-ASIC number [dec] is invalid`

説明 ポートの ASIC 番号が無効です。[dec] は、ポートの ASIC 番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC でケースを開くか、シスコのテクニカル サポート担当者に情報を提出してください。

エラー メッセージ `HARDWARE-3-INDEX_ERROR: Index value [dec] is invalid.`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 ハードウェア テーブルのインデックスが範囲外です。[dec] はインデックス値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ `HARDWARE-3-INTRNUM_ERROR: Port-ASIC Interrupt number [dec] is invalid.`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポート ASIC で使用されている割り込み ID が無効です。[dec] は割り込み番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ `HARDWARE-3-PORTNUM_ERROR: [traceback] port number [dec] is invalid`

説明 ポート番号が範囲外です。[dec] はポート番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC でケースを開くか、シスコのテクニカル サポート担当者に情報を提出してください。

エラー メッセージ `HARDWARE-3-STATS_ERROR: Statistics ID [dec] is invalid.`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 使用されている統計情報 ID が範囲外です。ポート ASIC がサポートする統計情報は、ID で識別されます。[dec] は統計情報 ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ `HARDWARE-5-PSU_THERMAL_NORMAL: PSU [chars] Temperature is within the acceptable limit`

説明 スイッチの PSU 温度センサーの値が通常の制限範囲内です。[chars] は電源です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

HLFM メッセージ

エラー メッセージ HLFM-3-MACFREE_ERROR: MAC address [enet], vlan [dec] is still referenced; cannot free.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスへのすべての参照を解除する前に、その MAC アドレスを解放しようとしてしました。[enet] は MAC アドレスです。[dec] は VLAN (仮想 LAN) ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HLFM-3-MAP_ERROR: IP address [IP_address] not in mac tables, mac-address [enet], vlan [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 IP アドレス テーブルと MAC アドレス テーブルの同期が取れていません。[IP_address] は IP アドレスです。[enet] は MAC アドレスです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HLFM-3-MOD_SD: Failed to modify Station Descriptor with index [dec], vlan [dec], di [dec], error [dec], mad [dec], ref-count [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 フォワーディング マネージャが、現在では使用されていないか、または無効なステーション記述子を変更しようとした。最初の [dec] はステーションインデックスです。2 番目の [dec] は VLAN ID です。3 番目の [dec] は宛先インデックスです。4 番目の [dec] はエラー コードです。5 番目の [dec] は MAC アドレス記述子です。6 番目の [dec] はこの MAC アドレス記述子に対する参照の数です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HLFM-3-SEND_FAIL: Failed to send RPC message, req [dec], [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 ローカル リソース エラーが発生したか、メッセージクラスに対してキュー内の発信メッセージが多すぎます。[dec] は Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 要求番号です。[chars] はオプションのコメントです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

HPSECURE メッセージ

エラー メッセージ HPSECURE-6-ADDR_REMOVED: Address [enet]:[dec] on port [chars] cannot be added on switch [dec] and has been removed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 リソース エラーが原因で、少なくともスタックのスイッチの 1 つに MAC アドレスが追加できませんでした。MAC アドレスはスタックの全スイッチから削除されました。[enet] は MAC アドレスです。最初の [dec] は MAC アドレスが割り当てられた VLAN (仮想 LAN) です。[chars] はインターフェイスです。2 番目の [dec] はスタック メンバの番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

HULC メッセージ

エラー メッセージ HULC_LICENSE-1-LICENSE_REGISTER_FAILED: [chars] - rc = [dec]



(注)

このメッセージは、Catalyst 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 ライセンスの初期化に失敗しました。[chars] はライセンス登録の失敗した部分を示します。[dec] は、ライセンスの初期化エラーのタイプです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC でケースを開くか、シスコのテクニカル サポート担当者に情報を提出してください。

IDBMAN メッセージ

エラー メッセージ IDBMAN-3-AGGPORTMISMATCH: [chars]: [chars]([dec] / [dec]) does not match internal slot/port state [chars]([dec] / [dec]).



(注)

このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーにより、ソフトウェアは無効なアグリゲート ポートを使用しました。最初の [chars] はエラーが発生した機能の名前です。2 番めと 3 番めの [chars] はポートチャネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット/ポート) です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ IDBMAN-3-DELETEDAGGPORT: [chars]([dec] / [dec]) Group [dec] has been deleted, but is being reused.



(注)

このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーにより、削除されたインターフェイスが新しいアグリゲートポートによって再利用されました。[chars] はポートチャンネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット/ポート) です。最後の [dec] はチャンネルグループ番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステムログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ IDBMAN-3-INVALIDAGGPORTBANDWIDTH: [chars]([dec] / [dec]) has an invalid bandwidth value of [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーにより、アグリゲートポート用に無効な帯域幅が使用されました。[chars] はポートチャンネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット/ポート) です。最後の [dec] は帯域幅です。

推奨処置 コンソールまたはシステムログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ IDBMAN-3-INVALIDPORT: [chars]: trying to use invalid port number [dec] (Max [dec]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーにより、ソフトウェアは無効なポート番号を使用しました。[chars] はインターフェイス名です。最初の [dec] は無効なポート番号です。2 番めの [dec] はポート番号に許可された最大値です。

推奨処置 コンソールまたはシステムログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ IDBMAN-3-INVALIDVLAN: [chars]: trying to use invalid Vlan [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーにより、ソフトウェアは無効な VLAN（仮想 LAN）を使用しました。[chars] はインターフェイス名です。[dec] は無効な VLAN ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ IDBMAN-3-NOTANAGGPOR: [chars] ([dec] / [dec]) is not an aggregate port.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーにより、アグリゲート ポートではないインターフェイスがアグリゲート ポート操作で使用されました。[chars] はインターフェイス名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号（スロット/ポート）です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ IDBMAN-3-PORTNOTINAGGPOR: [chars] ([dec] / [dec]) is not present in Aggport [chars] ([dec] / [dec]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーが検出されました。アグリゲート ポートと考えられたポートはアグリゲート ポートではありませんでした。最初の [chars] はインターフェイス名です。2 番目の [chars] はポートチャンネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号（スロット/ポート）です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ IDBMAN-3-VLANNOTSET: [chars]: Vlan [dec] not set since it already has Vlan [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーにより、インターフェイス VLAN が要求値に設定されませんでした。[chars] はインターフェイス名です。最初の [dec] は新しく設定された VLAN ID です。2 番目の [dec] は現在割り当てられている VLAN ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ IDBMAN-4-ACTIVEPORTSINAGGPORT: [chars] ([dec] / [dec]) has [dec] active ports, but is being removed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーにより、アクティブなポートのあるアグリゲート ポートが削除されました。[chars] はポートチャンネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット / ポート) です。最後の [dec] は現在アクティブなポートの数です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

IFMGR メッセージ

エラーメッセージ IFMGR-3-IFINDEX_PERSIST_ENTRY_CORRUPT: [chars] seems to be corrupted. Trying to read [dec] size

説明 ifIndex テーブルが破損しています。[chars] は ifIndex ファイルのパスです。[dec] は破損が検出されたときに ifIndex テーブルから読み取られたバイト数です。

推奨処置 ifIndex テーブルを削除します。

エラー メッセージ IFMGR-3-INVALID_PERSISTENT_DATA: Invalid persistent data

説明 インターフェイス マネージャが、無効な固定データを書き込もうとしています。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC でケースを開くか、シスコのテクニカル サポート担当者に情報を提出してください。

IGMP_QUERIER メッセージ

エラー メッセージ IGMP_QUERIER-4-NO_IP_ADDR_CFG: The IGMP querier cannot send out General Query messages in VLAN [dec] because there is no IP address configured on the system.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 グローバル レベルまたは VLAN ごとのレベルのいずれかで、IGMP クエリアの IP アドレスが設定されていません。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 IGMP クエリアの送信元 IP アドレスを設定します。

エラー メッセージ IGMP_QUERIER-4-PIM_ENABLED: The IGMP querier is operationally disabled in VLAN [dec] because PIM has been enabled on the SVI.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチ仮想インターフェイス (SVI) で、プロトコル独立型マルチキャスト (PIM) が検出されました。SVI の PIM がイネーブルになっている場合は、IGMP クエリアをイネーブルにできません。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 SVI の PIM がイネーブルであることを確認します。

エラー メッセージ IGMP_QUERIER-4-SNOOPING_DISABLED: The IGMP querier is operationally disabled in VLAN [dec] because IGMP snooping has been disabled in this VLAN.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 この VLAN では IGMP スヌーピングがディセーブルです。IGMP スヌーピングがディセーブルの場合、IGMP クエリアをイネーブルにしないでください。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 IGMP スヌーピングがグローバルでも VLAN でもイネーブルになっていることを確認します。

エラーメッセージ IGMP_QUERIER-6-PIM_DISABLED: The IGMP querier is now operationally enabled in VLAN [dec] because PIM is no longer enabled on the SVI.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 PIM が SVI でディセーブルであり、IGMP クエリア機能が現在イネーブルになっています。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ IGMP_QUERIER-6-SNOOPING_ENABLED: The IGMP querier is now operationally enabled in VLAN [dec] because IGMP snooping is no longer disabled.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 IGMP スヌーピングがイネーブルになりました。その結果、IGMP クエリア機能は現在イネーブルになっています。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

ILET メッセージ

エラーメッセージ ILET-1-AUTHENTICATION_FAIL: This Switch may not have been manufactured by Cisco or with Cisco's authorization. This product may contain software that was copied in violation of Cisco's license terms. If your use of this product is the cause of a support issue, Cisco may deny operation of the product, support under your warranty or under a Cisco technical support program such as Smartnet. Please contact Cisco's Technical Assistance Center for more information.

説明 ライセンスの認証失敗がスイッチで発生しました。

推奨処置 サポートについては、シスコの営業担当者にご連絡ください。

エラーメッセージ ILET-1-DEVICE_AUTHENTICATION_FAIL: The [chars] inserted in this switch may not have been manufactured by Cisco or with Cisco's authorization. If your use of this product is the cause of a support issue, Cisco may deny operation of the product, support under your warranty or under a Cisco technical support program such as Smartnet. Please contact Cisco's Technical Assistance Center for more information.

説明 ライセンスの認証失敗が、スイッチに挿入されたコンポーネントで発生しました。[chars] はコンポーネントです。

推奨処置 サポートについては、シスコの営業担当者にご連絡ください。

ILPOWER メッセージ

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_ERR: Controller error, Controller number [dec]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PoE コントローラによって報告された、または PoE コントローラが原因で発生したエラーが検出されました。[dec] は、24 ポート PoE スイッチでは 0 ~ 5、48 ポート PoE スイッチでは 0 ~ 11 のコントローラ インスタンスです。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_ERR:Controller error, Controller number [chars]: accessing failed



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 PoE コントローラが原因で発生した、またはレポートされたエラーが検出されました。[chars] はコントローラ番号です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_ERR:Controller error, Controller number [chars]:Reset failed



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 PoE コントローラが原因で発生した、またはレポートされたエラーが検出されました。[chars] はコントローラ番号です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシス

このテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_IF_ERR: Controller interface error, [chars]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PoE コントローラとシステム間のインターフェイス エラーが検出されました。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_IF_ERR:Controller interface error, S2W bus:Initialization failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 PoE コントローラとシステム間のインターフェイス エラーが検出されました。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_PORT_ERR:Controller port error, Interface Fa0/7:Power given, but link is not up.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 インライン電力コントローラで、インターフェイス上のエラーが検出されました。

推奨処置 影響を受けたインターフェイス上で、**shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドおよび **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力します。静電破壊 (ESD) 復旧メカニズムを提供する、Cisco IOS Release 12.1 (14) EA1 以降にアップグレードします。

エラーメッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_POST_ERR: Inline Power Feature is disabled on this switch because Power On Self Test (POST) failed on this switch. Please consult TECH support for further assistance



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 Power-on Self-Test (POST; 電源投入時セルフテスト) 時に、PoE コントローラがレポートしたエラーまたは PoE コントローラが原因で発生したエラーが検出されました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ ILPOWER-3-ILPOWER_INTERNAL_IF_ERROR: Inline Power internal error, interface [chars]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 PoE 処理中にソフトウェア チェックに失敗しました。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ ILPOWER-3-ILPOWER_INTERNAL_IF_ERROR:Inline Power internal error. Interface cannot obtain asic-cnfg information.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 不明な理由により、PoE 関連のコードに障害が発生しました。ソフトウェア エラーが発生している可能性があります。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ ILPOWER-4-LOG_OVERDRAWN: Interface [chars] is overdrawing power. it is consuming [dec] milliwatts where as maximum configured power is ([dec]) milliwatts.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 インターフェイスに設定されている最大電力より大きい電力が受電装置に給電されています。[chars] はインターフェイスです。[dec] は設定されている最大電力です。

推奨処置 受電装置の電気仕様または定格に基づいて、このインターフェイスに適切な電力が給電されるようにします。そうしないと、スイッチに過負荷がかかるおそれがあります。必要に応じて、カットオフ電力値を変更することを推奨します。

エラーメッセージ ILPOWER-5-CLR_OVERDRAWN: Interface [chars] is NOT overdrawing power. it is consuming [dec] milliwatts where as maximum configured value is ([dec]) milliwatts.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PoE インターフェイスに接続されている装置が、割り当てられた最大電力値を超える電力を消費しています。[chars] はインターフェイスです。最初の [dec] は消費されている電力です。2 番目の [dec] は割り当てられている最大電力値です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ ILPOWER-5-CONTROLLER_OVERDRAWN: Interface [chars] is NOT overdrawing power. it is consuming [dec] milliwatts where as maximum configured value is ([dec]) milliwatts.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PoE インターフェイスに接続されている装置が、割り当てられた最大電力値を超える電力を消費しています。[chars] はインターフェイスです。最初の [dec] は消費されている電力です。2 番目の [dec] は割り当てられている最大電力値です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ ILPOWER-5-DC_DISCONNECT: Interface [chars]: DC disconnect.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 DC 電源が切断されました。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ ILPOWER-5-IEEE-DISCONNECT: Interface [chars]: PD removed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 受電装置がスイッチに接続されていないか、接続されている受電装置が外部 AC 電源から電力供給を受けています。スイッチはポートに電力を供給していません。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ ILPOWER-5-ILPOWER_POWER_CDP_SHUT: Interface [chars]: inline power shut



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 インライン電力が停止しています。この PoE ポートの CDP 消費電力が、割り当て電力、ハードウェア インターフェイスの限界、ユーザが設定した最大電力、またはこのスイッチで使用できる電力を超えているためです。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ ILPOWER-5-ILPOWER_POWER_DENY: Interface [chars]: inline power denied.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチには PoE ポートに供給する十分な電力が残っていません。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 受電装置を外部 AC 電源に接続します。

エラー メッセージ ILPOWER-5-ILPOWER_POWER_DENY:Interface [chars]:inline power denied



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 PoE 要求が拒否されました。スイッチに PoE 要求に対応するだけの電力が残されていないことが原因です。[chars] はインターフェイス番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ ILPOWER-5-INVALID_IEEE_CLASS: Interface [chars]: has detected invalid IEEE class: [dec] device. Power denied



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 受電装置が無効なクラスを保有しているため、スイッチはこの受電装置に電力を供給していません。[chars] はインターフェイス名です。[dec] は受電装置のクラス番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ ILPOWER-5-LINKDOWN_DISCONNECT: Interface [chars]: Link down disconnect.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 受電装置がスイッチに接続されていないか、接続されている受電装置が外部 AC 電源から電力供給を受けています。スイッチはインターフェイスに電力を供給していません。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ ILPOWER-5-POWER_GRANTED: Interface [chars]: Power granted.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチでは十分な電力が利用可能で、スイッチはインターフェイスに電力を供給しています。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ ILPOWER-7-DETECT: Interface [chars]: Power Device detected: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは接続された受電装置を検出しました。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はシスコ先行標準の受電装置、または IEEE 準拠の受電装置です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

IMAGEMGR メッセージ

エラーメッセージ IMAGEMGR-6-AUTO_ADVISE_SW_INITIATED: Auto-advise-software process initiated for systems [bits: [hex]].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチ スタックで、互換性のないソフトウェアを使用しているシステムが検出されました。スタック内のすべてのスイッチで同じソフトウェア バージョンが稼動していない場合は、自動通知ソフトウェアから通知があります。通知を受けたスタック マスターは、異なるバージョンが稼動しているすべてのスイッチを、マスターで稼動しているバージョンにアップグレードしようとします。スタックは、非互換のシステムにソフトウェアをコピーできるかどうかを判別し、コピーできる場合は、コピー方法を通知します。コピーできない場合は、スイッチ スタック上のソフトウェアを更新する必要性について、システムから通知が出されます。[bits [hex]] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ IMAGEMGR-6-AUTO_ADVISE_SW: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 これは自動通知ソフトウェア プロセスの出力です。[chars] はアップグレード プロセスのステータスを伝えるテキスト メッセージです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ IMAGEMGR-6-AUTO_COPY_SW_INITIATED: Auto-copy-software process initiated for systems [bits: [hex]].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチ スタックで、互換性のないソフトウェアを使用しているシステムが検出されました。スタックは、非互換のシステムにソフトウェアをコピーできるかどうか、およびソフトウェアを自動的にコピーしてよいかどうかを判別します。[bits [hex]] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ `IMAGEMGR-6-AUTO_COPY_SW: [chars].`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 これは自動コピー ソフトウェア プロセスの出力です。[chars] はアップグレード プロセスのステータスを伝えるテキスト メッセージです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ `IMAGEMGR-6-AUTO_DOWNLOAD_SW_INITIATED: Auto-download-software process initiated for systems [bits: [hex]].`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチ スタックで、互換性のないソフトウェアを使用しているシステムが検出されました。スタックは、以前設定を行った場所からソフトウェアをダウンロードしてインストールし、システム間で互換性を持たせるようにします。[bits [hex]] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ `IMAGEMGR-6-AUTO_DOWNLOAD_SW: [chars].`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 これは auto-download-software プロセスの出力です。[chars] はアップグレード プロセスのステータスを伝えるテキスト メッセージです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

IP メッセージ

エラー メッセージ `IP-3-SBINIT: Error initializing [chars] subblock data structure. [chars]`

説明 サブブロック データ構造が初期化されていません。[chars] は構造の ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ

エラー メッセージ IP_DEVICE_TRACKING_HA-4-ENTRY_OUT_OF_SYNC: Host mac-address [enet] ip-address [IP_address] interface [chars]

説明 IP デバイス トラッキング テーブルで、このホストについてアクティブとスタンバイの不整合が検出されました。[enet] はホストの MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスです。[IP_address] はホストの IP アドレスです。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

L2TM メッセージ

エラー メッセージ L2TM-3-ACCESS_ERR: TCAM access failed while [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ソフトウェアが TCAM に対する読み取りまたは書き込みを行いませんでした。[chars] は障害が発生した TCAM の部分および動作を表します。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート \(P.1-8\)](#)」を参照してください。

エラー メッセージ L2TM-7-INTERNAL_ERR: Internal error:[chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部エラーが発生しました。[chars] は失敗した内部動作を表します。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート \(P.1-8\)](#)」を参照してください。

L3TCAM メッセージ

エラーメッセージ L3TCAM-3-SIZE_CONFLICT: [chars] requires enabling extended routing.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 レイヤ 3 ユニキャスト TCAM エントリのサイズが不足しているため、機能を実装できませんでした。[chars] は 144 ビットの TCAM サイズを必要とする機能の名前 (Web Cache Communication Protocol [WCCP] または複数 VPN ルーティング/フォワーディング [multi-VRF] のいずれか) です。

推奨処置 Switch Database Management (SDM) テンプレートを変更して、スイッチが 144 ビットのレイヤ 3 TCAM をサポートできるようにします。 **sdm prefer extended-match**、**sdm prefer access extended-match**、または **sdm prefer routing extended-match** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用したあと、**reload** 特権 EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードします。

エラーメッセージ L3TCAM-3-TOO_MANY_VRF: Exceed the maximum number of VRF allowed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 Virtual Private Network (VPN; 仮想私設網) の数が、このハードウェアプラットフォームの VPN ルーティング/フォワーディング テーブルで許容される数を超過しています。

推奨処置 スイッチを再設定して、VRF の数を制限します。 **ip vrf vrf-name** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して 8 つ以上の VRF を定義 (命名) してはなりません。

エラーメッセージ L3TCAM-4-WCCP_ENABLE: Both VRF and WCCP are enabled, please remove either WCCP or VRF configuration.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチでは、VRF と WCCP の両方をイネーブルにできません。

推奨処置 スイッチを再設定して、VRF または WCCP を使用するようになります。

MAB メッセージ

エラー メッセージ MAB-5-FAIL: Authentication failed for client ([chars]) on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証に失敗しました。最初の [chars] はクライアント、2 番目の [chars] はインターフェイス、3 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ MAB-5-SUCCESS: Authentication successful for client ([chars]) on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証に成功しました。最初の [chars] はクライアント、2 番目の [chars] はインターフェイス、3 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

MAC_LIMIT メッセージ

エラー メッセージ MAC_LIMIT-4-DROP: Vlan [dec] with Configured limit = [dec] has currently [dec] Entries.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 VLAN (仮想 LAN) の MAC アドレス テーブル エントリ数が、許可された最大数より少ないか同じです。最初の [dec] は VLAN ID、次の [dec] は MAC アドレス エントリの最大数、3 番目の [dec] は MAC アドレス テーブルのエントリ数です。

推奨処置 システム管理者によって対処が設定されます。

エラー メッセージ MAC_LIMIT-4-ENFORCE: Enforcing limit on Vlan [dec] with Configured limit = [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 VLAN の MAC アドレス エントリ数が許可された最大数を超過しました。設定された対処方法により、エントリ数が許可された最大数に制限されます。最初の [dec] は VLAN ID、次の [dec] は MAC アドレス エントリの最大数です。

推奨処置 システム管理者によって対処が設定されます。

エラーメッセージ MAC_LIMIT-4-EXCEED: Vlan [dec] with Configured limit = [dec] has currently [dec] Entries.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 VLAN の MAC アドレス エントリ数が許可された最大数を超過しました。最初の [dec] は VLAN ID、次の [dec] は MAC アドレス エントリの最大数、3 番目の [dec] は MAC アドレス テーブルのエントリ数です。

推奨処置 システム管理者によって対処が設定されます。

MAC_MOVE メッセージ

エラーメッセージ MAC_MOVE-4-NOTIF: Host [enet] in vlan [dec] is flapping between port [chars] and port [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 ホストが指定のポート間で移動しています。[enet] はホストのイーサネット アドレス、[dec] は VLAN (仮想 LAN) ID、最初の [chars] は 1 番目のポート、次の [chars] は 2 番目のポートです。

推奨処置 ネットワークにループがないか確認します。

NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ

ここでは、Catalyst 3550 スイッチのネットワーク ポート サテライト メッセージについて説明します。ネットワーク ポート サテライトは、ギガビット リンクまたは複数の 10/100 イーサネット リンクとスイッチとの間で、レイヤ 2/レイヤ 3 機能およびインターフェイスを提供する、スイッチ上の Application-Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け集積回路) です。

エラーメッセージ NETWORK_PORT_SATELLITE-3-PHY_LOCKUP: Repeated phy lockup seen on [chars]. Interface will be shut down.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 1 行の中で検出された PHY ロックアップの数が多すぎます。リンク フラッピングの頻発を防ぐため、インターフェイスがシャットダウンされています。

推奨処置 インターフェイスを再びイネーブルにするには、**shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用したあと、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。

エラー メッセージ NETWORK_PORT_SATELLITE-6-MAC_LOCKUP: Transmit lock up is detected in [chars]. This port is administratively down.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PHY の電源がオンおよびオフになったときに、MAC (メディア アクセス コントロール) が 1000 Mbps から 100 Mbps に切り替わり、ポートがロックされてパケット送信を停止した可能性があります。PHY とは、光信号を送受信し、フレーム同期および回線の完全性を提供する、スイッチ上の物理層デバイスです。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 **shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用してポートをシャットダウンし、次に **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用してポートを再びアップに戻します。

PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ

エラー メッセージ PAGP_DUAL_ACTIVE-3-OBJECT_CREATE_FAILED: Unable to create [chars]

説明 スイッチが指定の管理対象オブジェクトを作成できません。[chars] はオブジェクト名です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PAGP_DUAL_ACTIVE-3-RECOVERY_TRIGGER: PAgP running on [chars] informing virtual switches of dual-active: new active id [enet], old id [enet]

説明 PAgP は、指定のインターフェイスで新しいアクティブ ID を受信しました。つまり、すべての仮想スイッチがデュアルアクティブ シナリオ状態です。インターフェイスはこれに関する情報を仮想スイッチに伝えており、1 つのスイッチが回復モードになりました。[chars] はインターフェイスです。最初の [enet] は新しいアクティブ ID です。次の [enet] は置換される ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PAGP_DUAL_ACTIVE-3-REGISTRY_ADD_ERR: Failure in adding to [chars] registry

説明 スイッチは、レジストリに機能を追加できませんでした。[chars] はレジストリ名です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

PBR メッセージ

エラー メッセージ PBR-2-NO_RMAP: Cannot create PBR data structures for route-map [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PBR マネージャは、ポリシー ルーティングで使用されるルート マップを記述するのに必要なデータ構造を割り当てることができませんでした。考えられる原因は、メモリの空き容量の不足です。[chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラー メッセージ PBR-3-NO_LABEL: Cannot allocate label for route-map [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PBR マネージャは、このルート マップ用のラベルを割り当てることができませんでした。そのため、ハードウェアをプログラミングしてポリシー ルーティングを実装することができません。ポリシー ルーティング用には 247 ラベルという上限があります。[chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 ラベルの共有が可能な、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じルート マップを使用します。

エラー メッセージ PBR-3-MERGE_FAIL: [chars] ACL merge error [dec] on route-map [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PBR マネージャは、設定済みのルート マップを、ハードウェアに読み込める形式にマージすることができませんでした。原因としては、指定したアクセス コントロール リスト (ACL) が大きすぎるか複雑すぎるために、システムが処理できなかったことが考えられます。最初の [chars] はモジュール名または機能名、2 番めの [chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。[dec] は内部エラー コードです。

推奨処置 より小さく、簡素なコンフィギュレーションを指定します。

エラー メッセージ PBR-3-UNSUPPORTED_RMAP: Route-map [chars] not supported for Policy-Based Routing



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー ルーティング用としてインターフェイスに適用されたルート マップの中に、このプラットフォームでサポートされていないアクションが含まれています。これはハードウェアの制限です。[chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 ルート マップを再設定します。ルート マップには、*permit* エントリおよび *set ip next-hop* アクションだけを使用します。

エラー メッセージ PBR-4-CPU_SUPPORTED_ACTION: Set action in sequence [dec] of route-map [chars] supported by forwarding to CPU.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー ルーティング用としてインターフェイスに適用されたルート マップの中に、ハードウェアでサポートされていないアクションが含まれています。set interface、set ip default next-hop、set default interface、または set ip df アクションが含まれています。CPU でパケットを転送しなければなりません。[dec] および [chars] は route-map インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 ルート マップを再設定します。可能であれば、ルート マップに set ip next-hop だけを使用します。

エラー メッセージ PBR-3-INSTALL_FAIL: Policy route-map [chars] not installed in hardware



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PBR マネージャは、ルート マップ全体をハードウェアに組み込むことができなかつたため、ソフトウェアでルート マップを適用します。CPU でパケットを転送しなければなりません。[chars] は route-map インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 ルート マップを再設定して、より簡素なコンフィギュレーションを使用するようにします。可能であれば、複数のインターフェイスで同じルート マップを使用します。

エラー メッセージ PBR-4-RETRY_INSTALL: Route-map [chars] installed in hardware upon retry



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 PBR マネージャは、コンフィギュレーション全体をハードウェアに組み込むことができました。以前はスペース不足のため、一部のルート マップがロードできませんでした。[chars] は route-map インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

PHY メッセージ

エラー メッセージ PHY-4-BADTRANSCEIVER: An inappropriate transceiver has been inserted in interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 使用すべきでないトランシーバが、指定のインターフェイスに存在します。

推奨処置 トランシーバを取り外します。トランシーバがシスコ デバイスである場合は、シスコのテクニカル サポート担当者に問い合わせてください。

エラー メッセージ PHY-4-CHECK_SUM_FAILED: SFP EEPROM data check sum failed for SFP interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュールはシスコ製の SFP モジュールであると識別されましたが、システムはベンダー データ情報を読み取って正しいかどうかを確認することができませんでした。[chars] は SFP モジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 SFP モジュールをいったん取り外し、改めて取り付けます。同じエラー メッセージが再び表示された場合は、SFP モジュールに障害があると考えられます。

エラー メッセージ PHY-4-EXCESSIVE_ERRORS: Excessive FCS, data, or idle word errors found on interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 指定のインターフェイスで過度の Frame Check Sequence (FCS)、データ ワード、またはアイドル ワードのエラーが検出されました。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 指定のインターフェイスに対して **show interface** 特権 EXEC コマンドを入力し、Cyclic Redundancy Check (CRC; 巡回冗長検査) を行い、またその他の入力エラーがないかどうかを調べてください。エラーが多すぎる場合は、**shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力し、さらに **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力してインターフェイスをリセットします。

エラー メッセージ PHY-4-MODULE_DUP: SFPs in [chars] and in [chars] have duplicate vendor-id and serial numbers.

説明 SFP モジュールはシスコ製の SFP モジュールであると識別されましたが、ベンダー ID とシリアル番号はシステムの別の SFP モジュールのものと同じです。最初の [chars] は SFP モジュールが取り付けられているインターフェイスです。次の [chars] は重複する SFP モジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PHY-4-SFP_NOT_SUPPORTED: The SFP in [chars] is not supported



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 この SFP モジュールが、このスイッチでサポートされていません。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PHY-4-UNSUPPORTED_SFP_CARRIER: Unsupported SFP carrier module found in [chars]

説明 この SFP キャリア モジュールが、サポートされていない他社製 SFP キャリア モジュールであると識別されました。[chars] はサポートされていないモジュールです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PHY-4-UNSUPPORTED_TRANSCEIVER:Unsupported transceiver found in [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 SFP モジュールは、サポートされていない他社製 SFP モジュールであると識別されました。[chars] はサポートされていないモジュールです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PIMSN メッセージ

エラー メッセージ PIMSN-6-IGMPSN_GLOBAL: PIM Snooping global runtime mode [chars] due to IGMP Snooping [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 IGMP スヌーピングがディセーブルになっているときは、PIM スヌーピングもディセーブルです。IGMP スヌーピングが再度イネーブルになると、PIM スヌーピングも再度イネーブルになります。最初の [chars] は PIM スヌーピング モードです。次の [chars] は IGMP スヌーピング モードです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PIMSN-6-IGMPSN_VLAN: PIM Snooping runtime mode on vlan [dec] [chars] due to IGMP Snooping [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 IGMP スヌーピングがディセーブルになっているときは、PIM スヌーピングもディセーブルです。IGMP スヌーピングが再度イネーブルになると、PIM スヌーピングも再度イネーブルになります。[dec] は VLAN ID です。最初の [chars] は PIM スヌーピング モードです。次の [chars] は IGMP スヌーピング モードです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

PLATFORM メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM-6-FLEXSTACK_INSERTED: FlexStack module inserted [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチが、FlexStack モジュールを検出しました。[chars] はスロットです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PLATFORM-6-FLEXSTACK_REMOVED: FlexStack module removed [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、FlexStack モジュールが取り外されていることを検出しました。[chars] はスロットです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PLATFORM-1-CRASHED: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 システムが、前のインスタンスでスイッチが故障していた場合に表示されるエラーメッセージを表示しようとしています。[chars] はエラーメッセージの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM-3-NO_HARDWARE_RESOURCES: Not enough hardware resources. Shutting down [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 VLAN (仮想 LAN) とルーテッドポートの数が多すぎます。[chars] は Gi1/0/1 などの短いインターフェイス名、または VLAN0002 などの VLAN 名です。

推奨処置 VLAN およびルーテッドポートの総数が 1023 未満になるように減らします。再起動後も設定および接続を維持する場合は、コンフィギュレーションを保存します。

エラー メッセージ PLATFORM-3-PW_REC_HRPC_BAD_LENGTH: Received incompatible length (= [dec]) in set-password-recovery HRPC message from box [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 set-password-recovery HRPC メッセージで互換性のない長さのパラメータを受信しました。スタック メンバ間のソフトウェア バージョンに互換性のない状態で、スタックが動作していることが原因と考えられます。最初の [dec] は長さです。次の [dec] はスイッチです。

推奨処置 すべてのスタック メンバで互換性のあるソフトウェアイメージが稼動するようにします。問題が解消されない場合は、**show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PLATFORM-3-PW_REC_HRPC_NOT_ON_MASTER: Set-password-recovery HRPC msg from box [dec] received on master.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック マスターは set-password-recovery HRPC メッセージを受信しました。このメッセージを受信するのは、スタック メンバ スイッチのみとされています。[dec] はスイッチです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PLATFORM-3-PW_REC_HRPC_ONLY_ON_MASTER: Get-password-recovery HRPC msg from box [dec] received on member.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック メンバ スイッチが get-password-recovery HRPC メッセージを受信しました。このメッセージを受信するのは、スタック マスターのみとされています。[dec] はスイッチです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_FBM メッセージ

エラーメッセージ PLATFORM_FBM-4-RECOVERED: Fallback bridging recovered from resource crunch.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 フォールバック ブリッジングが、リソース不足の状態から回復しました。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PLATFORM_FBM-4-RESOURCE_CRUNCH: Fallback bridging on bridge-group [dec] is experiencing a resource crunch. One or more bridge-groups may not be functional. It will recover automatically when system recovers from resource crunch. Delete the bridge-group to immediately recover.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 フォールバックブリッジングを正しく設定できませんでした。考えられる原因として、少なくとも1つのスタックメンバ上で Ternary CAM (TCAM) が満杯の状態になったことが挙げられます。[dec] はブリッジグループです。

推奨処置 スイッチは自動的に回復しますが、多少時間がかかる場合があります。即時回復が必要な場合は、**shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用し、ポートをディセーブルにしてスイッチへのトラフィックフローを停止します。**clear mac-address-table dynamic** 特権 EXEC コマンドで、TCAM からすべての MAC (メディアアクセスコントロール) アドレスを削除します。**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで、ポートを再びイネーブルにします。

PLATFORM_HCEF メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM_HCEF-3-ADJ: [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 Cisco IOS Release 12.2 (25) SE を稼動するスイッチで、サポートされていない機能が設定されています。[chars] はエラーメッセージです。

推奨処置 総称ルーティングカプセル化 (GRE) トンネルまたは **ip cef accounting** グローバル コンフィギュレーション コマンドが設定されているかどうかを判別します。Distance Vector Multicast Routing Protocol (DVMRP) トンネルのみがサポートされます。GRE トンネルが設定されている場合、トンネルを削除します。GRE 機能が必要な場合は、スイッチソフトウェアを Cisco IOS Release にアップグレードします。**ip cef accounting** コマンドが設定されている場合は、**no ip cef accounting** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して削除します。



(注) Cisco IOS リリース 12.2 (25) SEB2 は、**ip cef accounting** コマンドをサポートしていません。

PLATFORM_HPLM メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM_HPLM-3-ERROR: Failed Alloc for action record label move from [dec] to [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ラベル圧縮プロセスで内部リソース割り当てエラーが発生しました。最初の [dec] は以前のラベルです。次の [dec] は新しいラベルです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_HPLM-6-LABEL_COMPLETE: VRF Label compaction complete.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 VRF ラベル圧縮プロセスが正常に終了しました。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PLATFORM_HPLM-6-LABEL_FAILED: VRF Label compaction failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 VRF ラベル圧縮プロセスが失敗しました。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PLATFORM_HPLM-6-LABEL_START: VRF Label compaction started.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 VRF ラベル圧縮プロセスが開始されました。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

PLATFORM_IPC メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-COMMON: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 IPC で障害が発生しました。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-MASTER: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック マスターで IPC エラーが発生しました。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-MAX_LENGTH_EXCEEDED: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 最大長を超える IPC メッセージが送信されたときに内部 IPC アプリケーション エラーが発生しました。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-MEMBER: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック メンバスイッチで IPC エラーが発生しました。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-STACK_EVENT: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタックで IPC エラーが発生しました。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_IPv6 メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM_IPv6_UCAST-6-PREFIX: One or more, more specific prefixes could not be programmed into TCAM and are being covered by a less specific prefix



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 TCAM により詳しいプレフィクスをプログラミングすることができず、あまり限定的でないプレフィクスが適用されています。これは、一時的な状態の可能性があります。**show platform ipv6 unicast retry route** 特権 EXEC コマンドの出力には、エラーが発生したプレフィクスが示されます。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

PLATFORM_PBR メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-2-NO_RMAP: Cannot create PBR data structures for route-map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 PBR マネージャは、このルート マップ用の内部データ構造を割り当てることができませんでした。考えられる原因は、使用可能なメモリの不足です。[chars] はルート マップです。

推奨処置 メモリ所要量を減らすため、コンフィギュレーションを簡素化します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-3-INSTALL_FAIL: Policy route-map [chars] not installed in hardware.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 PBR マネージャが完全なルート マップをハードウェアにインストールできなかったため、パケットは CPU に転送されて処理されます。[chars] はルート マップです。

推奨処置 ルート マップの設定を簡素化します。たとえば、複数のインターフェイスで同じルート マップを使用します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-3-NO_LABEL: Cannot allocate label for route-map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 PBR マネージャは、このルート マップ用のラベルを割り当てることができませんでした。その結果、ハードウェアをプログラミングしてポリシー ルーティングを実装することができません。ポリシー ルーティング用には 247 ラベルという上限があります。[chars] はルート マップです。

推奨処置 ラベルの共有によって設定を簡素化します。可能であれば、複数のインターフェイス上で同じルート マップを使用します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-3-UNSUPPORTED_RMAP: Route-map [chars] not supported for Policy-Based Routing.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー ルーティング用としてインターフェイスに適用されたルート マップの中に、このプラットフォームでサポートされていないアクションが含まれています。これはハードウェアの制限です。[chars] はルート マップです。

推奨処置 **route-map map-tag permit** グローバル コンフィギュレーション コマンドおよび **set ip next-hop ip-address** ルート マップ コンフィギュレーション コマンドを使用して、サポート対象の動作のみを使用するようルート マップの設定を変更します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-4-CPU_SUPPORTED_ACTION: Set action in sequence [dec] of route-map [chars] supported by forwarding to CPU.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシーベースルーティング用としてインターフェイスに適用されたルートマップの中に、ハードウェアでサポートされていないアクションが含まれていたため、パケットは CPU に転送されて処理されます。この転送を引き起こすルートマップアクションは、**set interface**、**set ip default next-hop**、**set default interface**、または **set ip df** です。[dec] はアクション番号、[chars] はルートマップです。

推奨処置 **set ip next-hop ip-address** ルートマップコンフィギュレーションコマンドを使用して、指定のネクストホップにパケットをルーティングするよう、ルートマップアクションの設定を変更します。

エラーメッセージ PLATFORM_PBR-4-RETRY_INSTALL: Route-map [chars] installed in hardware upon retry.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 PBR マネージャは、コンフィギュレーション全体をハードウェアに組み込むことができました。このメッセージは、以前はリソース不足が原因で、1 つまたは複数のルートマップをロードしなかったことを示します。[chars] はルートマップです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ PLATFORM_PBR-4-SDM_MISMATCH: [chars] requires sdm template routing.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ルーティングテンプレートがイネーブルではありません。[chars] は PBR の文字列です。

推奨処置 Switching Database Manager (SDM; スイッチングデータベースマネージャ) テンプレートを変更して、ルーティングテンプレートをイネーブルにします。**sdm prefer** ルーティングコンフィギュレーションコマンドを使用し、さらに **reload** 特権 EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードします。

PLATFORM_PM メッセージ

エラーメッセージ PLATFORM_PM-3-IFCOUNTERERROR: Unit number [dec] of interface [chars] is more than max allowed value of [dec].

説明 インターフェイスタイプに対して設定されているインターフェイスが多すぎます。[dec] はインターフェイス数です。[chars] はインターフェイス、[dec] はインターフェイスの最大数です。

推奨処置 コンソールまたはシステムログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_PM-3-INTVLANINUSE: internal vlan-id [dec] allocated for interface [chars] is still in use.

説明 インターフェイスに割り当てられた内部 VLAN（仮想 LAN）ID は使用中です。[dec] は VLAN ID です。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_PM-3-NOINTVLAN: internal vlan of interface [chars] is not active for vlan-id [dec].

説明 表示された VLAN ID で内部 vlan_data がアクティブではありません。[chars] はインターフェイスです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_RPC メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-0-RESOURCE_CRASH: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 RPC にメモリを割り当てるできません。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-BAD_CLASS: Bad Class in RPC message: [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 メッセージクラス用のクラス テーブルに、脱落しているエントリがあります。[int] は、脱落しているメッセージクラスの番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-MSG_THROTTLED: RPC Msg Dropped by throttle mechanism: type [int], class [int], max_msg [int], total throttled [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 メッセージクラスにキューイングされている発信メッセージの数が多すぎます。RSP メッセージは廃棄されました。最初の [int] はメッセージタイプです。2 番目の [int] はメッセージクラスです。3 番目の [int] はスロットリングが発生するまでにキューに格納できるメッセージの最大数です。最後の [int] はスロットリングが実行されたメッセージの総数です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-PERSISTENT_UNABLE_TO_SEND: System is consistently unable to send RPC message: [chars], paks_outstanding: [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 RPC メッセージの送信時に、持続的な低レベル トランスポート エラーが発生しました。[chars] はエラーのトリガーとなった低レベル パケット送信ドライバから返されたエラーの説明 (通常は *fifo full*、*fifo empty*、*out of buf*、*out of mem*、*null pointer*、*misc failure* のいずれか) です。[int] は、未処理パケット (RPC コードからドライバへ、まだ送信されていないパケット) の数です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-RESP_FAIL: Unexpected response or failure, class [dec], req [dec], switch [dec], error [dec], [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 プラットフォームが予期せぬ応答を受信しました。最初の [dec] は RPC 要求クラスです。2 番目の [dec] は RPC 要求番号です。3 番目の [dec] は宛先スイッチの番号です。4 番目の [dec] は返されたエラー番号です。[chars] はオプションのコメントです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-SEND_FAIL: Failed to send RPC message in class [dec], req [dec], [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 ローカル リソース エラーが発生したか、メッセージ クラスに対してキュー内の発信メッセージが多すぎます。最初の [dec] は RPC 要求クラスです。次の [dec] は RPC 要求番号です。[chars] はオプションのコメントです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-UNABLE_TO_SEND: System is unable to send RPC message: [chars], paks_outstanding: [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 RPC メッセージの送信時に、低レベル トランスポート エラーが発生しました。[chars] はエラーのトリガーとなった低レベル パケット送信ドライバから返されたエラーの説明（通常は *fifo full*、*fifo empty*、*out of buf*、*out of mem*、*null pointer*、*misc failure* のいずれか）です。[int] は、未処理パケット（RPC コードからドライバへ、まだ送信されていないパケット）の数です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンド を使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_SPAN メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM_SPAN-3-PACKET_DROP: Decreases egress SPAN rate.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 マルチキャスト ルーティングまたはフォールバック ブリッジングで SPAN（出力または出力と入力の両方）がイネーブルに設定されているため、出力 SPAN レートが低下しています。

推奨処置 `show tech-support` 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_UCAST メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-ADJ: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ユニキャスト ルーティング対応の隣接モジュールでエラーが発生しました。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-ARP: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ユニキャスト ルーティング対応の ARP モジュールでエラーが発生しました。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-CEF: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ユニキャスト ルーティング対応の Cisco Express Forwarding (CEF) モジュールでエラーが発生しました。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-DYNAMIC: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ユニキャスト ルーティング対応のダイナミック アドレス トラッキング メカニズムでエラーが発生しました。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-ERROR: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ユニキャスト ルーティング エラーが発生しました。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-HSRP: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ユニキャストルーティング対応の Hot Standby Router Protocol (HSRP) モジュールでエラーが発生しました。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-INTERFACE: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ユニキャストルーティング インターフェイス エラーが発生しました。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-RPC: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 ユニキャストルーティング対応の Remote Procedure Call (RPC: リモート プロシージャ コール) モジュールでエラーが発生しました。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-6-PREFIX: One or more, more specific prefixes could not be programmed into TCAM and are being covered by a less specific prefix



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 TCAM により詳しいプレフィクスをプログラミングすることができず（メモリ不足が原因）、あまり限定的でないプレフィクスが適用されています。これは、一時的な状態の可能性があり、**show platform ip unicast failed route** 特権 EXEC コマンドの出力には、エラーが発生したプレフィクスが示されます。これにより、ソフトウェア転送が発生する可能性があります。

推奨処置 TCAM 使用率を確認し、使用中の SDM テンプレートと値を比較します。場合によっては、SDM テンプレートを現在のデバイスに適したものに変更する必要があります。

PLATFORM_VLAN メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM_VLAN-3-LOCK_FAIL: Failed to lock vlan-id [dec], associated mapped vlan id value [dec].

説明 VLAN のロック操作に失敗しました。このエラーが発生するのは、システムで VLAN がすでにアクティブになっている場合、または VLAN ID がアクティブではない場合です。最初の [dec] は VLAN ID です。次の [dec] はマップ先 VLAN ID (MVID) です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_VLAN-3-MVID_ERROR: Mapped Vlan ID value [dec] associated with vlan-id [dec] is invalid.

説明 アクティブ VLAN が MVID に正しく対応付けられていません。最初の [dec] は VLAN ID です。次の [dec] は MVID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_VLAN-3-UNLOCK_FAIL: Failed to unlock vlan-id [dec], associated mapped vlan id value [dec].

説明 スイッチが VLAN ID のロックを解除しませんでした。VLAN がすでにロック解除されていることが、最も一般的な原因です。最初の [dec] は VLAN ID です。次の [dec] は MVID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_WCCP メッセージ

エラー メッセージ PLATFORM-WCCP-3-NO_LABEL: Cannot allocate WCCP Label



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 WCCP ラベルを割り当てることができませんでした。そのため、ハードウェアをプログラミングして WCCP リダイレクションを実装することができません。

推奨処置 WCCP リダイレクションまたはポリシーベース ルーティングに設定したインターフェイスの数を減らします。

エラー メッセージ PLATFORM_WCCP-4-SDM_MISMATCH: WCCP requires sdm template routing



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 SDM ルーティング テンプレートが、スイッチで指定されていません。

推奨処置 使用する SDM ルーティング テンプレートを指定します。**sdm prefer routing** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力し、さらに **reload** 特権 EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードします。

PM メッセージ

エラー メッセージ PM-2-LOW_SP_MEM: Switch process available memory is less than [dec] bytes.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチ プロセッサで使用可能なメモリが少なくなっています。設定しているレイヤ 2 VLAN が多すぎると、このような状況が発生することがあります。[dec] は使用可能なメモリです。

推奨処置 システムから VLAN を削除して、メモリの使用率を引き下げてください。

エラー メッセージ PM-2-NOMEM: Not enough memory available for [chars].

説明 ポート マネージャ サブシステムは、指定の動作を初期化するために必要なメモリを確保できませんでした。[chars] はポート マネージャの動作です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-2-VLAN_ADD: Failed to add VLAN [dec] - [chars].

説明 ソフトウェアは VLAN トランキンング プロトコル (VTP) データベースに VLAN を追加しませんでした。[dec] は VLAN ID です。[chars] は、ソフトウェアが VLAN を追加しなかった理由です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-3-INTERNALERROR: Port Manager Internal Software Error ([chars]: [chars]: [dec]: [chars]).

説明 ポート マネージャで内部ソフトウェア エラーが発生しました。テクニカル サポート用に、パラメータから問題を特定します。最初の [chars] はエラー メッセージです。次の [chars] はファイル名です。[dec] はライン番号です。最後の [chars] はファンクション名です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_APP_ID: an invalid application id ([dec]) was detected.

説明 ポート マネージャが無効な要求を検出しました。[dec] はアプリケーション ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_APP_REQ: an invalid [chars] request by the '[chars]' application was detected.

説明 ポート マネージャが無効な要求を検出しました。最初の [chars] は無効な要求です。次の [chars] は要求を出しているアプリケーションです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_CARD_COOKIE: an invalid card cookie was detected.

説明 ポート マネージャが無効な要求を検出しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_CARD_SLOT: an invalid card slot ([dec]) was detected.

説明 ポート マネージャが無効な要求を検出しました。[dec] はスロット番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_COOKIE: [chars] was detected.

説明 ポート マネージャが無効な要求を検出しました。[chars] は無効な要求です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_HA_ENTRY_EVENT: Invalid Host access entry event ([dec]) is received.

説明 無効なホスト アクセス エントリ イベントを受信しました。ホスト アクセス テーブル エントリ イベントは、追加、削除、または更新イベントでなければなりません。[dec] は受信したイベントです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_PORT_COOKIE: an invalid port cookie was detected.

説明 ポート マネージャが無効な要求を検出しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_PORT_NUMBER: an invalid port number ([dec]) was detected.

説明 ポート マネージャが無効な要求を検出しました。[dec] はポート番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_VLAN_COOKIE: an invalid vlan cookie was detected.

説明 ポート マネージャが無効な要求を検出しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_VLAN_ID: an invalid vlan id ([dec]) was detected.

説明 ポート マネージャが無効な要求を検出しました。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-ERR_DISABLE: [chars] error detected on [chars], putting [chars] in err-disable state.

説明 ポート マネージャが誤った設定または誤動作を検出したので、インターフェイスを errdisable ステートにしました。設定された再試行時間 (デフォルトは 5 分) の経過後、回復が試行されます。PoE スイッチでこのメッセージが表示された場合、Power over Ethernet (PoE) スイッチ ポートまたは AC 電源から給電できるデバイスが、外部 AC 電源から給電されず、power

inline never インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで設定されたポートに接続されています。[chars] はしきい値を超えたポートです。最初の [chars] はエラーです。2 番めおよび 3 番めの [chars] はどちらも、影響を受けたインターフェイスです。

推奨処置 PoE 以外のスイッチの場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**show tech-support** ユーザ EXEC コマンドを使用して、エラーの識別に役立つデータを集めてください。**Bug Toolkit** を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。PoE スイッチの場合は、デバイスを取り外すか、**power inline auto**、**shutdown**、および **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力してポートを設定します。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-ERR_DISABLE_VP: [chars] error detected on [chars], vlan [dec]. Putting in err-disable state.

説明 仮想ポート（ポートと VLAN のペア）が、誤った設定または誤動作を検出したときに errdisable ステートでした。適用すると、設定された再試行時間（デフォルトは 5 分）の経過後、回復が試行されます。最初の [chars] はエラーです。次の [chars] はポートです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**Bug Toolkit** を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-ERR_RECOVER: Attempting to recover from [chars] err-disable state on [chars].

説明 ポート マネージャが、errdisable ステートのインターフェイスを再起動しようとしています。最初の [chars] はエラーです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**Bug Toolkit** を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-ERR_RECOVER_VP: Attempting to recover from [chars] err-disable state on [chars], vlan [dec].

説明 ポート マネージャが、errdisable ステートの仮想ポートを再起動しようとしています。最初の [chars] はエラーです。次の [chars] は仮想ポートです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**Bug Toolkit** を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-EXT_VLAN_INUSE: VLAN [dec] currently in use by [chars].

説明 別の機能が VLAN を使用しているため、ポート マネージャはその VLAN を外部で使用するために割り当てませんでした。[dec] は使用中の VLAN です。[chars] はその VLAN を使用している機能です。

推奨処置 別の内部 VLAN を使用するか、または別の使用可能な VLAN を要求するように、機能 (ルーテッド ポートなど) の設定を変更します。

エラー メッセージ PM-4-EXT_VLAN_NOTAVAIL: VLAN [dec] not available in Port Manager.

説明 ポート マネージャは、要求された VLAN を割り当てませんでした。他の機能がその VLAN を内部 VLAN として使用している可能性があります。[dec] は要求された VLAN です。

推奨処置 デバイス上で別の VLAN を設定してください。

エラー メッセージ PM-4-INACTIVE: putting [chars] in inactive state because [chars].

説明 ポート マネージャが、スイッチ ポートおよび VLAN 用の仮想ポートを作成できなかったため、ポートが非アクティブです。この状況の理由がエラー メッセージに示されます。最初の [chars] はインターフェイス名です。次の [chars] は理由です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-INT_FAILUP: [chars] failed to come up. No internal VLAN available.

説明 ポート マネージャは、内部 VLAN を割り当てませんでした。インターフェイスは、イネーブルにできません。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 `no vlan vlan-id` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して拡張範囲 VLAN を削除し、リソースを解放します。

エラー メッセージ PM-4-INT_VLAN_NOTAVAIL: Failed to allocate internal VLAN in Port Manager.

説明 ポート マネージャは、使用可能な内部 VLAN を検出しませんでした。

推奨処置 ユーザが作成した拡張範囲 VLAN をいくつか削除するか、または内部 VLAN の割り当てが必要な一部の機能（ルーテッド ポートなど）を削除します。拡張範囲 VLAN を削除するには、**no vlan vlan-id** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。ルーテッド ポートを削除するには、**no switchport** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。

エラー メッセージ PM-4-INVALID_HOST_ACCESS_ENTRY: Invalid Host access entry type ([dec]) is received.

説明 無効なホスト アクセス エントリ タイプを受信しました。ホスト アクセス エントリは、設定されたタイプまたは動的なタイプでなければなりません。[dec] は受信したエントリ タイプです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-LIMITS: The number of vlan-port instances on [chars] exceeded the recommended limit of [dec].

説明 モジュールまたはスイッチの個別の VLAN ポートの合計数が、推奨限度を超えました。VLAN は何度でも数えることができます。VLAN 1 が 10 個のインターフェイスに割り当てられている場合は、VLAN ポートの数は 10 になります。このような数え方をするために、プラットフォームによってはバンドルが無視されることもあります。その場合、同一モジュール上の 8 つのインターフェイスが 1 つのバンドルに組み込まれ、ポート チャネルが VLAN 1 に設定されていても、VLAN ポートの数は 8 になります。[chars] はモジュール名（スイッチまたはモジュール番号など）です。[dec] は推奨限度数です。

推奨処置 モジュールまたはスイッチに設定したトランクと VLAN の数を、[dec] の推奨限度数に減らします。**show interfaces trunk** 特権 EXEC コマンドを入力し、トランクと VLAN の合計数を確認します。

エラー メッセージ PM-4-NO_SUBBLOCK: No PM subblock found for [chars].

説明 ポート マネージャは、このインターフェイスのサブブロックを検出しませんでした。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-PORT_BOUNCED: Port [chars] was bounced by [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポートがリンクダウン状態のとき、チェンジオーバー中にポートマネージャがポートを再起動しました。ポートデータ構造が、アクティブでスタンバイ状態のスーパーバイザで矛盾したときのみ、ポートを再起動できます。リンクダウン状態のアクティブポートは、ポートが再起動されると、リンクアップ状態に戻ります。最初の [chars] はポート番号、次の [chars] は再アクティベーションイベントです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PM-4-PVLAN_TYPE_CFG_ERR: Failed to set VLAN [dec] to a [chars] VLAN.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 プラットフォームはプライベート VLAN タイプを設定しませんでした。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-TOO_MANY_APP: application '[chars]' exceeded registration limit.

説明 ポートマネージャが無効な要求を検出しました。[chars] はアプリケーションです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-UNKNOWN_HOST_ACCESS: Invalid Host access value ([dec]) is received.

説明 ホスト アクセス テーブルが、無効なホスト アクセス値を使用してアクセスされています。[dec] は受信した値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-VMPS_CFG: Dynamic access VLAN [dec] same as voice vlan on [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 VMPS サーバのアクセス VLAN ID がインターフェイスの音声 VLAN ID と同じです。[dec] はアクセス VLAN ID です。[chars] は物理インターフェイスです。

推奨処置 VMPS サーバのアクセス VLAN に、音声 VLAN ID とは異なる VLAN ID を割り当てます。

エラー メッセージ PM-6-EXT_VLAN_ADDITION: Extended VLAN is not allowed to be configured in VTP CLIENT mode.

説明 スイッチは、VTP クライアント モードの VLAN を追加しませんでした。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PORT_SECURITY メッセージ

エラー メッセージ PORT_SECURITY-2-PSECURE_VIOLATION: Security violation occurred caused by MAC [enet] on port [chars].

説明 セキュア ポートで、認証されていないデバイスが接続しようとしてしました。[enet] は認証されていないデバイスの MAC アドレスです。[chars] はセキュア ポートです。

推奨処置 セキュア ポートへの接続を試行したデバイスを特定してください。ネットワーク システム管理者に状況を知らせてください。

エラー メッセージ PORT_SECURITY-2-PSECURE_VIOLATION_VLAN: Security violation on port [chars] due to MAC address [enet] on VLAN [dec]

説明 セキュア トランク ポートで、認証されていないデバイスが接続しようとしてしました。[chars] はセキュア ポートです。[enet] は認証されていないデバイスの MAC アドレスです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 セキュア トランク ポートへの接続を試行したデバイスを特定してください。ネットワーク システム管理者に状況を知らせてください。

エラー メッセージ PORT_SECURITY-6-ADDR_REMOVED: Address [dec]:[enet] exists on port [chars]. It has been removed from port [chars].

説明 ルーテッド ポートがスイッチ ポートとして再設定されています。スイッチの以前の設定のアドレスは、実行コンフィギュレーションと競合したために削除されました。[dec]:[enet] はポートの MAC アドレスです。[chars] は再設定したポートです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PORT_SECURITY-6-ADDRESSES_REMOVED: Maximum system secure address count reached. Some secure addresses configured on port [chars] removed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 指定のポートに設定されたスティッキー MAC アドレスの一部が設定から削除されました。システムがサポートするセキュア アドレスの数を超過しました。この状況は、ホットスワップまたはポートモードの変更（たとえば、ポートがレイヤ 3 からレイヤ 2 ポートに変換された場合）が行われたときにのみ発生します。[chars] はポートです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PORT_SECURITY-6-VLAN_FULL: Vlan [dec] on port [chars] has reached its limit. Address [enet] has been removed.

説明 音声 VLAN がアクセス VLAN と同一です。アクセス VLAN で許可されている MAC アドレスの最大数に到達しているため、指定されたイーサネット アドレスが削除されました。[dec] は VLAN ID です。[chars] は音声 VLAN とアクセス VLAN に割り当てられたポートです。[enet] は削除されたイーサネット アドレスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ PORT_SECURITY-6-VLAN_REMOVED: VLAN [dec] is no longer allowed on port [chars]. Its port security configuration has been removed.

説明 ポート モードの変更または許可 VLAN リストの変更が原因で、設定済み VLAN が除外され、コンフィギュレーションから削除されました。[int] は VLAN ID です。[chars] は VLAN に割り当てられたスイッチ ポートです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

POWERNET メッセージ

エラー メッセージ POWERNET_ISSU-4-SM_EW_DOMAIN_MISMATCH: Energywise domain of EtherSwitch is [chars], recommended to have [chars].



(注)

このメッセージは、Cisco EtherSwitch サービス モジュールにだけ適用されます。

説明 サービス モジュールの EnergyWise ドメインが、スイッチのドメインと一致しません。1 番目の [chars] はサービス モジュールの EnergyWise ドメインです。2 番目の [chars] はルータの EnergyWise ドメインです。

推奨処置 サービス モジュールの EnergyWise ドメインが、スイッチのドメインと一致するように設定します。メッセージが繰り返し表示される場合は、コンソールまたはシステム ログに出力されたメッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC でケースを開くか、シスコのテクニカル サポート担当者に情報を提出してください。

QATM メッセージ

エラー メッセージ QATM-2-ASDATA_READ: Cannot read TCAM associated data.



(注)

このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 関連するデータを TCAM から読み取ることができませんでした。このエラーはハードウェア障害を示している可能性があります。

推奨処置 `show tech-support` 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QATM-2-ASDATA_WRITE: Cannot write TCAM associated data.



(注)

このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 関連するデータを TCAM に書き込むことができませんでした。このエラーはハードウェア障害を示している可能性があります。

推奨処置 `show tech-support` 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、

類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QATM-2-TCAM_READ: Cannot read TCAM.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 TCAM から読み取ることができませんでした。このエラーはハードウェア障害を示している可能性があります。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QATM-2-TCAM_WRITE: Cannot write the TCAM.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 TCAM に書き込むことができませんでした。このエラーはハードウェア障害を示している可能性があります。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QATM-4-TCAM_LOW: TCAM resource running low for table [chars], resource type [chars], on TCAM number [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 TCAM のリソースが不足しているため、システムが不安定になる可能性があります。最初の [chars] は TCAM テーブルです。2 番めの [chars] はリソース タイプです。[dec] は TCAM 番号です。

推奨処置 不足している TCAM リソース タイプが使い果たされる可能性があるため、これ以上、設定を追加しないでください。**show tcam** ユーザ EXEC コマンドを使用して、メッセージ TCAM テーブルに示すとおりに入力セキュリティ ACL、出力セキュリティ ACL、QoS、または TCAM

他のリージョンに関する情報を表示します。可能であれば、**sdm prefer** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して、別の TCAM 割り当てに変更し、SDM リソース割り当てで使用されるテンプレートを設定します。

QM メッセージ

エラー メッセージ QM-4-ACTION_NOT_SUPPORTED: Action is not supported in policy map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップに **set**、**trust**、および **police** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンド以外のアクションが設定されています。これはハードウェアの制限です。[chars] はポリシー マップの名前です。

推奨処置 ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション モードでは、サポート対象のアクション (**set**、**trust**、および **police**) だけを設定します。

エラー メッセージ QM-4-CLASS_NOT_SUPPORTED: Classification is not supported in class map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップにサポートされていない **match** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドが設定されて出力インターフェイスに適用されたか、または複数の **match** コマンドが設定されました。これはハードウェアの制限です。[chars] はクラス マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更します。出力インターフェイスに付加するポリシー マップで使用できるのは、**match ip dscp dscp-list** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドだけです。1 つのクラス マップには 1 つの一致タイプのみサポートされます。

エラー メッセージ QM-4-HARDWARE_NOT_SUPPORTED: Hardware limitation has been reached for policy map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えました。設定した QoS Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) のエントリ数が、Switch Database Management (SDM) テンプレートで指定される数よりも多いか、または (**police** または **police aggregate** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用して) ポリシー マップに設定したポリサーの数が、サポートされる数よりも多いことが原因です。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、QoS ACL の数を減らします。

エラーメッセージ QM-4-MATCH_NOT_SUPPORTED: Match type is not supported in class map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 **match** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドでサポートされるのは、**access-group** *acl-index-or-name*、**ip dscp** *dscp-list*、および **ip precedence** *ip-precedence-list* マッチ タイプだけです。[chars] はクラス マップの名前です。

推奨処置 クラス マップの設定を変更します。クラス マップ内では **match access-group**、**match ip dscp**、および **match ip precedence** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドだけを使用します。

エラーメッセージ QM-4-NOT_SUPPORTED: Action [chars] is not supported for a policy map attached to output side.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 **set** または **trust** ポリシーマップクラス コンフィギュレーション コマンドが設定されたポリシー マップが、出力インターフェイスに適用されました。警告メッセージが記録され、アクションは実行されません。これはハードウェアの制限です。[chars] は **set** アクションまたは **trust** アクションです。

推奨処置 **set** または **trust** ポリシーマップクラス コンフィギュレーション コマンドを設定したポリシー マップを、出力インターフェイスに付加しないでください。これらのポリシー マップアクションがサポートされるのは、入力インターフェイスだけです。

エラーメッセージ QM-4-POLICER_NOT_SUPPORTED: Number of policers has exceeded hardware limitation for policy map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えました。ポリシー マップで、サポートされるより多くのポリサーを、(**police** または **police aggregate** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用して) 設定しています。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、ポリサー数を減らします。

エラーメッセージ QM-4-POLICING_RATE_NOT_SUPPORTED: Policer configuration has exceeded hardware limitation for policy map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えました。(police または police aggregate ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用して) ポリシー マップに設定したポリシング レートまたはバースト サイズが大きすぎて、サポートされません。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、ポリシング レートまたはバースト サイズを小さくします。

エラー メッセージ QM-4-UNEXPECTED_INTERNAL_QOS_CONDITION: Unexpected internal QoS condition.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 予期せぬ内部 Quality of Service (QoS) 条件が発生しました。この条件が繰り返し発生する場合は、QoS debug をイネーブルにすると、詳細を収集できます。

推奨処置 show tech-support 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「エラー メッセージのトレースバック レポート」(P.1-8) を参照してください。

QOSMGR メッセージ

エラー メッセージ QOSMGR-3-FEATURE_NOT_FOUND: Cannot find feature for [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。[chars] はソフトウェアが検出できなかった機能の記述です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「エラー メッセージのトレースバック レポート」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-FILTERTYPE_INVALID: Internal Error Invalid Policy filtertype [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。[dec] は無効なフィルタ タイプ ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-MERGE_RES_COUNT: Internal Error Invalid count.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-NO_POLICER_QOSLABEL: Creating port Class Label Failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-NO_VMR_QOSLABEL: qm_generate_vmrs have no qos label.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-NULL_POLICER: Internal Error Invalid Policer.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-POLICER_RES_COUNT: Internal Error Invalid Policer count.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-POLICYMAP_NOT_FOUND: Cannot find policymap for [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-QUEUE_PTR_ERROR: queue pointers out of order [hex] [hex] [hex] [hex].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。[hex] [hex] [hex] [hex] は、ソフトウェアが計算したキュー ポインタ値です。シスコのテクニカル サポートにとって必要な、エラーの詳細情報が得られるパラメータです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-RESERVE_COUNT_ERROR: Reserved Count Exceeding total [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 割り当てられた予約済みバッファで内部ソフトウェア エラーが発生しました。[dec] はソフトウェアが計算した予約済みカウントです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-RESOURCE_INTERNAL: Internal Error in resource allocation.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-VMRSEQ_INVALID: Internal Error Invalid VMR sequence.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 内部ソフトウェア エラーが発生しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-4-ACTION_NOT_SUPPORTED: Action is not supported in policymap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップに **set**、**trust**、および **police** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンド以外のアクションが設定されています。これはハードウェアの制限です。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション モードでは、サポート対象のアクション (**set**、**trust**、および **police**) だけを設定します。

エラー メッセージ QOSMGR-4-CLASS_NOT_SUPPORTED: Classification is not supported in classmap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップにサポートされていない **match** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドが設定されて出力インターフェイスに適用されたか、または複数の **match** クラス マップ コマンドが設定されました。これはハードウェアの制限です。[chars] はクラス マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更します。出力インターフェイスに付加するポリシー マップで使用できるのは、**match ip dscp dscp-list** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドだけです。1 つのクラス マップには 1 つの一致タイプのみサポートされます。

エラー メッセージ QOSMGR-4-COMMAND_FAILURE: Execution of [chars] command failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 QoS を設定するコマンドでエラーが発生しました。ハードウェア リソース不足が原因の可能性あります。[chars] はコマンドの記述です。

推奨処置 他にリソース障害を示すメッセージがないかどうかを調べます。ハードウェア リソースの超過を伝える他のメッセージがある場合は、コンフィギュレーションの規模を小さくしてからコマンドを再実行します。**show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-4-HARDWARE_NOT_SUPPORTED: Hardware limitation has reached for policymap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えました。SDM テンプレートで指定された数より多くの QoS ACL エントリを設定しています。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、QoS ACL の数を減らします。

エラー メッセージ QOSMGR-4-MATCH_NOT_SUPPORTED: Match type is not supported in classmap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 サポートされていない一致タイプが入力されました。**match** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドでサポートされるのは、**access-group acl-index-or-name**、**ip dscp dscp-list**、および **ip precedence ip-precedence-list** マッチ タイプだけです。[chars] はクラス マップ名です。

推奨処置 クラス マップの設定を変更します。クラス マップ内では **match access-group**、**match ip dscp**、および **match ip precedence** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドだけを使用します。

エラー メッセージ QOSMGR-4-NOT_SUPPORTED: Action '[chars]' is not supported for a policymap attached to output side.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 **set** または **trust** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドが設定されたポリシー マップが、出力インターフェイスに適用されました。警告メッセージが記録され、アクションは実行されません。これはハードウェアの制限です。[chars] は **set** アクションまたは **trust** アクションです。

推奨処置 **set** または **trust** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを設定したポリシー マップを、出力インターフェイスに付加しないでください。これらのポリシー マップ アクションがサポートされるのは、入力インターフェイスだけです。

エラー メッセージ QOSMGR-4-POLICER_PLATFORM_NOT_SUPPORTED: Policer configuration has exceeded hardware limitation for policymap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えました。すべてのポリシー マップで、ハードウェアでサポートされている数よりも多くのポリサーを設定しようとしたこと (**police** または **police aggregate** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用) が、この状態の原因です。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更するか、一部のインターフェイスからポリシー マップを削除します。

エラー メッセージ QOSMGR-4-POLICER_POLICY_NOT_SUPPORTED: Number of policers has exceeded per policy hardware limitation for policymap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えました。ポリシー マップで、ハードウェアでサポートされている数よりも多くのポリサーを設定しようとしたこと (**police** または **police aggregate** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用) が、この状態の原因です。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、ポリサー数を減らします。

RMON メッセージ

エラー メッセージ RMON-5-FALLINGTRAP: Falling trap is generated because the value of [chars] has fallen below the falling-threshold value [dec].

説明 下限トラップが生成されました。指定された MIB (管理情報ベース) オブジェクトの値が、下限しきい値よりも低くなっています。[chars] は MIB オブジェクトです。[dec] はしきい値です。

推奨処置 指定された MIB オブジェクトに適切な対処を行ってください。

エラー メッセージ RMON-5-RISINGTRAP: Rising trap is generated because the value of [chars] exceeded the rising-threshold value [dec].

説明 上限トラップが生成されました。指定された MIB オブジェクトの値が、上限しきい値を超えています。[chars] は MIB オブジェクトです。[dec] はしきい値です。

推奨処置 指定されたオブジェクトに適切な対処を行ってください。

SCHED メッセージ

エラー メッセージ SCHED-3-UNEXPECTEDEVENT: [traceback] [process information]
Process received unknown event (maj [hex], min [hex])

説明 プロセスがイベントを処理しませんでした。1 番めの [hex] はメジャー イベント番号です。2 番めの [hex] はマイナー イベント番号です。両方を使用することで、発生したイベントを識別できます。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。

SDM メッセージ

エラー メッセージ SDM-6-MISMATCH_ADVISE: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック メンバは、スタック マスターの使用している SDM テンプレートをサポートできません。SDM 不一致ステートのスイッチは、動作可能なスタック メンバではありません。SDM_MISMATCH が報告された場合、このエラーの前に STACKMGR-6-SWITCH_ADDED_SDM エラー メッセージが表示されます。[chars] は不一致情報と推奨する対処方法です。

推奨処置 スタック マスターの SDM テンプレートをダウングレードして、スタック メンバ スイッチと互換性を持たせるようにします。たとえば、スタック マスターでアグリゲータ ルーティン グテンプレートを 使用している場合であれば、**sdm prefer vlan desktop** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用することによって、スタック マスターをデスクトップルーティン グテンプレートにダウングレードすることが、エラー メッセージで推奨されます。

SPAN メッセージ

エラー メッセージ SPAN-3-MEM_UNAVAIL: Memory was not available to perform the SPAN operation.

説明 メモリ不足が原因で、システムは SPAN 動作を実行できませんでした。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ SPAN-3-UNKN_ERR: An internal error occurred during a SPAN operation.

説明 SPAN が内部動作でエラーを検出しました。

推奨処置 一時的なエラーの可能性が あります。SPAN 動作をやり直してください。2 度めも失敗した場合は、**reload** 特権 EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードし、動作を完了してください。

エラー メッセージ SPAN-3-UNKN_ERR_PORT: An internal error occurred when configuring SPAN on port [chars].

説明 SPAN が内部動作でエラーを検出しました。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 一時的なエラーの可能性が あります。SPAN 動作をやり直してください。2 度めも失敗した場合は、**reload** 特権 EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードし、動作を完了してください。

SPANTREE メッセージ

エラー メッセージ SPANTREE-2-BLOCK_BPDUGUARD: Received BPDU on port [chars] with BPDU Guard enabled. Disabling port.

説明 スパニングツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジプロトコルデータユニット) ガード機能がイネーブルのインターフェイスで、BPDU を受信しました。インターフェイスが管理上のシャットダウン状態でした。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 BPDU を送信しているデバイスを削除するか、BPDU ガード機能をディセーブルにします。BPDU ガード機能は、インターフェイスでローカルに設定することも、Port Fast がイネーブルである全ポートでグローバルに設定することもできます。インターフェイスの BPDU ガードをディセーブルにするには、**no spanning-tree bpduguard enable** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。BPDU ガードをグローバルでディセーブルにするには、**no spanning-tree portfast bpduguard default** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。デバイスを削除するか、または BPDU ガードをディセーブルにしたあとで、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力して、インターフェイスを再びイネーブルにします。

エラー メッセージ SPANTREE-2-BLOCK_BPDUGUARD_VP: Received BPDU on port [chars], vlan [dec] with BPDU Guard enabled. Disabling vlan.

説明 BPDU がインターフェイスと VLAN で受信されました。スパニングツリー BPDU ガード機能はイネーブルであり、VLAN をシャットダウンするように設定されています。VLAN はエラーディセーブルです。[chars] はインターフェイスです。[dec] は VLAN です。

推奨処置 BPDU を送信しているデバイスを削除するか、BPDU ガード機能をディセーブルにします。BPDU ガード機能は、インターフェイスでローカルに、またはすべての PortFast 対応ポートでグローバルに設定できます。インターフェイスおよび VLAN を再イネーブルにするには、**clear errdisable** 特権 EXEC コマンドを入力します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-BLOCK_PVID_LOCAL: Blocking [chars] on [chars]. Inconsistent local vlan.

説明 表示されたスパニングツリーインスタンスおよびインターフェイスと対応付けられたスパニングツリー ポートは、PVID の不整合が解消されるまで、スパニングツリーブロッキングステータスのままです。表示されたスパニングツリー インスタンスは、表示されたインターフェイスのネイティブ VLAN ID のインスタンスです。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 ネイティブ VLAN ID の設定が、802.1Q トランク接続の両側のインターフェイス間で矛盾していないか確認します。修正した場合は、スパニングツリーが必要に応じて、インターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-BLOCK_PVID_PEER: Blocking [chars] on [chars].
Inconsistent peer vlan.

説明 表示されたスパンニングツリーインスタンスおよびインターフェイスと対応付けられたスパンニングツリー ポートは、PVID の不整合が解消されるまで、スパンニングツリー ブロッキング ステートのままです。表示されたスパンニングツリー インスタンスは、表示されたインターフェイスが接続されたピア スイッチ上のインターフェイスのネイティブ VLAN ID のインスタンスです。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はスパンニングツリー インスタンスです。

推奨処置 ネイティブ VLAN ID の設定が、802.1Q トランク接続の両側のインターフェイス間で矛盾していないか確認します。インターフェイスの矛盾が解消されると、スパンニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-CHNL_MISCFG: Detected loop due to etherchannel misconfiguration of [chars] [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 チャンネル グループの設定ミスが検出されました。たとえば、EtherChannel の片側のポートがチャンネルに含まれるように設定されていない、つまりチャンネルとしてバンドルされていないにもかかわらず、反対側ではポートが EtherChannel としてバンドルされている場合などです。最初の [chars] はポートです。次の [chars] は VLAN です。

推奨処置 ローカル ポートを特定するには **show interfaces status err-disabled** 特権 EXEC コマンドを使用し、EtherChannel 設定を確認するにはリモート デバイスで **show etherchannel summary** 特権 EXEC コマンドを使用します。正しく設定したあとで、対応付けられた 2 つのポート チャンネル インターフェイスでインターフェイス コンフィギュレーション コマンドの **shutdown** を入力し、さらに **no shutdown** を入力します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-LOOPGUARD_BLOCK: Loop guard blocking port [chars] on [chars].

説明 指定ブリッジから BPDU を受信しなかったため、スパンニングツリー メッセージ エージング タイマーが期限切れになりました。この状態は単一方向リンク障害が原因で発生することがあるので、ループの生成を防止するために、インターフェイスはブロッキング ステートになり、ループガード不整合が指定されます。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は **show spanning-tree** 特権 EXEC コマンドで表示されるスパンニングツリー モードです。

推奨処置 **show spanning-tree inconsistentports** 特権 EXEC コマンドを入力して、ループガード不整合が指定されているインターフェイスのリストを確認します。表示されたポートに接続されたデバイスが BPDU を送信しない理由を調べます。Spanning-Tree Protocol (STP; スパンニング ツリー プロトコル) が稼動していないというのも、理由の 1 つです。その場合、**spanning-tree guard none** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用するか、またはリンクのリモート側で STP を開始することによって、矛盾するインターフェイスでループ ガードをディセーブルにする必要があります。

エラー メッセージ SPANTREE-2-LOOPGUARD_CONFIG_CHANGE: Loop guard [chars] on port [chars] on [chars].

説明 表示されたインターフェイスに対するスパニングツリーループガードの設定が変更されました。イネーブルの場合、インターフェイスはブロッキング状態になります。指定ブリッジから BPDU を受信しなかったことが原因で、メッセージエージングタイマーが期限切れになった場合は、ループガード不整合が指定されます。この機能は、主に単一方向リンクを検出する目的で使われます。最初の [chars] はループガード状態 (*enable* または *disable*) です。2 番目の [chars] はインターフェイス名です。3 番目の [chars] はスパニングツリーインスタンスです。

推奨処置 これが指定のインターフェイスに必要な設定かを確認します。予期した設定ではない場合は修正します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-LOOPGUARD_UNBLOCK: Loop guard unblocking port [chars] on [chars].

説明 表示されたインターフェイスが BPDU を受信しました。単一方向リンク障害が原因で不整合が生じた場合、問題はすでに解消しています。インターフェイスのループガード不整合が解消されると、状況に応じてブロッキング状態ではなくなります。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は **show spanning-tree** 特権 EXEC コマンドで表示されるスパニングツリーモードです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-2-PVSTSIM_FAIL: Blocking [chars] port [chars]: Inconsistent [chars] PVST BPDU received on VLAN [dec], claiming root [dec]:[enet]

説明 多重スパニングツリー (MST) スイッチ上の指定されたポートがブロックされています。MST スイッチの指定ポートが PVST+ スイッチに接続されている場合、MST スイッチのポートの CIST (MST00) 情報は、すべての PVST+ メッセージの情報より一貫して優位 (ブリッジ ID やパスコストの値が小さいなど) になければなりません。ポートがルートの場合、MST スイッチの CIST (MST00) 情報は、すべての PVST+ メッセージの情報より一貫して下位になければなりません。この制約の違反があると、ブリッジングループの発生を防止するため、MST スイッチのポートはブロックされます。最初の [chars] は MST スイッチ、2 番目の [chars] はポート、3 番目の [chars] は PVST+ スイッチです。最初の [dec] は VLAN ID、次の [dec] は MST スイッチ、[enet] は MST スイッチの MAC (メディアアクセスコントロール) アドレスです。

推奨処置 トポロジに新しいスイッチまたはスイッチポートが追加されたあとで STP のコンバージェンスが行われる場合、一時的にこの状態が発生することがあります。このような場合、ポートのブロック解除は自動的に行われます。ポートがブロックされたままになる場合、メッセージで報告されたルートブリッジを特定し、MST スイッチのポートの CIST のルールに合わせて VLAN スパニングツリーに適切なプライオリティを設定します。

メッセージに表示されない矛盾が存在することもあります。ポートはすべての矛盾が解消されるまで回復しません。矛盾のある VLAN を判別するには、ポートをいったんディセーブルにしてから再度イネーブルにします。再度このメッセージが表示され、解消すべき矛盾のある VLAN が指定されます。すべての VLAN のすべての矛盾が解消されるまでこの手順を繰り返します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-PVSTSIM_OK: PVST Simulation inconsistency cleared on port [chars].

説明 指定されたインターフェイスが、CIST ポート情報と矛盾する PVST BPDU アドバタイジング情報を受信しなくなりました。PVST シミュレーションの矛盾が解消され、インターフェイスは通常の動作に戻ります。[chars] はポートです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RECV_1Q_NON_1QTRUNK: Received 802.1Q BPDU on non 802.1Q trunk [chars] [chars].

説明 共有スパンニング ツリー プロトコル (SSTP) BPDU を受信したインターフェイスがトランクモードでありながら、802.1Q カプセル化を使用していませんでした。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] は VLAN です。

推奨処置 表示されたインターフェイスの設定と動作状態、さらに接続相手のインターフェイスの設定と動作状態を調べ、同じモード (*access* または *trunk*) かどうかを確認します。モードがトランクの場合は、両方のインターフェイスに同じカプセル化 (*ISL* または *802.1Q*) が設定されているか確認します。カプセル化タイプが異なる場合は、**switchport trunk encapsulation** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して一致させます。カプセル化が一致すると、スパンニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RECV_BAD_TLV: Received SSTP BPDU with bad TLV on [chars] [chars].

説明 表示されたインターフェイスは、VLAN ID タグのない SSTP BPDU を受信しました。その BPDU は廃棄されました。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] は SSTP BPDU を受信した VLAN です。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合は、コンソールまたはシステム ログに出力されたメッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RECV_PVID_ERR: Received BPDU with inconsistent peer vlan id [dec] on [chars] [chars].

説明 表示されたインターフェイスが、BPDU を受信した VLAN ID と一致しない VLAN ID のタグが付いた SSTP BPDU を受信しました。ネイティブ VLAN の設定が 802.1Q トランクの両側で一致していないと、この状況が発生します。[dec] は VLAN ID です。最初の [chars] はポートです。次の [chars] は VLAN です。

推奨処置 ネイティブ VLAN ID の設定が、802.1Q トランク接続の両側のインターフェイス間で矛盾していないか確認します。設定が一致すると、スパンニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-ROOTGUARD_BLOCK: Root guard blocking port [chars] on [chars].

説明 表示されたインターフェイスで、使用中のものより優位のスパニング ツリー ルートブリッジ (ブリッジ ID が小さい、パス コストが小さいなど) をアドバタイズする BPDU を受信しました。最適でないスパニングツリー トポロジが形成されないようにするために、インターフェイスはブロッキング ステートになり、*root-guard inconsistent* (ルート ガード不整合) が指定されます。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は **show spanning-tree** 特権 EXEC コマンドの出力に表示されるスパニングツリー モードです。

推奨処置 **show spanning-tree inconsistentports** 特権 EXEC コマンドを入力して、ルート ガード不整合が指定されているインターフェイスのリストを確認します。表示されたポートに接続されたデバイスが優位ルート ブリッジを示した BPDU を送信している理由を特定し、その状況が繰り返されないようにします。不正確な BPDU が停止されると、インターフェイスが自動的に回復し、通常の動作が再開されます。そのインターフェイスでルート ガードをイネーブルにすることが妥当かどうかを確認します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-ROOTGUARD_CONFIG_CHANGE: Root guard [chars] on port [chars] on [chars].

説明 表示されたインターフェイスに対するスパニングツリー ルート ガードの設定が変更されました。イネーブルの場合、使用中のものより優位のスパニングツリー ルートブリッジ (ブリッジ ID が小さい、パス コストが小さいなど) をアドバタイズする BPDU をこのインターフェイスで受信すると、インターフェイスはブロッキング ステートになり、*root-guard inconsistent* (ルート ガード不整合) が指定されます。最初の [chars] はルート ガードステート (*enable* または *disable*) です。2 番めの [chars] はインターフェイスです。3 番めの [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 これが指定のインターフェイスに必要な設定かを確認します。予期した設定ではない場合は修正します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-ROOTGUARD_UNBLOCK: Root guard unblocking port [chars] on [chars].

説明 表示されたインターフェイスは、優位ルート ブリッジ (ブリッジ ID が小さい、パス コストが小さいなど) をアドバタイズする BPDU を受信しなくなりました。インターフェイスのルート ガード不整合が解消され、インターフェイスはブロッキング ステートではなくなりました。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は **show spanning-tree** 特権 EXEC コマンドで表示されるスパニングツリー モードです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-2-UNBLOCK_CONSIST_PORT: Unblocking [chars] on [chars]. Port consistency restored.

説明 PVID またはポート タイプの不整合が解消されたので、スパニングツリーは表示されたスパニング ツリー インスタンスに関して、表示されたインターフェイスのブロックを解除します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ SPANTREE-3-BAD_PORTNUM_SIZE: Rejected an attempt to set the port number field size to [dec] bits (valid range is [dec] to [dec] bits).

説明 プラットフォーム固有のコードでエラーが発生し、多すぎる、または少なすぎるビットが要求されました。スパニングツリー ポートの識別情報は、16 ビットフィールドです。ポートプライオリティとポート番号で均等にそれぞれ 8 ビットのサブフィールドを使用します。したがって、ポート番号フィールドで 1 ~ 255 のポート番号を表すことができます。ただし、ポート数が 255 を超えるシステムの場合は、ポート ID のポート番号部分のサイズを拡大し、ポート数をサポートできるようにする必要があります。個々のプラットフォームの最大ポート数是不変なので、システムの初期化時に、スパニングツリー サブシステムがこれを実行します。このエラーは、プラットフォーム固有のコードでエラーが発生し、これによって多すぎるか少なすぎるビットが要求されたことが原因です。最初の [dec] は、ポート番号のビット数です。2 番めおよび 3 番めの [dec] は、有効な範囲です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SPANTREE-3-PORT_SELF_LOOPED: [chars] disabled.- received BPDU src mac ([enet]) same as that of interface.

説明 表示されたインターフェイスで、その表示されたインターフェイスに割り当てられたアドレスと同じ送信元 MAC アドレスを持つ BPDU を受信しました。診断ケーブルを取り付けたことなどによって、ポートがそのポートにループバックしている可能性があります。インターフェイスは管理上のシャットダウンになります。[chars] は BPDU を受信したインターフェイスです。[enet] は送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 インターフェイスの設定を確認し、インターフェイスに接続されているケーブルをテストします。問題が解決してから、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力して、インターフェイスを再びイネーブルにします。

エラーメッセージ SPANTREE-3-PRESTD_NEIGH: pre-standard MST interaction not configured ([chars]).

説明 スイッチが、先行標準 MST BPDU を送信するように設定されていないインターフェイス上で、先行標準 MST BPDU を受信しました。スイッチはインターフェイス上の設定を自動的に調整し、先行標準 BPDU の送信を開始します。ただし、スイッチは先行標準のネイバーをすべて検知するわけではありません。**spanning-tree mst pre-standard** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、インターフェイスが先行標準 MST BPDU を送信するよう設定することを推奨します。この警告メッセージは 1 回のみ表示されます。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 シスコの先行標準 MST バージョンを実行しているその他のスイッチに接続しているすべてのインターフェイスに対し、**spanning-tree mst pre-standard** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。ネットワーク内のすべてのスイッチを MST バージョンに移行することを推奨します。

エラー メッセージ SPANTREE-4-PORT_NOT_FORWARDING: [chars] [chars] [chars] [chars].

説明 port-not-forwarding アラームが設定または消去されています。最初の [chars] はモードです。次の [chars] は重大度です。3 番目の [chars] はインターフェイス名、4 番目の [chars] はアラーム文字列です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SPANTREE-5-EXTENDED_SYSID: Extended SysId [chars] for type [chars].

説明 表示されたタイプのスパニングツリーに対して、拡張システム ID 機能がイネーブルまたはディセーブルになっています。イネーブルの場合、スパニングツリー インスタンス ID はブリッジ ID プライオリティ フィールドの下位部分に格納されます。ブリッジ プライオリティとして指定できる値の範囲は 0 ~ 61440 で、増分単位は 4096 です。ディセーブルの場合、ブリッジ ID プライオリティ フィールドは、設定されたプライオリティだけで形成されますが、表示されたプラットフォームでは、一部のスパニングツリー機能 (4096 の VLAN サポートなど) を利用できない場合があります。プラットフォームによっては、この機能は必須です。最初の [chars] は拡張システム ID ステート (*enable* または *disable*) です。2 番目の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-5-ROOTCHANGE: Root Changed for [chars] [dec]: New Root Port is [chars]. New Root Mac Address is [enet].

説明 スパニングツリー インスタンスに対してルート スイッチが変更されました。最初の [chars] および [dec] は前のルート ポートのインターフェイス ID、次の [chars] は新しいルート ポートのインターフェイス ID、[enet] は新しいルート ポートのイーサネット アドレスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-5-TOPOTRAP: Topology Change Trap for [chars] [dec].

説明 ネットワークでトポロジが変更されたため、トラップが生成されました。[chars] および [dec] はインターフェイス ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-6-PORTADD_ALL_VLANS: [chars] added to all Vlans

説明 インターフェイスがすべての VLAN に追加されました。[chars] は追加されるインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-6-PORTDEL_ALL_VLANS: [chars] deleted from all Vlans

説明 インターフェイスがすべての VLAN から削除されました。[chars] は削除されるインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-6-PORT_STATE: Port [chars] instance [dec] moving from [chars] to [chars].

説明 ポート ステートが変化しました。最初の [chars] はインターフェイス名です。[dec] はスパニングツリー インスタンスの ID です。2 番めの [chars] は古いステート (listening、learning、forwarding など)、3 番めの [chars] は新しいステートです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-7-BLOCK_PORT_TYPE: Blocking [chars] on [chars]. Inconsistent port type.

説明 ポート タイプの不整合が解消されるまで、表示されたインターフェイスはスパニングツリー ブロッキング ステートのままです。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 表示されたインターフェイスの設定と動作状態、さらに接続相手のインターフェイスの設定と動作状態を調べ、同じモード (*access* または *trunk*) かどうかを確認します。モードがトランクの場合は、両方のインターフェイスに同じカプセル化 (*ISL* または *802.1Q*) が設定されているか確認します。これらのパラメータが一致すると、スパニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-7-PORTDEL_SUCCESS: [chars] deleted from Vlan [dec].

説明 VLAN からインターフェイスが削除されました。[chars] はインターフェイスです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SPANTREE-7-RECV_1Q_NON_TRUNK: Received 802.1Q BPDU on non trunk [chars] [chars].

説明 表示されたインターフェイスが、動作可能なトランッキング インターフェイスではない STP BPDU を受信しました。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は VLAN 名です。

推奨処置 表示されたインターフェイスの設定と動作状態、さらに接続相手のインターフェイスの設定と動作状態を調べ、同じモード (*access* または *trunk*) かどうかを確認します。モードがトランクの場合は、両方のインターフェイスに同じカプセル化 (*none*、*ISL*、または *802.1Q*) が設定されているかどうかを確認します。これらのパラメータが一致すると、スパニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

SPANTREE_FAST メッセージ

エラー メッセージ SPANTREE_FAST-7-PORT_FWD_UPLINK: [chars] [chars] moved to Forwarding (UplinkFast).

説明 表示されたスパニングツリーインスタンスに関して、表示されたインターフェイスがルートスイッチへの新しいパスとして選択されました。最初の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

SPANTREE_VLAN_SW メッセージ

ここでは、VLAN (仮想 LAN) 単位スパニングツリー固有のメッセージについて説明します。

エラー メッセージ SPANTREE_VLAN_SW-2-MAX_INSTANCE: Platform limit of [dec] STP instances exceeded. No instance created for [chars] (port [chars]).

説明 現在アクティブな VLAN スパニングツリー インスタンスの数がプラットフォーム固有の限度に達しました。既存のインスタンス数がプラットフォームの限度を下回るまで、VLAN インスタンスの追加作成は行われません。[dec] は、スパニングツリー インスタンスの限度数です。最初の [chars] は、スパニングツリー インスタンスを作成しなかった VLAN の最小 VLAN ID です。次の [chars] は、ポート番号です。

推奨処置 現在アクティブなスパニングツリー インスタンスをいくつかディセーブルにする、またはそれらのインスタンスに対応する VLAN を削除することによって、現在アクティブなスパニングツリー インスタンスの数を減らします。インスタンス数の制約で作成できなかったスパニングツリーは、手動でイネーブルにする必要があります。

STACKMGR メッセージ

エラー メッセージ STACKMGR-3-HDM_GET_DEVICE_RECORD_FAIL: Device Manager could not get device record.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このスイッチは、スタック内の一部または全部のスイッチのデバイスレコードを取得できませんでした。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ STACKMGR-3-MSG_FAIL: Failed to retrieve stack message from port-asic [dec] in direction [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック マネージャ モジュールがスタック メッセージを検索しませんでした。最初の [dec] は Application-Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け集積回路) ID です。次の [dec] は方向です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ STACKMGR-3-NORECORD: Switch removed event for switch [dec] with no switch record.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック マネージャがスイッチ削除イベントを受信しましたが、対応するスイッチ レコードはありません。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ STACKMGR-4-MASTER_ELECTED: Switch [dec] has been elected as MASTER of the stack.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 指定されたスイッチがスタック マスターとして選択されました。[dec] は選定されたスタック マスターのスイッチ番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ STACKMGR-4-STACK_LINK_CHANGE: Stack Port [chars] Switch [dec] has changed to state [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 指定されたスタック ポートのステータスが、アップまたはダウンに変更されました。最初の [chars] はスタック ポート (1 または 2) です。[dec] はスイッチ番号です。2 番めの [chars] は新しいステート (up または down) です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ STACKMGR-4-SWITCH_ADDED: Switch [dec] has been ADDED to the stack.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 指定されたスタック メンバ スイッチがスタックに追加されました。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ STACKMGR-4-SWITCH_ADDED_SDM: Switch [dec] has been ADDED to the stack (SDM_MISMATCH).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 指定されたスイッチがスタックに追加されました。[dec] はスイッチ番号です。SDM_MISMATCH は、追加されたスイッチが、スタック マスターの使用している Switch Database Management (SDM) テンプレートをサポートできないことを意味します。あとに続く SDM-6-MISMATCH_ADVISE メッセージに、不一致の説明と推奨する対処方法が示されます。

推奨処置 SDM_MISMATCH が表示された場合を除き、対処不要です。SDM_MISMATCH の場合の対処方法については、SDM-6-MISMATCH_ADVISE を参照してください。

エラー メッセージ STACKMGR-4-SWITCH_ADDED_VM: Switch [dec] has been ADDED to the stack (VERSION_MISMATCH).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタックに追加されたスイッチのソフトウェア バージョンが異なります。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ STACKMGR-4-SWITCH_REMOVED: Switch [dec] has been REMOVED from the stack.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 指定されたスイッチがスタックから削除されました。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ STACKMGR-5-MASTER_READY: Master Switch [dec] is READY.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スタック マスターは使用可能です。[dec] はスタック マスター スイッチ番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ STACKMGR-5-SWITCH_READY: Switch [dec] is READY.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは使用可能です。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

STORM_CONTROL メッセージ

エラー メッセージ STORM_CONTROL-3-FILTERED: A [chars] storm detected on [chars]. A packet filter action has been applied on the interface.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 インターフェイスで検出されたトラフィックの合計が、設定されたしきい値を超えました。システムは、過剰なトラフィックをフィルタリングしています。最初の [chars] はトラフィックの種類です。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 インターフェイス上でトラフィックが過剰となっている根本的な原因を突き止め、問題を解決してください。

エラー メッセージ STORM_CONTROL-3-SHUTDOWN: A packet storm was detected on [chars]. The interface has been disabled.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 インターフェイスで検出されたトラフィックの合計が、設定されたしきい値を超えました。パケット ストーム イベントが検出されるとインターフェイスがシャットダウンするように設定されているので、インターフェイスは `errdisable` 状態になっています。[chars] は影響を受けるインターフェイスです。

推奨処置 `errdisable recovery` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用してエラー ディisable の回復をイネーブルにし、インターフェイスを自動的に再びイネーブルにすることができます。インターフェイスのトラフィックが多くなりすぎた原因を調べて、対策を取ります。

SUPERVISOR メッセージ

エラー メッセージ SUPERVISOR-3-FATAL: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 スーパーバイザ ASIC で内部エラーが発生しました。[chars] はエラー メッセージの詳細です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

SUPQ メッセージ

エラー メッセージ SUPQ-3-THROTTLE_CPU_QUEUE: Invalid application ID [dec] used for throttling.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 アプリケーションは、スロットル チェック用に無効なアプリケーション ID を渡しました。[dec] は内部アプリケーション ID です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SUPQ-4-CPUHB_RECV_STARVE: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 CPU 宛てのメッセージで遅延が発生していることが検出されました。[chars] はエラー メッセージの詳細です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SUPQ-4-CPUHB_SLOW_TRANSMIT: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 送信インターフェイスの速度低下に関する警告です。[chars] はエラー メッセージの詳細です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SUPQ-4-CPUHB_TX_FAIL: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 送信インターフェイスでハートビート メッセージが廃棄されていることに関する警告です。[chars] はエラー メッセージの詳細です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SUPQ-4-PORT_QUEUE_STUCK: Port queue Stuck for asic [dec] port [dec] queue [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 インターフェイス キューが適切な時間内に消去されていないことが検出されました。最初の [dec] は ASIC です。2 番めの [dec] はインターフェイスです。3 番めの [dec] はキュー番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SUPQ-4-RECV_QUEUE_STUCK: Receive queue Stuck for asic [dec] queue [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 受信キューが適切な時間内に消去されていないことが検出されました。最初の [dec] は ASIC です。次の [dec] はキュー番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

SW_DAI メッセージ

エラー メッセージ SW_DAI-4-ACL_DENY: [dec] Invalid ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec]. ([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、ARP 検査によって無効と見なされた ARP パケットを受信しました。パケットにエラーが含まれています。このようなパケットがあるということは、管理上拒否されたパケットがネットワーク内にあるということです。このログ メッセージが表示されるのは、パケットが Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) によって (スタティックな ACL 設定で) 明示的または暗黙的に拒否された場合です。これらのパケットは、ネットワークで man-in-the-middle 攻撃が行われようとしたことを示します。最初の [dec] は無効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求) または Res (応答) のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番めの [dec] は入力 VLAN ID です。
[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/
[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_DAI-4-DHCP_SNOOPING_DENY: [dec] Invalid ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec].([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、ARP 検査によって無効と見なされた ARP パケットを受信しました。パケットにエラーが含まれています。このようなパケットがあるということは、ネットワークで man-in-the-middle 攻撃が行われようとしたことを示します。このログメッセージが表示されるのは、受信した VLAN に関して、送信側の IP および MAC アドレス バインディングが DHCP スヌーピング データベース内に存在しない場合です。最初の [dec] は無効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求) または Res (応答) のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_DAI-6-DHCP_SNOOPING_PERMIT: [dec] ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec].([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 送信元の IP アドレスおよび MAC アドレスが受信側 VLAN の DHCP スヌーピング データベースと一致したため、許可された ARP パケットをスイッチが受信しました。最初の [dec] は有効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求) または Res (応答) のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_DAI-4-INVALID_ARP: [dec] Invalid ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec].([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、ARP 検査によって無効と見なされた ARP パケットを受信しました。パケットは、送信元または宛先の MAC アドレスあるいは IP アドレスの確認検査に 1 回以上失敗しています。最初の [dec] は無効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求)、Res (応答)、または Invalid Opcode のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_DAI-4-PACKET_BURST_RATE_EXCEEDED: [dec] packets received in [dec] seconds on [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、指定されたバースト間隔で一定数の ARP パケットを受信しました。設定されたバースト間隔中に毎秒あたり設定されたパケット レートを超えるレートでパケットが受信された場合、インターフェイスは `errdisable` ステートになります。このメッセージは、インターフェイスが `errdisable` ステートになる直前、および設定されたバースト間隔が 1 秒よりも長い場合に記録されます。最初の [dec] はパケット数です。次の [dec] は秒数です。[chars] は影響を受けたインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_DAI-4-PACKET_RATE_EXCEEDED: [dec] packets received in [dec] milliseconds on [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、指定された期間内にインターフェイスで一定数の ARP パケットを受信しました。このメッセージは、パケット レートを超過したことが原因でポートが `errdisable` ステートになる直前、およびバースト間隔が 1 秒に設定されている場合に記録されます。最初の [dec] はパケット数です。次の [dec] はミリ秒数です。[chars] は影響を受けたインターフェイスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_DAI-4-SPECIAL_LOG_ENTRY: [dec] Invalid ARP packets [[time-of-day]].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、ARP 検査によって無効と見なされた ARP パケットを受信しました。パケットにエラーが含まれています。このようなパケットがあるということは、ネットワークで `man-in-the-middle` 攻撃が行われようとしたことを示します。このメッセージは他の SW_DAI メッセージと異なり、着信パケットのレートが DAI ログイン レートを超えた場合にすべてのメッセージをキャプチャします。[dec] は無効な ARP パケット数です。[time-of-day] は時刻です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_DAI-6-ACL_PERMIT: [dec] ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec]. ([[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、ACL が一致したために許可された ARP パケットを受信しました。最初の [dec] は有効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求) または Res (応答) のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_DAI-6-DHCP_SNOOPING_PERMIT: [dec] ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec]. ([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 送信元の IP アドレスおよび MAC アドレスが受信側 VLAN の DHCP スヌーピング データベースと一致したため、許可された ARP パケットをスイッチが受信しました。最初の [dec] は有効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求) または Res (応答) のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

SW_MACAUTH メッセージ

エラー メッセージ SW_MACAUTH-4-UNAUTH_MAC: Unauthenticated MAC [enet] on port [chars]

説明 スイッチが指定されたポートで、認証されていない MAC アドレスを受信しました。[enet] は認証されていない MAC アドレスです。[chars] はポートです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_MACAUTH-5-CLEAR_TABLE: MAC Authentication Table Cleared

説明 MAC 認証テーブルがクリアされました。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_MACAUTH-5-MACAUTH_ENADSA: MAC Authentication [chars]

説明 MAC 認証がイネーブルまたはディセーブルです。[chars] は MAC 認証ステータスで、enabled または disabled です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_MACAUTH-5-MAC_AUTHENTICATED: MAC [enet] was authenticated

説明 スイッチは、MAC アドレスを認証するコマンドを受信しました。[enet] は MAC アドレスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

SW_MATM メッセージ

エラー メッセージ SW_MATM-4-MACFLAP_NOTIF: Host [enet] in [chars] [dec] is flapping between port [chars] and port [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは指定ホストからのトラフィックが指定ポート間でフラッピングしていることを検出しました。[enet] はホスト MAC アドレスです。[chars] [dec] はスイッチ ID です。最初と 2 番目の [chars] はホストトラフィックのフラッピングが発生している両端のポートです。

推奨処置 データフォワーディング ループの原因となる設定の誤りがないかどうかネットワークスイッチを確認してください。

SW_VLAN メッセージ

エラー メッセージ SW_VLAN-3-MALLOC_FAIL: Failed to allocate [dec] bytes

説明 メモリの割り当てに失敗しました。[dec] はバイト数です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-3-VLAN_DAT_CACHE_SEQUENCE: Out of sequence vlan.dat sync message. Expected: [dec]; received: [dec].

説明 vlan.dat ファイルは、ACTIVE からの 1 つまたは複数のチェックポイント メッセージを介して STANDBY に同期されています。チェックポイント メッセージのそれぞれのシーケンス番号は 1 から始まっています。これらのメッセージは end-of-set を受信するまで STANDBY にキャッシュされます。STANDBY が予期せぬシーケンス番号のチェックポイント メッセージを受信しました。最初の [dec] は予期されたチェックポイント メッセージ シーケンス番号です。次の [dec] は受信したチェックポイント メッセージ シーケンス番号です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-3-VLAN_PM_NOTIFICATION_FAILURE: VLAN Manager synchronization failure with Port Manager over [chars].

説明 VLAN マネージャは、使用できるプール スペースが不足していたので、ポート マネージャから送られた通知を廃棄しました。[chars] はポート マネージャの通知のタイプです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-3-VTP_PROTOCOL_ERROR: VTP protocol code internal error [chars].

説明 設定要求、パケット、またはタイマー期限切れの処理時に、VTP コードで予想外のエラーが発生しました。[chars] は内部エラーです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-BAD_PM_VLAN_COOKIE_RETURNED: VLAN manager unexpectedly received a bad PM VLAN cookie from the Port Manager, VLAN indicated [dec].

説明 VLAN マネージャは、ポート マネージャからアップコールおよび VLAN クッキーを受信し、不良 VLAN ID に変換しました。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンド を使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-BAD_STARTUP_VLAN_CONFIG_FILE: Failed to configure VLAN from startup-config. Fallback to use VLAN configuration file from non-volatile memory.

説明 VLAN ソフトウェアは、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに指定されている VLAN 設定を使用しませんでした。不揮発性 RAM (NVRAM) に保存されているバイナリの VLAN コンフィギュレーション ファイルを使用することになります。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-BAD_VLAN_CONFIGURATION_FILE: VLAN configuration file contained incorrect verification word [hex].

説明 VLAN マネージャが読み込んだ VLAN コンフィギュレーション ファイルは、有効な値から始まっていません。VLAN コンフィギュレーション ファイルは無効なので、拒否されました。[hex] は無効な確認値です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート \(P.1-8\)](#)」を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-BAD_VLAN_CONFIGURATION_FILE_VERSION: VLAN configuration file contained unknown file version [dec].

説明 VLAN マネージャが読み込んだ VLAN コンフィギュレーション ファイルに、認識できないファイル バージョン番号が指定されていました。旧バージョンの VLAN マネージャ ソフトウェアに戻そうとしている可能性があります。[dec] はファイルのバージョン番号です。

推奨処置 **show tech-support** 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート \(P.1-8\)](#)」を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-BAD_VLAN_TIMER_ACTIVE_VALUE: Encountered incorrect VLAN timer active value [chars].

説明 ソフトウェア エラーが原因で、VLAN タイマーが非アクティブであるべきときにアクティブであると検出されたか、アクティブであるべきときに非アクティブであると検出されました。[chars] は VLAN タイマーのアクティブ値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-EXT_VLAN_CREATE_FAIL: Failed to create VLANs [chars]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 ソフトウェアは VLAN を作成しませんでした。最初の [chars] はレイヤ 2 VLAN リスト、2 番めの [chars] は失敗の理由です。

推奨処置 `show tech-support` 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-EXT_VLAN_INTERNAL_ERROR: Extended VLAN manager received an internal error [dec] from [chars] [chars].

説明 VLAN マネージャは、拡張範囲 VLAN コンフィギュレーション ソフトウェアから、予期せぬエラー コードを受信しました。[dec] はエラー コードです。最初の [chars] は機能です。次の [chars] はエラー コードです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-EXT_VLAN_INVALID_DATABASE_DATA: Extended VLAN manager received bad data of type [chars] value [dec] from function [chars].

説明 拡張範囲 VLAN マネージャが、拡張範囲 VLAN コンフィギュレーション データベース ルーチンから無効なデータを受信しました。最初の [chars] はデータ タイプです。[dec] は受信した番号です。2 番めの [chars] は機能名です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-IFS_FAILURE: VLAN manager encountered file operation error call = [chars] / file = [chars] / code = [dec] ([chars]) / bytes transferred = [dec].

説明 VLAN データベースの読み込み時に、Cisco IOS file system (IFS) コールから VLAN マネージャに、予期せぬエラーが返されました。最初の [chars] はファンクション コール名で、2 番目の [chars] はファイル名です。最初の [dec] はエラー コードで、3 番目の [chars] はエラー コードの説明です。また、2 番目の [dec] は転送バイト数です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-NO_PM_COOKIE_RETURNED: VLAN manager unexpectedly received a null [chars] type cookie from the Port Manager, data reference [chars].

説明 VLAN マネージャはポート マネージャにリファレンス クッキーを問い合わせましたが、代わりにヌル ポインタが返されました。最初の [chars] はポート マネージャのクッキーのタイプです。次の [chars] は問題の原因になったインターフェイスまたは VLAN です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-STARTUP_EXT_VLAN_CONFIG_FILE_FAILED: Failed to configure extended range VLAN from startup-config. Error [chars].

説明 VLAN ソフトウェアは、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに指定されている拡張範囲 VLAN 設定を使用しませんでした。システムの起動後、すべての拡張範囲 VLAN 設定が失われます。[chars] はエラー コードの説明です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VLAN_CREATE_FAIL: Failed to create VLANs [chars]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 指定された VLAN を作成できませんでした。VLAN がすでに内部 VLAN として存在しているため、ポート マネージャが VLAN 作成要求を完了しなかった可能性があります。最初の [chars] は VLAN ID です。次の [chars] はエラーです。

推奨処置 `show vlan internal usage` 特権 EXEC コマンドを使用して内部 VLAN 使用状況を確認し、内部 VLAN を使用している機能を再設定して VLAN を再度作成します。このメッセージが再度表示される場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。
show tech-support ユーザ EXEC コマンドを使用して、エラーの識別に役立つデータをまとめてください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VTP_INTERNAL_ERROR: VLAN manager received an internal error [dec] from vtp function [chars] [chars].

説明 VLAN マネージャが VTP コンフィギュレーション ソフトウェアから、予期せぬエラー コードを受け取りました。[dec] はエラー コードです。最初の [chars] は VTP 機能です。2 番目の [chars] はエラー コードの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VTP_INVALID_DATABASE_DATA: VLAN manager received bad data of type [chars] value [dec] from vtp database function [chars].

説明 VLAN マネージャは、VTP コンフィギュレーション データベース ルーチンから無効なデータを受信しました。最初の [chars] はデータ タイプです。[dec] は受信した不適切な値です。2 番目の [chars] は VTP データベース機能です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VTP_INVALID_EVENT_DATA: VLAN manager received bad data of type [chars] value [dec] while being called to handle a [chars] event.

説明 VLAN マネージャは、VTP コンフィギュレーション ソフトウェアから無効なデータを受信しました。最初の [chars] はデータ タイプです。[dec] はそのデータの値です。2 番目の [chars] は VTP イベントです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VTP_SEM_BUSY: VTP semaphore is unavailable for function [chars]. Semaphore locked by [chars].

説明 VTP データベースが使用できません。VTP データベースにはあとでアクセスしてください。最初の [chars] は設定する機能名で、次の [chars] は VTP データベースを使用している機能名です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-6-VTP_DOMAIN_NAME_CHG: VTP domain name changed to [chars].

説明 VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランキング プロトコル) ドメイン名は、設定によってメッセージで指定された名前に変更されました。[chars] は変更されたドメイン名です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_VLAN-6-OLD_CONFIG_FILE_READ: Old version [dec] VLAN configuration file detected and read OK. Version [dec] files will be written in the future.

説明 VLAN ソフトウェアが旧バージョンの VLAN コンフィギュレーション ファイル形式を検出しました。ファイルは解釈されましたが、今後は新しい形式を使用してファイルが作成されます。最初の [dec] は古いバージョン番号です。次の [dec] は新しいバージョン番号です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_VLAN-6-VLAN_DAT_CACHE_EXISTS: Unexpected vlan.dat cache exists. Removing the cache and continuing the sync with new set.

説明 このメッセージは、スイッチの機能に影響を与えません。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ SW_VLAN-6-VTP_DOMAIN_NAME_CHG: VTP domain name changed to [chars].

説明 VTP ドメイン名が、コンフィギュレーションによりメッセージで指定された名前に変更されました。[chars] は変更されたドメイン名です。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ SW_VLAN-6-VTP_MODE_CHANGE: VLAN manager changing device mode from [chars] to [chars].

説明 設定数より多い VLAN が指定されている VLAN コンフィギュレーション データベース メッセージを受信したときに、デバイスの VTP モードが自動的に変更されました。最初の [chars] は以前のモードです。次の [chars] は現在のモードです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

SWITCH_QOS_TB メッセージ

エラーメッセージ SWITCH_QOS_TB-5-TRUST_DEVICE_DETECTED: [chars] detected on port [chars], port's configured trust state is now operational.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 信頼境界が、信頼できるポートのデバイス設定と一致するデバイスを検出して、ポートの信頼状態を変更しました。最初の [chars] は信頼できるデバイスです。次の [chars] はポートです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ SWITCH_QOS_TB-5-TRUST_DEVICE_LOST: [chars] no longer detected on port [chars], operational port trust state is now untrusted.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 信頼境界は信頼できるデバイスとの通信を失い、ポートの信頼状態が untrusted に設定されました。最初の [chars] は信頼できるデバイスです。次の [chars] はポートです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

TCAMMGR メッセージ

エラーメッセージ TCAMMGR-3-GROW_ERROR: cam region [dec] can not grow.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 指定の Content-Addressable Memory (CAM; 連想メモリ) 領域は、エントリ数の決まった静的領域として設定されていますが、呼び出し側が CAM エントリの追加を要求しました。[dec] は CAM 領域です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-HANDLE_ERROR: cam handle [hex] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 呼び出し側が使用している CAM ハンドルが有効ではありません。[hex] はハンドル値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-INDEX_ERROR: cam value/mask index [dec] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 呼び出し側が使用している CAM インデックスが有効ではありません。[dec] はインデックス値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-MOVE_ERROR: cam entry move from index [int] to index [int] failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 あるインデックスから別のインデックスへ CAM エントリを移動できませんでした。[int] はインデックス値です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-REGION_ERROR: cam region [dec] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 CAM 領域が有効ではありません。[dec] は領域です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-REGMASK_ERROR: invalid cam region [dec] mask [dec] pair.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 呼び出し側が無効なマスクのエントリを領域に組み込もうとしました。領域で使用できるのは、前もって決められた 1 組のマスクだけです。最初の [dec] は領域です。次の [dec] はマスクです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

UDLD メッセージ

エラー メッセージ UDLD-0-STOPPED:UDLD process stopped:[chars].

説明 UDLD プロセスは、UDLD が使用中の固有システム識別情報を読み込めないために停止しました。システム識別情報は、UDLD パケットを送信しているデバイスを識別するために使用されます。[chars] は UDLD プロセス名です。

推奨処置 **reload** 特権 EXEC コマンドを使用して、スイッチをリロードします。問題が解消されない場合は、コンソールまたはシステム ログに出力されたメッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。 **show tech-support** ユーザ EXEC コマンドを使用して、エラーの識別に役立つデータを集めてください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-3-UDLD_IDB_ERROR: UDLD error handling [chars] interface [chars].

説明 指定されたインターフェイスに関連する UDLD 処理で、ソフトウェア エラーが発生しました。最初の [chars] はイベントです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-3-UDLD_INTERNAL_ERROR: UDLD internal error [chars].

説明 UDLD 処理中にソフトウェア チェックに失敗しました。[chars] は内部エラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-3-UDLD_INTERNAL_IF_ERROR: UDLD internal error, interface [chars] [chars].

説明 UDLD 処理中にソフトウェア チェックに失敗しました。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はエラーの説明です。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-4-UDLD_PORT_DISABLED: UDLD disabled interface [chars], [chars] detected.

説明 ネイバー間で一方向だけの接続が検出されたので、UDLD プロトコルがインターフェイスをディセーブルにしました。スパニングツリー ループまたは接続の干渉を引き起こす可能性があります。不良ポート、不良ケーブル、または誤った構成のケーブルなど、ハードウェア関連の原因が考えられます。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] は検出されたエラーです。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-6-UDLD_PORT_RESET: UDLD reset interface [chars].

説明 UDLD プロトコルがネイバー間の単一方向接続を検出しました。udld reset 特権 EXEC コマンドを使用するか、リンク ステート変更などのハードウェア アクションによって、UDLD がディセーブルにしたポートをリセットします。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 show tech-support 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

UFAST_MCAST_SW メッセージ

エラー メッセージ UFAST_MCAST_SW-3-PROC_START_ERROR: No process available for transmitting UplinkFast packets.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 プロセスを作成できなかったため、UplinkFast パケットは転送されません。

推奨処置 スイッチ ソフトウェアをリロードするまで、UplinkFast は動作しません。リロード後も問題が解消されない場合は、show tech-support 特権 EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合

は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ UFAST_MCAST_SW-4-MEM_NOT_AVAILABLE: No memory is available for transmitting UplinkFast packets on Vlan [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 メモリの制約が原因で、UplinkFast パケットは VLAN 上で転送されません。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

VLMAPLOG メッセージ

エラーメッセージ VLMAPLOG-6-ARP: vlan [dec] (port [chars]) denied arp ip [inet] -> [inet], [dec] packet[chars]

説明 VLAN アクセス マップ (VLMAP) ログの条件を満たす仮想 LAN (VLAN) からのパケットが検出されました。1 番めの [dec] は VLAN 番号、1 番めの [chars] はポート名です。1 番めの [inet] は送信元 IP アドレス、2 番めの [inet] は宛先 IP アドレス、2 番めの [dec] はパケット数を示します。2 番めの [chars] は、複数のパケットを示す文字「s」を表します。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ VLMAPLOG-6-ICMP: vlan [dec] (port [chars]) denied icmp [inet] -> [inet] ([dec]/[dec]), [dec] packet[chars]

説明 VLMAP ログの条件を満たす VLAN からのパケットが検出されました。1 番めの [dec] は VLAN 番号、1 番めの [chars] はポート名です。1 番めの [inet] は送信元 IP アドレス、2 番めの [inet] は宛先 IP アドレス、2 番めの [dec] はインターネット制御メッセージプロトコル (ICMP) のメッセージタイプ、3 番めの [dec] は ICMP メッセージコード、4 番めの [dec] はパケット数を示します。2 番めの [chars] は、複数のパケットを示す文字「s」を表します。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ VLMAPLOG-6-IGMP: vlan [dec] (port [chars]) denied igmp [inet] -> [inet] ([dec]), [dec] packet[chars]

説明 VLMAP ログの条件を満たす VLAN からのパケットが検出されました。1 番めの [dec] は VLAN 番号、1 番めの [chars] はポート名です。1 番めの [inet] は送信元 IP アドレス、2 番めの [inet] は宛先 IP アドレス、2 番めの [dec] はインターネットグループ管理プロトコル (IGMP) メッセージのタイプ、3 番めの [dec] はパケット数を表します。2 番めの [chars] は、複数のパケットを示す文字「s」を表します。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ VLMAPLOG-6-IP: vlan [dec] (port [chars]) denied ip protocol=[dec] [inet] -> [inet], [dec] packet[chars]

説明 VLMAP ログの条件を満たす VLAN からのパケットが検出されました。1 番めの [dec] は VLAN 番号、1 番めの [chars] はポート名です。2 番めの [dec] はプロトコル番号、1 番めの [inet] は送信元 IP アドレス、2 番めの [inet] は宛先 IP アドレス、3 番めの [dec] はパケット数を表します。2 番めの [chars] は、複数のパケットを示す文字「s」を表します。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラーメッセージ VLMAPLOG-6-L4: vlan [dec] (port [chars]) denied [chars] [inet]([dec]) -> [inet]([dec]), [dec] packet[chars]

説明 VLMAP ログの条件を満たす VLAN からのパケットが検出されました。1 番めの [dec] は VLAN 番号、1 番めの [chars] はポート名です。2 番めの [chars] はプロトコルです。1 番めの [inet] は送信元 IP アドレス、2 番めの [dec] は送信元ポート、2 番めの [inet] は宛先 IP アドレス、3 番めの [dec] は宛先ポート、4 番めの [dec] はパケット数を表します。3 番めの [chars] は、複数のパケットを示す文字「s」を表します。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

VQPCLIENT メッセージ

エラーメッセージ VQPCLIENT-2-CHUNKFAIL: Could not allocate memory for VQP.

説明 VQP クライアントにメモリを割り当てるときに、エラーが発生しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラーメッセージをそのままコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ VQPCLIENT-2-DENY: Host [enet] denied on interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 VMPS が、表示されたホスト MAC アドレスに対して、インターフェイスへのアクセスを拒否しました。[enet] は、ホストの MAC アドレスです。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 通常は対処不要です。ホストがアクセスを拒否される理由がない場合は、VMPS の設定を確認してください。

エラー メッセージ VQPCCLIENT-2-TOOMANY: Interface [chars] shutdown by active host limit.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 インターフェイス アクセスを要求したホストが多すぎるので、システムがインターフェイスをシャットダウンしました。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 インターフェイスをイネーブルにするには、余分なホストを削除して、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力します。

エラー メッセージ VQPCCLIENT-3-IFNAME: Invalid interface ([chars]) in response.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 VMPS が、不明な VLAN 名を指定しました。[chars] は VLAN 名です。

推奨処置 VMPS の設定を確認します。

エラー メッセージ VQPCCLIENT-3-VLANNAME: Invalid VLAN [chars] in response.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 VMPS が、不明な VLAN 名を指定しました。[chars] は VLAN 名です。

推奨処置 スイッチ上にその VLAN が存在しているかどうかを確認します。show vmps 特権 EXEC コマンドを入力して、VMPS の設定を確認します。

WCCP メッセージ

エラー メッセージ WCCP-5-CACHEFOUND: Web Cache [IP_address] acquired.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、指定された Web キャッシュを取得しました。[IP_address] は Web キャッシュの IP アドレスです。

推奨処置 特に対処の必要はありません。

エラー メッセージ WCCP-1-CACHELOST: Web Cache [IP_address] lost.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチは、指定された Web キャッシュとの接続を失いました。[IP_address] は Web キャッシュの IP アドレスです。

推奨処置 `show ip wccp web-cache` 特権 EXEC コマンドを入力して Web キャッシュの動作を確認します。

WRLSCNTR メッセージ

エラー メッセージ WRLSCNTR-3-INIT_ERR:Initialization failed. [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 スイッチにのみ適用されます。

説明 無線 LAN コントローラの正常動作に必要な初期化の一部が失敗しました。

推奨処置 コンソールまたはシステム ログに出力されたエラー メッセージをそのままコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージのトレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ WRLSCNTR-3-CONFIG_ERR: No available channel-group to configure internal interfaces [chars] and [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 スイッチにのみ適用されます。

説明 無線 LAN コントローラに接続されるインターフェイスは、チャンネル グループの一部として設定する必要があります。スイッチはコンフィギュレーションを適用しようとしたが、すべてのチャンネル グループ番号が割り当て済みだったため適用できませんでした。チャンネル グループを削除しないかぎり、無線 LAN コントローラに接続されているインターフェイスを正しく設定できません。

推奨処置 EtherChannel コンフィギュレーションを変更してチャンネル グループを削除し、このチャンネル グループ番号を使用して、無線 LAN コントローラに接続されているインターフェイスを設定します。

エラー メッセージ WRLSCNTR-3-VERSION_ERR: Switch and wireless controller are using incompatible versions.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 スイッチにのみ適用されます。

説明 スイッチソフトウェアと無線 LAN コントローラのソフトウェアとの互換性が完全ではありません。一部の機能が利用できないことがあります。

推奨処置 スイッチまたは無線 LAN コントローラのソフトウェアをアップデートして、互換性のあるソフトウェアバージョンにします。



INDEX

A

- ACLMGR メッセージ [2-4](#)
- AUTHMGR メッセージ [2-8](#)
- AUTOQOS メッセージ [2-10](#)

B

- BACKUP_INTERFACE メッセージ [2-10](#)
- BADTRANSCEIVER メッセージ [2-11](#)
- BSPATCH メッセージ [2-11](#)
- Bug Toolkit [1-8](#)

C

- CFGMGR メッセージ [2-12](#)
- Cluster Membership Protocol (CMP) のメッセージ
「CMP メッセージ」を参照
- CMP メッセージ [2-15](#)

D

- DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ [2-19](#)
- DHCP_SNOOPING メッセージ [2-16](#)
- DHCP メッセージ [2-16](#), [2-19](#)
- DOT1Q_TUNNELLING メッセージ [2-20](#)
- DOT1X (IEEE 802.1x) メッセージ [2-21](#)
- DOT1X_SWITCH メッセージ [2-22](#)
- Down-When-Looped (DWL) のメッセージ
「DWL メッセージ」を参照
- DTP [2-27](#)
- DTP メッセージ [2-26](#)
- DWL メッセージ [2-27](#)

Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) のメッセージ

「DHCP メッセージ」を参照

Dynamic Trunking Protocol (DTP) のメッセージ

「DTP メッセージ」を参照

E

- EC メッセージ [2-27](#)
- ENVIRONMENT メッセージ [2-32](#)
- EOU メッセージ [2-38](#)
- ETHCNTR メッセージ [2-33](#)
- EtherChannel コントローラのメッセージ
「ETHCNTR メッセージ」を参照
- EtherChannel のメッセージ
「EC メッセージ」を参照
- EXPRESS_SETUP メッセージ [2-37](#)

F

- Flexlink のメッセージ
「BACKUP_INTERFACE メッセージ」を参照
- FM メッセージ [2-40](#)
- FRNTEND_CTRLR メッセージ [2-49](#)

G

- GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ [2-57](#)
- GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ [2-58](#)
- GBIC_SECURITY メッセージ [2-53](#)
- GBIC メッセージ、Catalyst 3550
GigaStack GBIC モジュール [2-59](#)
識別および有効性チェック [2-50](#)

Gigabit Interface Converter (GBIC) のメッセージ、
Catalyst 3550

「GBIC メッセージ、Catalyst 3550」を参照

H

HARDWARE メッセージ [2-60](#)

HLFM メッセージ [2-63](#)

HPSECURE メッセージ [2-64](#)

I

IDBMAN メッセージ [2-65](#)

IEEE 802.1Q トンネリングのメッセージ

「DOT1Q_TUNNELING メッセージ」を参照

IEEE 802.1x のメッセージ

「DOT1X メッセージ」を参照

IFMGR メッセージ [2-68](#)

IGMP_QUERIER メッセージ [2-69](#)

ILET メッセージ [2-70](#)

ILPOWER メッセージ [2-71](#)

IMAGEMGR メッセージ [2-77](#)

Internet Group Management Protocol (IGMP) クエリア
のメッセージ

「IGMP_QUERIER メッセージ」を参照

Inter-Processor Communication (IPC) プロトコルのメッ
セージ

「PLATFORM_IPC メッセージ」を参照

IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ [2-79](#)

IP メッセージ [2-78](#)

L

L2TM メッセージ [2-79](#)

L3TCAM メッセージ [2-80](#)

M

MAB メッセージ [2-81](#)

MAC_LIMIT メッセージ [2-81](#)

MAC_MOVE メッセージ [2-82](#)

MAC アドレス テーブルのメッセージ

「MAC_LIMIT メッセージ」を参照

MAC アドレス テーブル マネージャのメッセージ

「SW_MATM メッセージ」を参照

MAC アドレス認証のメッセージ

「SW_MACAUTH メッセージ」を参照

N

NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ [2-82](#)

P

PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ [2-83](#)

PBR メッセージ [2-83](#)

PHY メッセージ [2-85](#)

PIMSN メッセージ [2-88](#)

PIM スヌーピングのメッセージ [2-88](#)

PLATFORM_FBM メッセージ [2-90](#)

PLATFORM_HPLM メッセージ [2-91](#)

PLATFORM_IPC メッセージ [2-92](#)

PLATFORM_IPv6_UCAST メッセージ [2-94](#)

PLATFORM_PBR メッセージ [2-94](#)

PLATFORM_PM メッセージ [2-96](#)

PLATFORM_RPC メッセージ [2-97](#)

PLATFORM_SPAN メッセージ [2-100](#)

PLATFORM_UCAST メッセージ [2-100](#)

PLATFORM_VLAN メッセージ [2-103](#)

PLATFORM_WCCP メッセージ [2-104](#)

PLATFORM メッセージ [2-88](#)

PM メッセージ [2-104](#)

PoE のメッセージ

「ILPOWER メッセージ」を参照

PORT_SECURITY メッセージ [2-112](#)

POWERNET メッセージ [2-114](#)

Power over Ethernet (PoE) のメッセージ

「ILPOWER メッセージ」を参照 [2-71](#)

Q

QATM メッセージ [2-114](#)

QM メッセージ [2-116](#)

QOSMGR メッセージ [2-118](#)

QoS 分類およびセキュリティ ACL マネージャのメッセージ

「QATM メッセージ」を参照

QoS マネージャのメッセージ

「QM メッセージ」を参照

Quality of Service (QoS) のメッセージ

「AUTOQOS メッセージ」を参照

Quality of Service (QoS) マネージャのメッセージ

「QOSMGR メッセージ」を参照

R

Remote Procedure Call (RPC) のメッセージ

「PLATFORM_RPC メッセージ」を参照

RMON メッセージ [2-125](#)

S

SCHEM メッセージ [2-125](#)

SDM メッセージ [2-126](#)

SPANTREE_FAST メッセージ [2-135](#)

SPANTREE_VLAN_SW メッセージ [2-135](#)

SPANTREE メッセージ [2-127](#)

SPAN メッセージ [2-126](#)

STACKMGR メッセージ [2-135](#)

STORM_CONTROL メッセージ [2-138](#)

SUPERVISOR メッセージ [2-139](#)

SUPQ メッセージ [2-139](#)

SW_DAI メッセージ [2-141](#)

Switch Database Management (SDM) のメッセージ

「SDM メッセージ」を参照

Switched Port Analyzer (SPAN) のメッセージ

「SPAN メッセージ」を参照

Switched Port Analyzer (SPAN) のメッセージ、プラットフォーム

「PLATFORM_SPAN メッセージ」を参照

SWITCH_QOS_TB メッセージ [2-152](#)

SW_MACAUTH メッセージ [2-144](#)

SW_MATM メッセージ [2-145](#)

SW_VLAN メッセージ [2-145](#)

T

TAC、連絡 [1-8](#)

TCAMMGR メッセージ [2-152](#)

Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャのメッセージ

「TCAMMGR メッセージ」を参照

U

UDLD メッセージ [2-155](#)

UFAST_MCAST_SW メッセージ [2-156](#)

UniDirectional Link Detection (UDLD) メッセージ

「UDLD メッセージ」を参照

UplinkFast パケット転送のメッセージ

「UFAST_MCAST_SW メッセージ」を参照

V

VLAN Query Protocol (VQP) クライアントのメッセージ

「VQPCLIENT メッセージ」を参照

VLAN 単位のスパニングツリーのメッセージ

「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」を参照

VLAN マネージャのメッセージ

「SW_VLAN メッセージ」を参照

VLMAPLOG メッセージ [2-157](#)

VQPCLIENT メッセージ [2-158](#)

VTP メッセージ

「SW_VLAN メッセージ」を参照

W

WCCP メッセージ [2-104](#)

WRLSCNTR メッセージ [2-160](#)

あ

アウトプット インタープリタ [1-8](#)

アクセス コントロール リスト マネージャのメッセージ
「ACLMGR メッセージ」を参照

い

イメージ マネージャのメッセージ

「IMAGEMGR」を参照

インターフェイス記述ブロック マネージャのメッセージ

「IDBMAN メッセージ」を参照

き

機能マネージャのメッセージ

「FM メッセージ」を参照

こ

コンフィギュレーション マネージャのメッセージ

「CFGMGR メッセージ」を参照

し

システム メッセージ

可変フィールド [1-6](#)

形式 [1-1](#)

重大度 [1-6](#)

ニーモニック コード [1-6](#)

ファシリティ コード [1-1](#)

メッセージ テキストの定義 [1-6](#)

システム メッセージの形式 [1-1](#)

省略形

dec、可変フィールド [1-7](#)

hex、可変フィールド [1-7](#)

信頼境界のメッセージ

「SWITCH_QOS_TB メッセージ」を参照

す

スーパーバイザ キューのメッセージ

「SUPQ メッセージ」を参照

スタック マネージャのメッセージ

「STACKMGR メッセージ」を参照

スパニングツリー高速コンバージェンスのメッセージ

「SPANTREE_FAST メッセージ」を参照

た

ダイナミック ARP インスペクション

「SW_DAI メッセージ」を参照

タイムスタンプ情報 [1-1](#)

と

トランシーバのメッセージ [2-11](#)

トレースバック レポート [1-8](#)

に

日時スタンプ [2-1](#)

は

ハイ アベイラビリティのメッセージ

「IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ」を参照

ひ

表

可変フィールド [1-7](#)
 ファシリティ コード [1-2](#)
 メッセージの重大度 [1-6](#)

ふ

ファシリティ コード [1-1](#)
 ブートローダー パッチのメッセージ
 「BSPATCH メッセージ」を参照
 フォールバック ブリッジング マネージャのメッセージ
 「PLATFORM_FBM メッセージ」を参照
 フロントエンド コントローラのメッセージ
 「FRNTEND_CTRLR メッセージ」を参照

ほ

ポート マネージャのメッセージ
 「PM メッセージ」を参照
 ポート マネージャのメッセージ、プラットフォーム
 「PLATFORM_PM メッセージ」を参照
 ポリシーベース ルーティングのメッセージ
 「PBR メッセージ」を参照
 「PLATFORM_PBR メッセージ」を参照

め

メッセージ
 ACLMGR [2-4](#)
 AUTOQOS [2-10](#)
 BACKUP_INTERFACE [2-10](#)
 BADTRANSCEIVER [2-11](#)
 BSPATCH [2-11](#)
 CFGMGR [2-12](#)
 CMP [2-15](#)
 DHCP [2-16, 2-19](#)
 DHCP_SNOOPING [2-16](#)
 DHCP_SNOOPING_CAT3550 [2-19](#)
 DOT1Q_TUNNELING [2-20](#)

DOT1X (802.1x) [2-21](#)
 DOT1X_SWITCH [2-22](#)
 DTP [2-26, 2-27](#)
 DWL [2-27](#)
 EC [2-27](#)
 ENVIRONMENT [2-32](#)
 ETHCNTR [2-33](#)
 EXPRESS_SETUP [2-37](#)
 FM [2-40](#)
 FRNTEND_CTRLR [2-49](#)
 GBIC
 GigaStack [2-59](#)
 識別および有効性チェック [2-50](#)
 GBIC (Catalyst 3550) [2-50](#)
 GBIC_SECURITY [2-53](#)
 GBIC_SECURITY_CRYPT [2-57](#)
 GBIC_SECURITY_UNIQUE [2-58](#)
 GIGASTACK [2-59](#)
 HARDWARE [2-60](#)
 HLFM [2-63](#)
 HPSECURE [2-64](#)
 IDBMAN [2-65](#)
 IEEE 802.1Q トンネリング [2-20](#)
 IEEE 802.1x [2-21](#)
 IGMP_QUERIER [2-69](#)
 ILPOWER [2-71](#)
 IMAGEMGR [2-77](#)
 IP_DEVICE_TRACKING_HA [2-79](#)
 L2TM [2-79](#)
 L3TCAM [2-80](#)
 MAC_LIMIT [2-81](#)
 MAC_MOVE [2-82](#)
 NETWORK_PORT_SATELLITE [2-82](#)
 PBR [2-83](#)
 PHY [2-85](#)
 PIMSN [2-88](#)
 PLATFORM [2-88](#)
 PLATFORM_FBM [2-90](#)
 PLATFORM_HPLM [2-91](#)

PLATFORM_IPC [2-92](#)
 PLATFORM_IPv6_UCAST [2-94](#)
 PLATFORM_PBR [2-94](#)
 PLATFORM_PM [2-96](#)
 PLATFORM_RPC [2-97](#)
 PLATFORM_SPAN [2-100](#)
 PLATFORM_UCAST [2-100](#)
 PLATFORM_VLAN [2-103](#)
 PLATFORM_WCCP [2-104](#)
 PM [2-104](#)
 PORT_SECURITY [2-112](#)
 QATM [2-114](#)
 QM [2-116](#)
 QOSMGR [2-118](#)
 RMON [2-125](#)
 SDM [2-126](#)
 SPAN [2-126](#)
 SPANTREE [2-127](#)
 SPANTREE_FAST [2-135](#)
 SPANTREE_VLAN_SW [2-135](#)
 STACKMGR [2-135](#)
 STORM_CONTROL [2-138](#)
 SUPERVISOR [2-139](#)
 SUPQ [2-139](#)
 SW_DAI [2-141](#)
 SWITCH_QOS_TB [2-152](#)
 SW_MACAUTH [2-144](#)
 SW_MATM [2-145](#)
 SW_VLAN [2-145](#)
 TCAMMGR [2-152](#)
 UDLD [2-155](#)
 UFAST_MCAST_SW [2-156](#)
 VQPCIENT [2-158](#)
 WCCP [2-104](#)
 WRLSCNTR [2-160](#)

レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング マネージャ [2-80](#)

メッセージ、トランシーバ [2-11](#)

メッセージの重大度 [1-6](#)

メッセージのニーモニック コード [1-6](#)

ゆ

ユニキャスト ルーティングのメッセージ

「PLATFORM_UCAST メッセージ」を参照

り

略語

chars、可変フィールド [1-7](#)

char、可変フィールド [1-7](#)

enet、可変フィールド [1-7](#)

inet、可変フィールド [1-7](#)

れ

レイヤ 2 フォワーディング マネージャのメッセージ

「L2TM メッセージ」を参照

ろ

ローカル フォワーディング マネージャのメッセージ

「HLFM メッセージ」を参照